

### 第 3 章

18 歳未満の方を対象にした調査

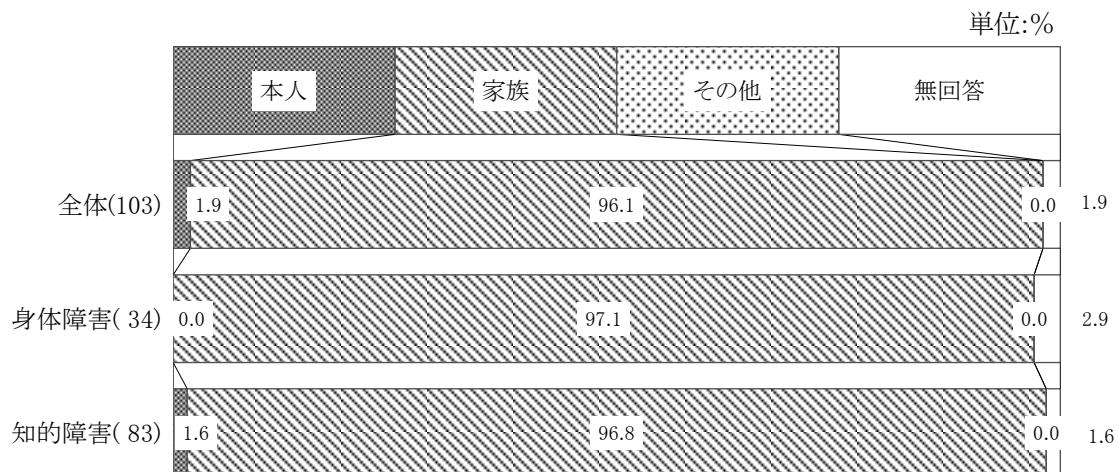


## 1. 調査票の回答者

問1 この調査票を回答していただく方は誰ですか。(○は1つ)

全体では、「家族」が96.1%、「本人」が1.9%となっています。

障害別に見ると、身体障害では「本人」という回答はありませんでした。



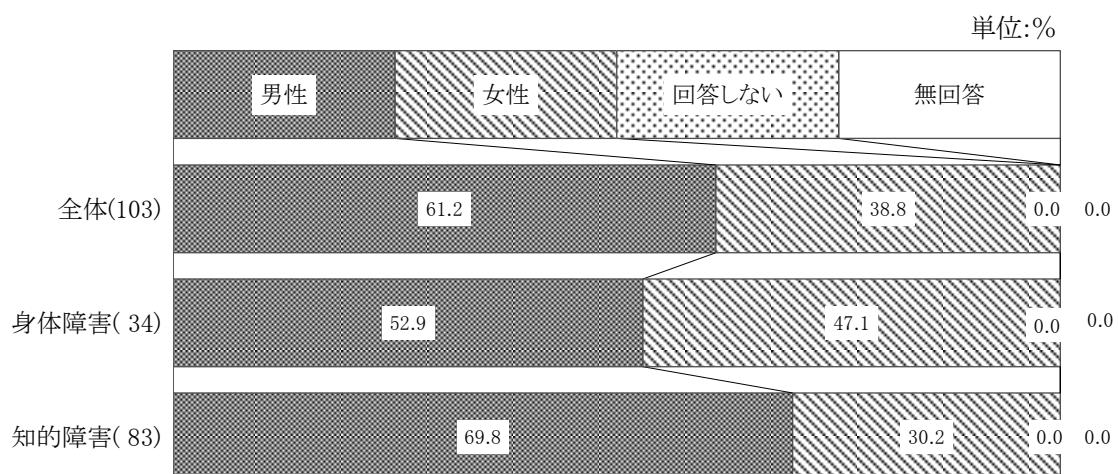
## 2. ご本人について

### (1) 性別

問2 あなたの性別をお聞きします。(○は1つ)

全体では、「男性」が61.2%、「女性」が38.8%となっています。

障害別に見ると、身体障害では「女性」が知的障害よりも多くなっています。



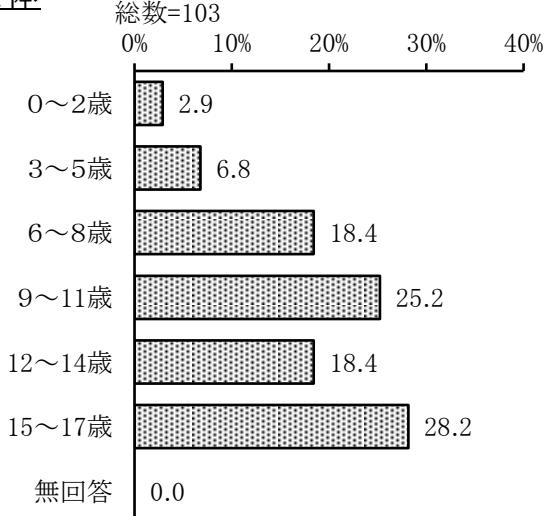
## (2) 年齢

問3 あなたの年齢をお聞きします。令和4年10月1日現在の年齢をお書きください。

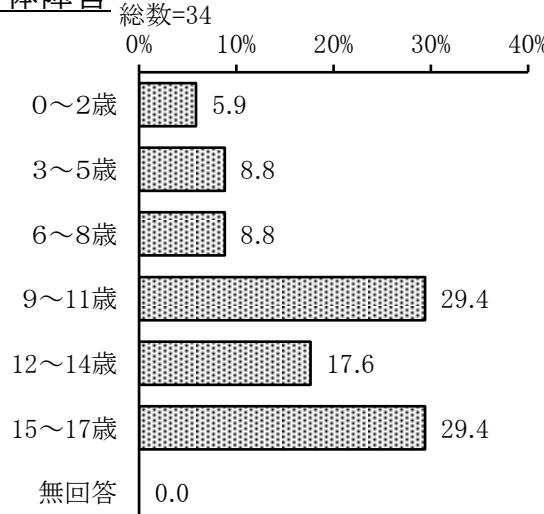
全体では、「15～17歳」が28.2%と最も多い、次いで「9～11歳」が25.2%、「6～8歳」「12～14歳」がそれぞれ18.4%となっています。

障害別に見ると、知的障害では「6～8歳」が身体障害より多くなっています。

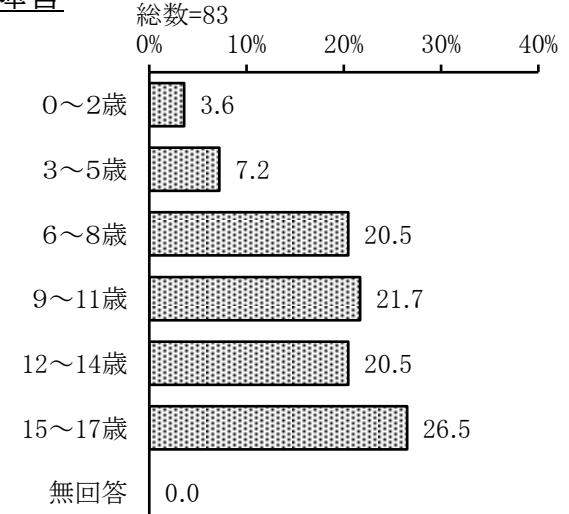
### 全体



### 身体障害



### 知的障害



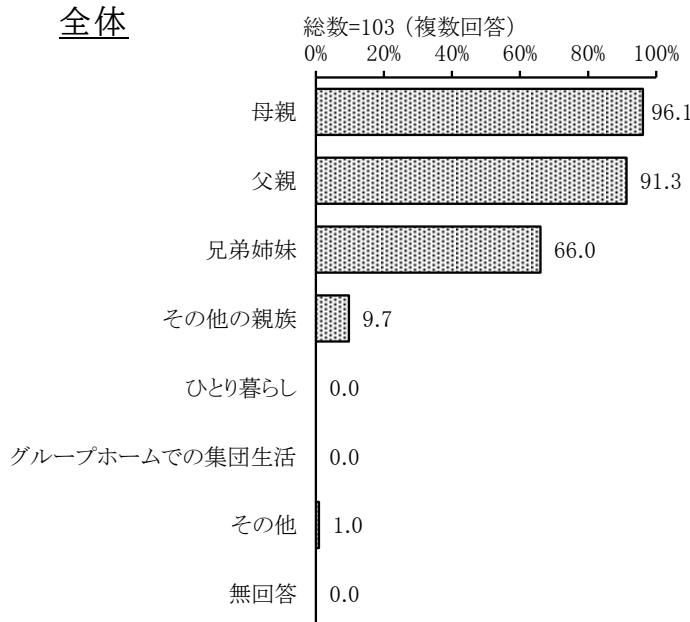
### (3) 同居家族

問4 あなたが一緒に暮らしている方は誰ですか。(あてはまるもの全てに○)

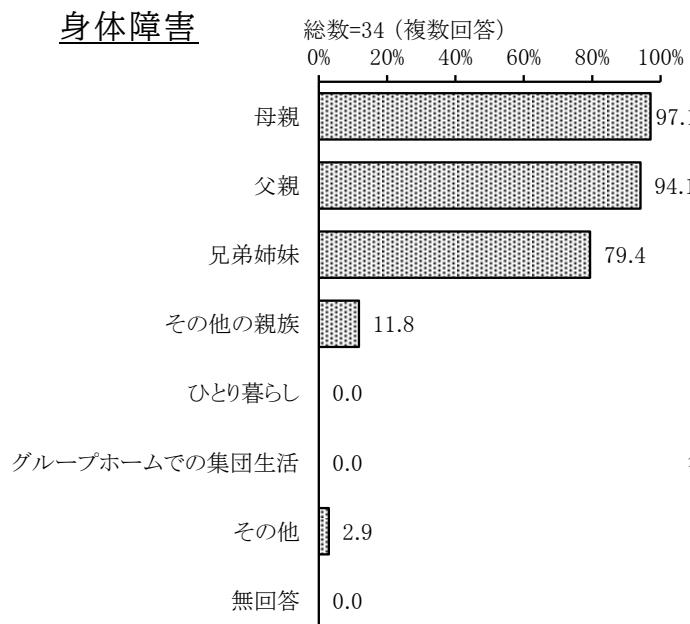
全体では、「母親」が96.1%と最も多く、次いで「父親」が91.3%、「兄弟姉妹」が66.0%、「その他の親族」が9.7%となっています。

障害別の結果も概ね同様の傾向となっています。

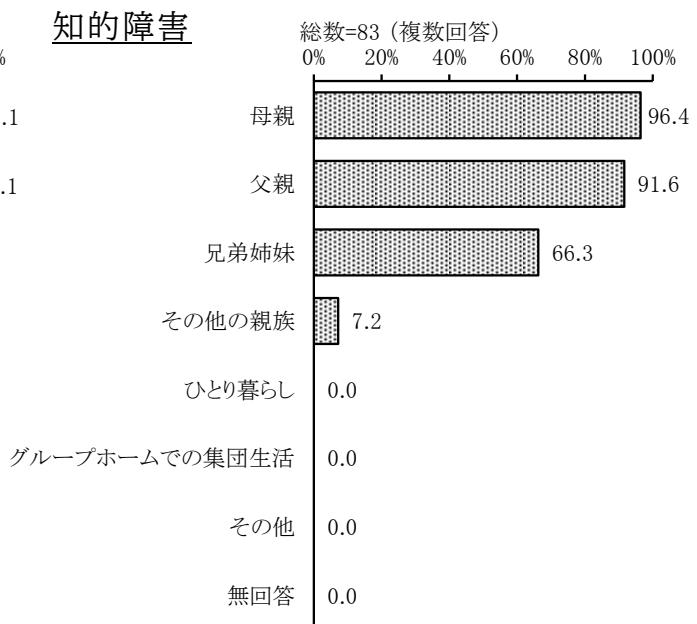
#### 全体



#### 身体障害



#### 知的障害



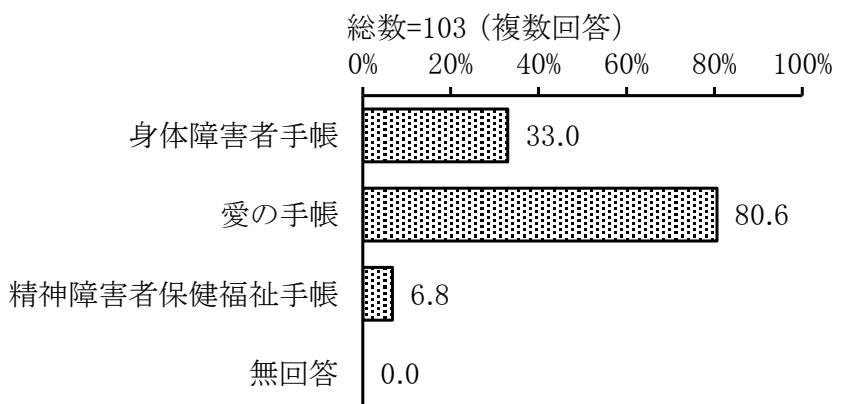
### 3. 障害の状況について

#### (1) 障害者手帳の種類

問6 あなたが持っている障害者手帳の種類をお聞きします。等級・程度にも○をつけてください。(あてはまるもの全てに○)

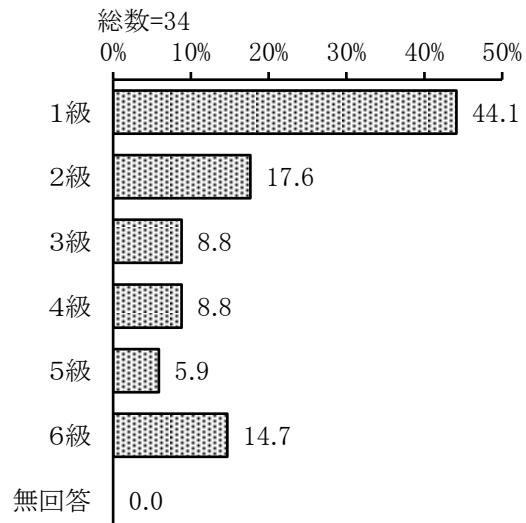
##### ①障害者手帳の種類

「愛の手帳」が80.6%と最も多く、次いで「身体障害者手帳」が33.0%、「精神障害者保健福祉手帳」が6.8%となっています。



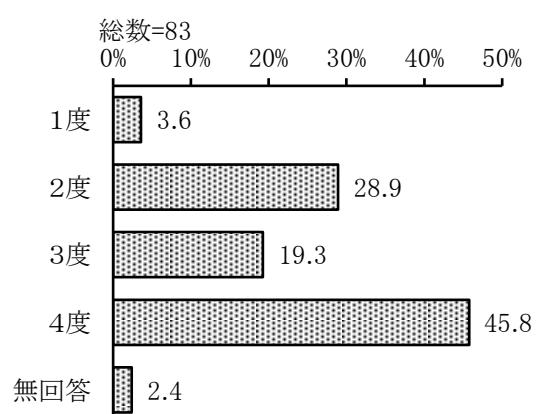
##### ②身体障害者手帳の等級

「1級」が44.1%と最も多く、次いで「2級」が17.6%、「6級」が14.7%、「3級」「4級」がそれぞれ8.8%となっています。



##### ③愛の手帳の程度

「4度」が45.8%と最も多く、次いで「2度」が28.9%、「3度」が19.3%、「1度」が3.6%となっています。



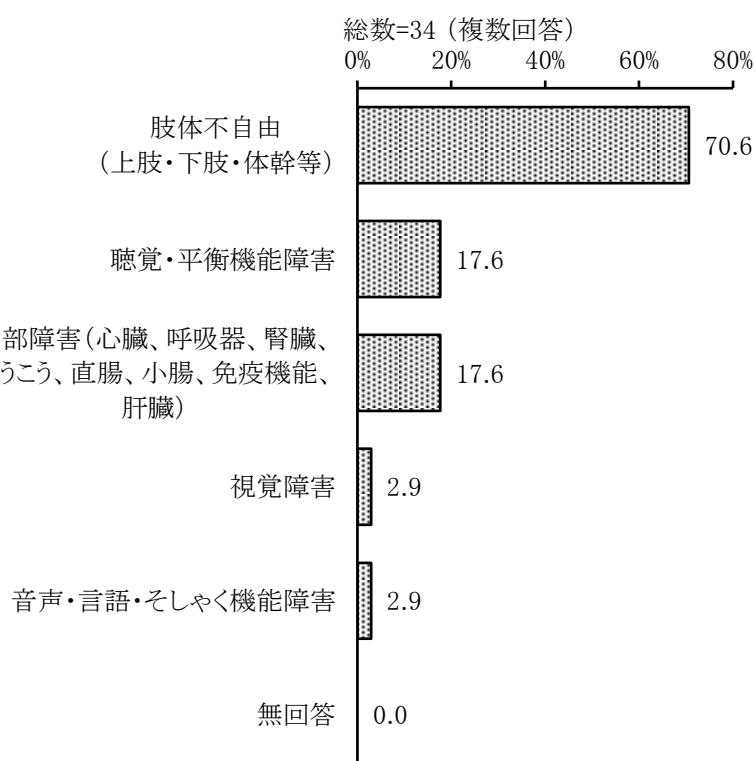
#### ④精神障害者保健福祉手帳の等級

総数は7件で、「3級」が5件、「2級」が2件となっています。

## (2) 身体障害の種類

問7 問6で「身体障害者手帳」を所持していると回答された方にお聞きします。  
障害の種類は何ですか。(あてはまるもの全てに○)

「肢体不自由（上肢・下肢・体幹等）」が70.6%と最も多く、次いで「聴覚・平衡機能障害」「内部障害（心臓、呼吸器、腎臓、ぼうこう、直腸、小腸、免疫機能、肝臓）」がそれぞれ17.6%、「視覚障害」「音声・言語・そしゃく機能障害」がそれぞれ2.9%となっています。



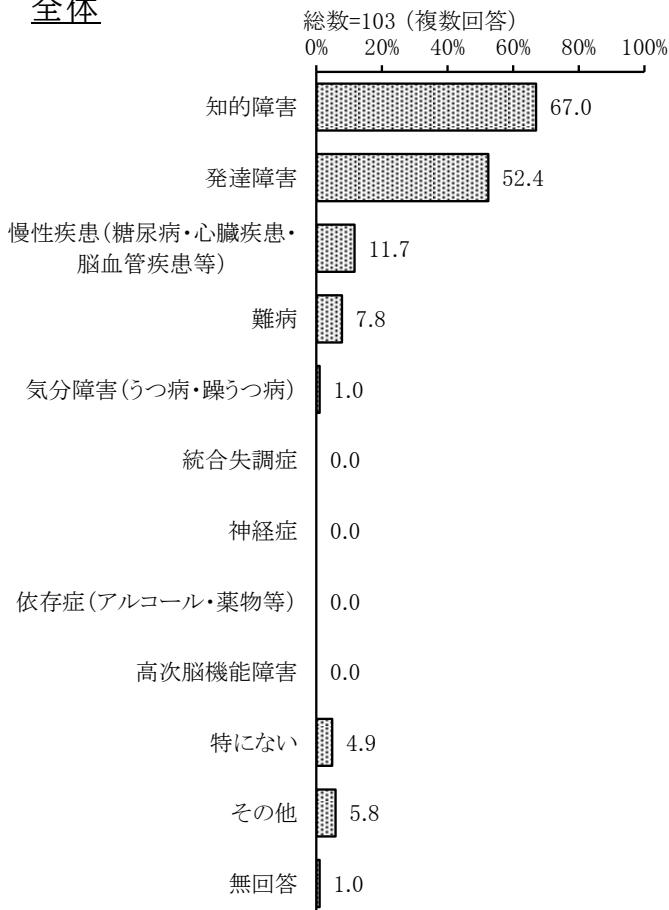
### (3) 疾患や障害の有無

問8 あなたは、次の疾患や障害がありますか。(あてはまるもの全てに○)

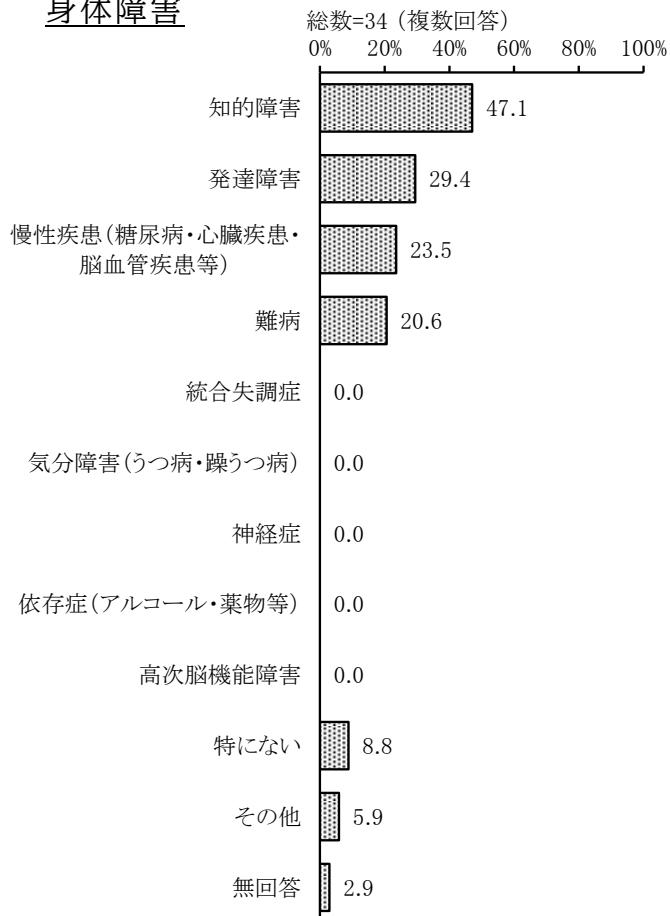
全体では、「知的障害」が67.0%と最も多く、次いで「発達障害」が52.4%、「慢性疾患（糖尿病・心臓疾患・脳血管疾患等）」が11.7%、「難病」が7.8%となっています。

障害別の結果も概ね同様の傾向となっています。

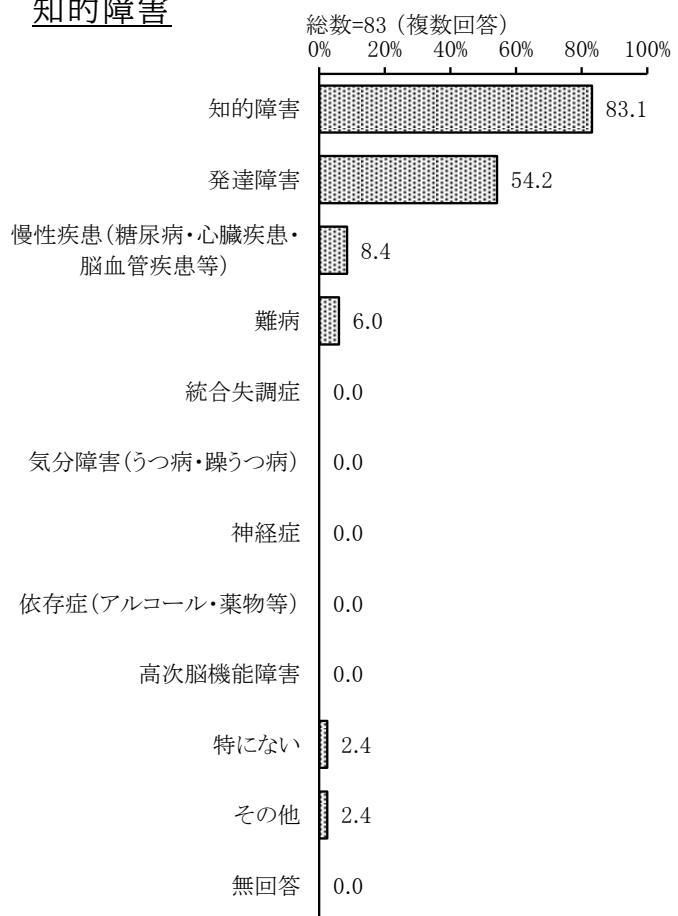
全体



## 身体障害



## 知的障害



※発達障害とは、自閉症スペクトラム障害（自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害）、学習障害、注意欠陥多動性障害等を言います。

※高次脳機能障害とは、一般に外傷性脳損傷、脳血管障害等により脳に損傷を受け、その後遺症等として生じた記憶障害、注意障害、社会的行動障害等の認知障害等を言います。

## 4. 医療や介助の状況について

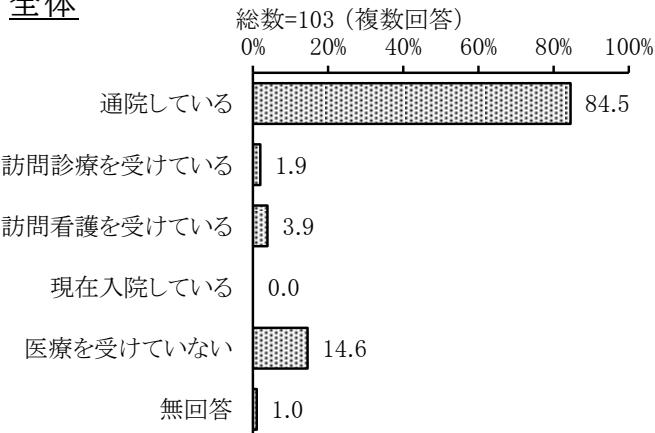
### (1) 医療機関の受診状況

問9 現在、あなたはご自身の疾患や障害のために医療（リハビリを含む）を受けていますか。（あてはまるもの全てに○）

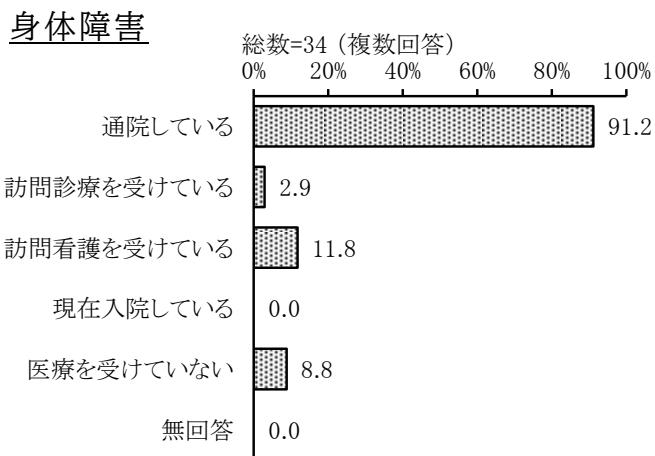
全体では、「通院している」が84.5%と最も多く、次いで「医療を受けていない」が14.6%、「訪問看護を受けている」が3.9%、「訪問診療を受けている」が1.9%となっています。

障害別に見ると、身体障害では「訪問看護を受けている」が知的障害より多くなっています。

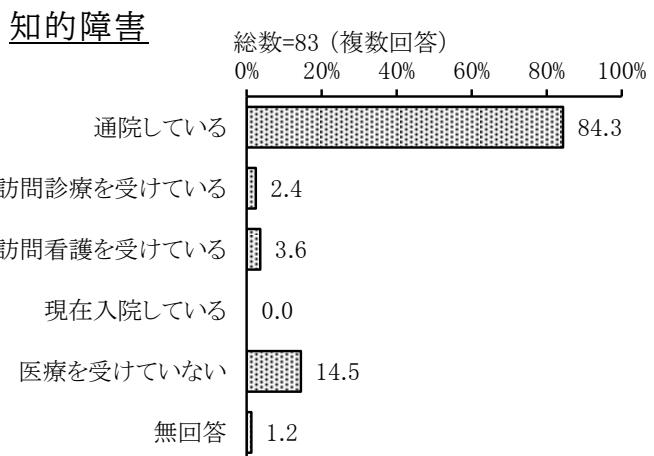
#### 全体



#### 身体障害



#### 知的障害



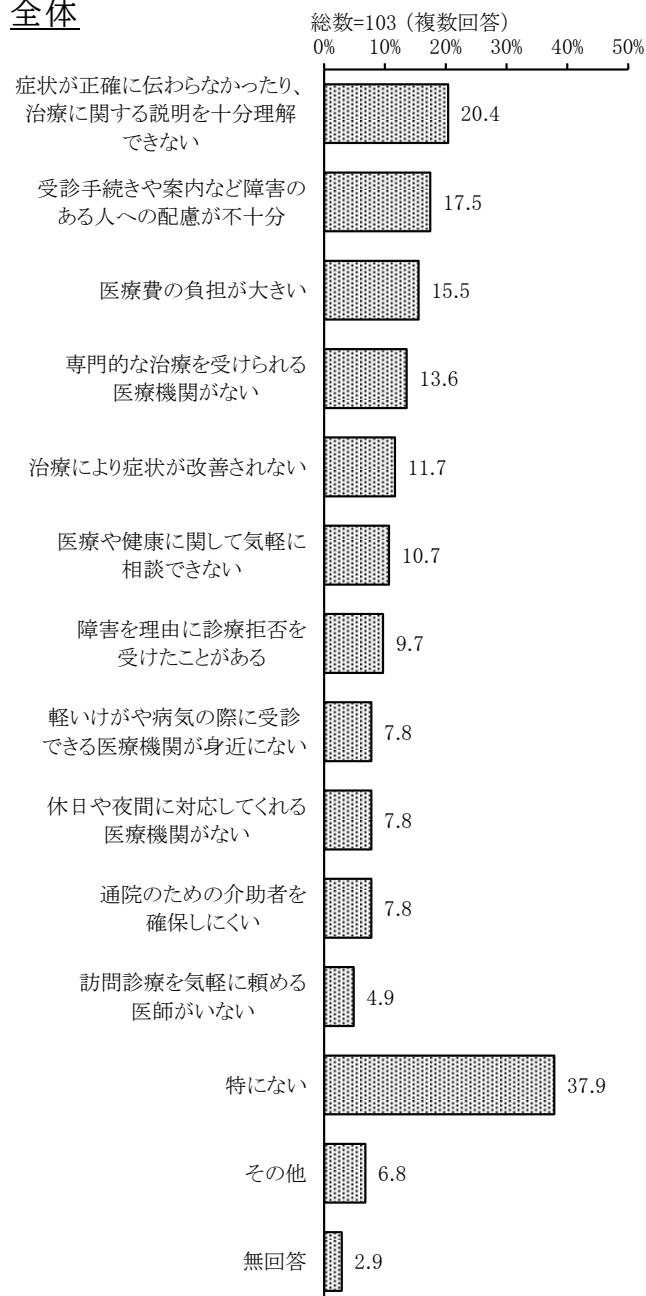
## (2) 医療を受ける際に困ること

問 10 あなたが、医療を受ける際に困ることは何ですか。  
(あてはまるもの全てに○)

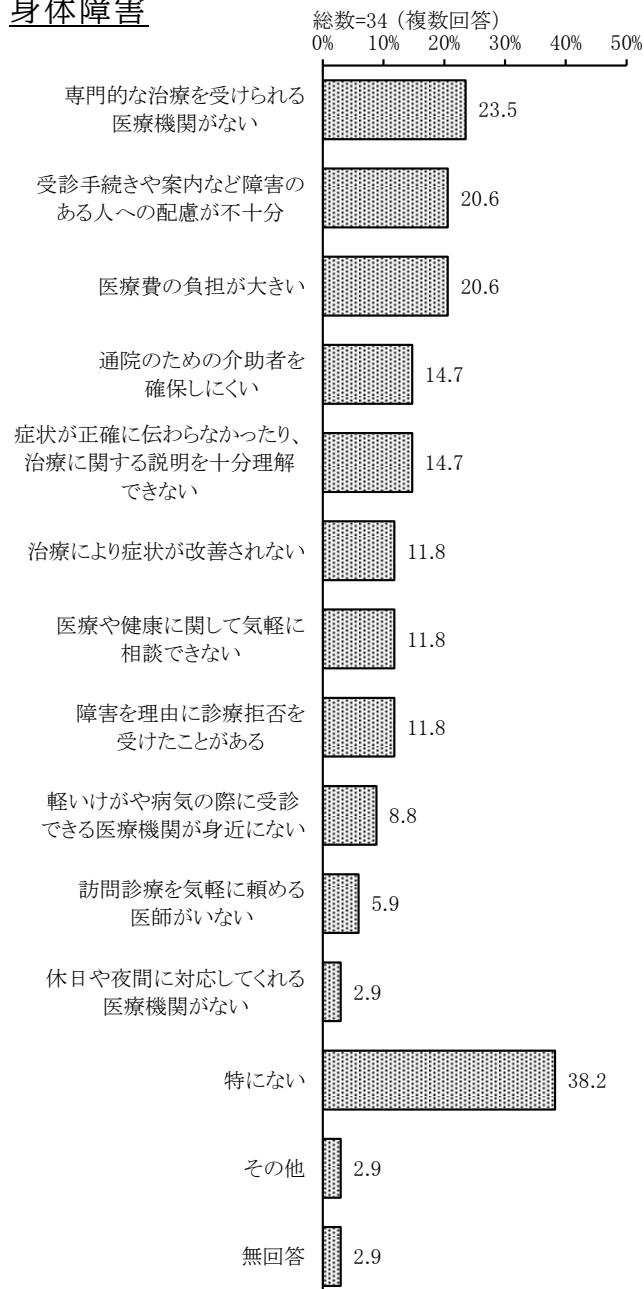
全体では、「症状が正確に伝わらなかつたり、治療に関する説明を十分理解できない」が 20.4% と最も多く、次いで「受診手続きや案内など障害のある人への配慮が不十分」が 17.5%、「医療費の負担が大きい」が 15.5%、「専門的な治療を受けられる医療機関がない」が 13.6% となっています。

障害別に見ると、身体障害では「専門的な治療を受けられる医療機関がない」が最も多くなっています。知的障害では「受診手続きや案内など障害のある人への配慮が不十分」も最も多くなっています。

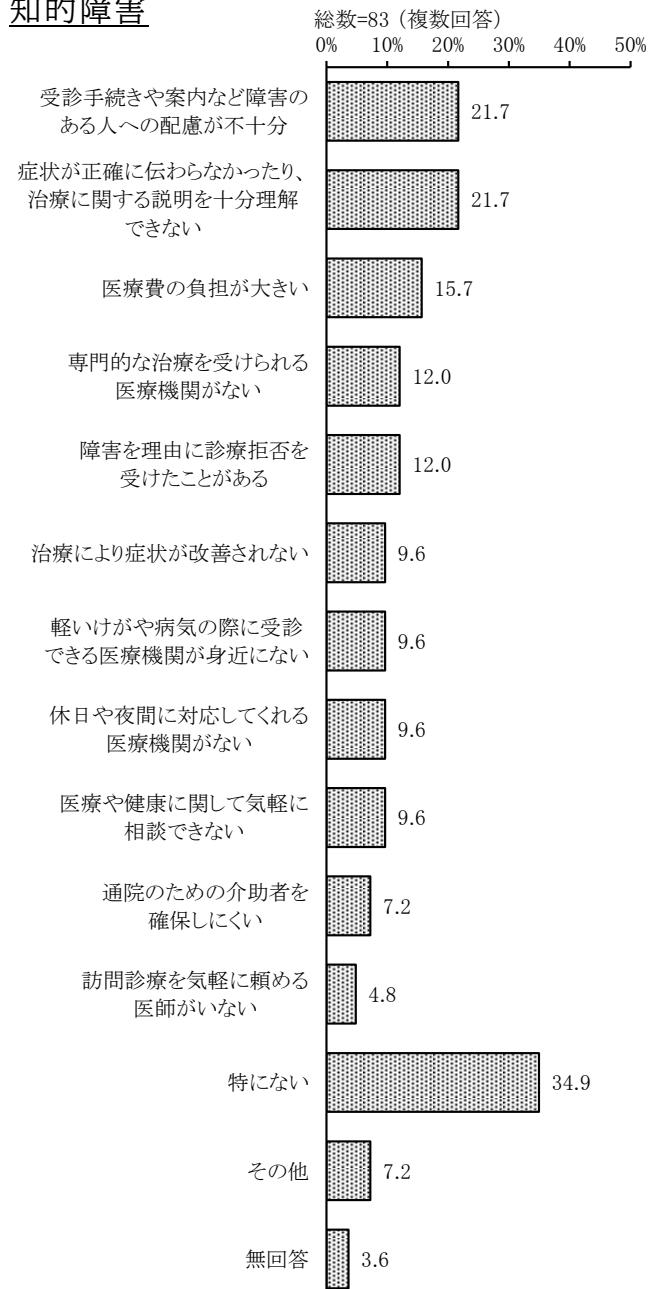
### 全体



## 身体障害



## 知的障害



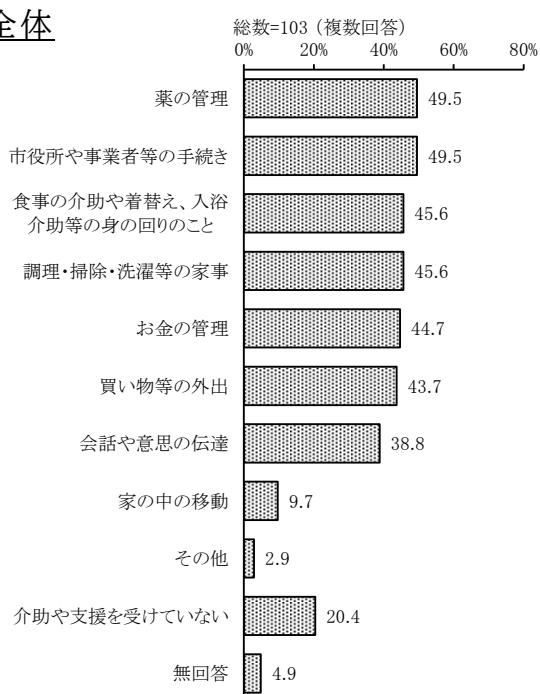
### (3) 介助や支援が必要なこと

問 11 あなたは日常生活でどのような介助や支援を受けていますか。  
(あてはまるもの全てに○)

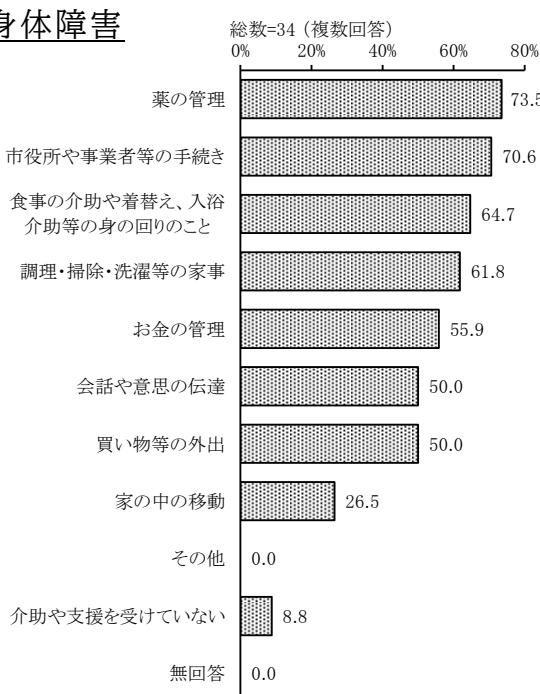
全体では、「薬の管理」「市役所や事業者等の手続き」がそれぞれ 49.5% と最も多く、次いで「食事の介助や着替え、入浴介助等の身の回りのこと」「調理・掃除・洗濯等の家事」がそれぞれ 45.6% となっています。

障害別に見ると、全般に身体障害のほうが多い傾向にあります。

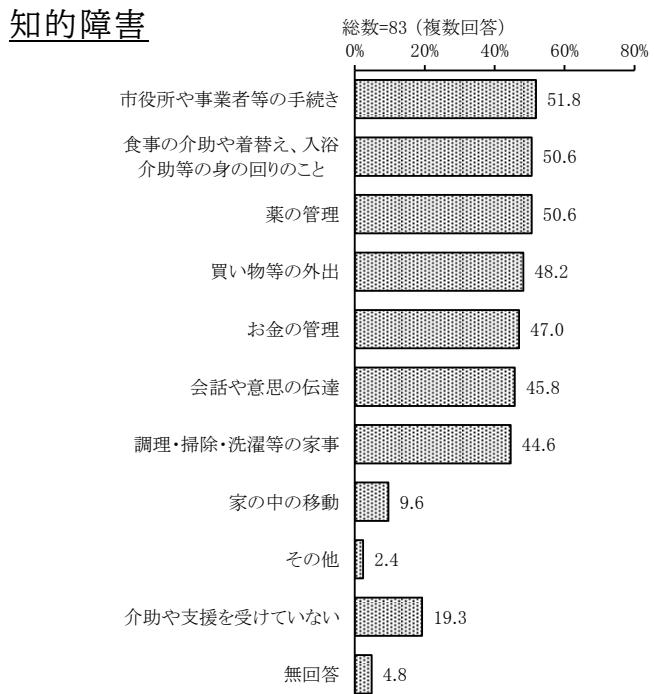
#### 全体



#### 身体障害



#### 知的障害



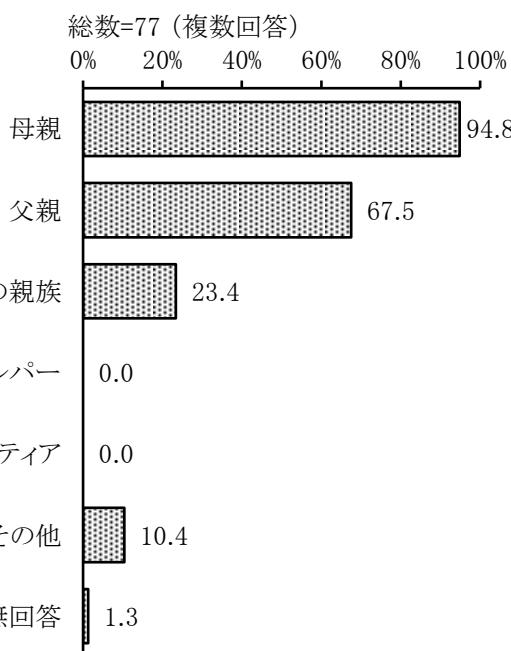
## (4) 主な介助者

問12 問11で「介助や支援を受けている（1～9）」と回答した方にお聞きします。あなたを介助や支援している人は誰ですか。  
(あてはまるもの全てに○)

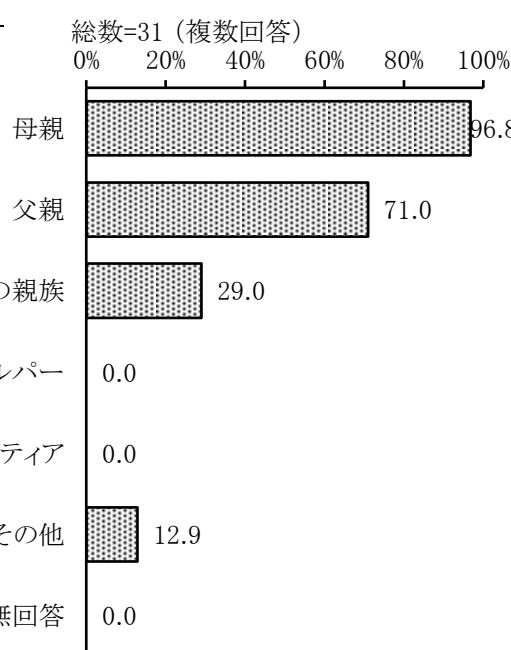
全体では、「母親」が94.8%と最も多く、次いで「父親」が67.5%、「その他の親族」が23.4%となっています。

障害別の結果も概ね同様の傾向となっています。

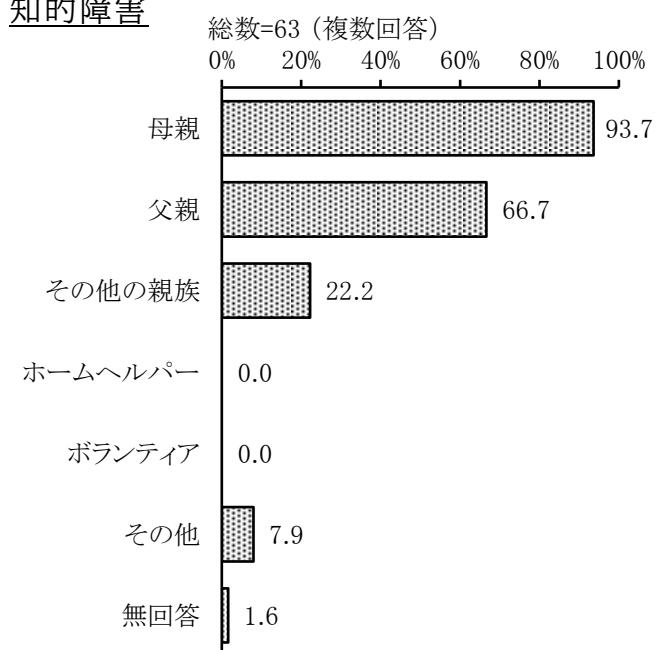
全体



身体障害



知的障害



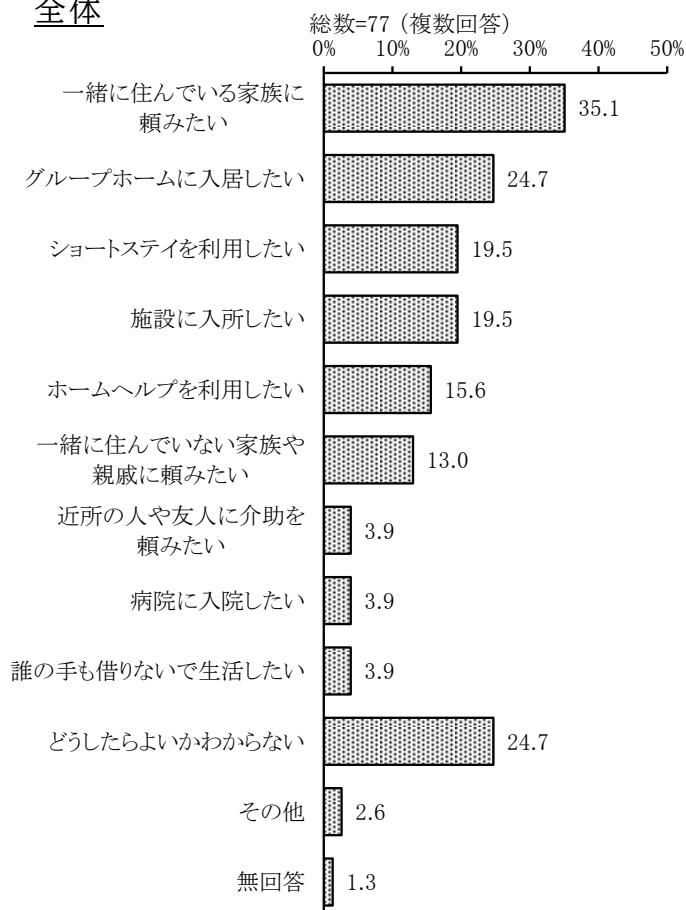
## (5) 主な介助者が介助できなくなった場合の希望

問 13 問 11 で「介助や支援を受けている（1～9）」と回答した方にお聞きします。介助者があなたを介助や支援できなくなった場合は、あなたはどうしたいですか。（あてはまるもの全てに○）

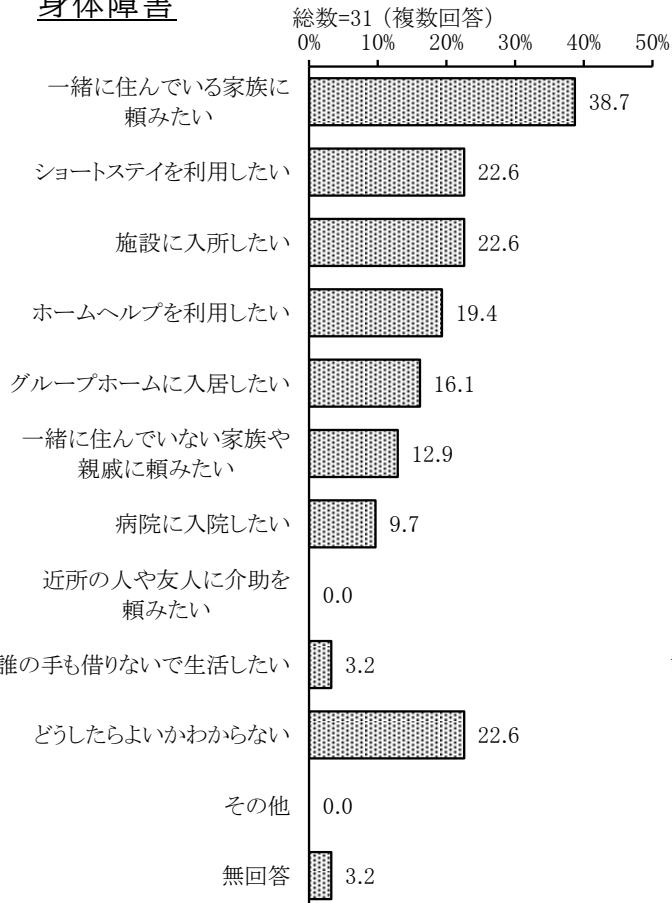
全体では、「一緒に住んでいる家族に頼みたい」が 35.1% と最も多く、次いで「グループホームに入居したい」が 24.7%、「ショートステイを利用したい」「施設に入所したい」がそれぞれ 19.5% となっています。

障害別に見ると、知的障害では「グループホームに入居したい」が身体障害より多くなっています。

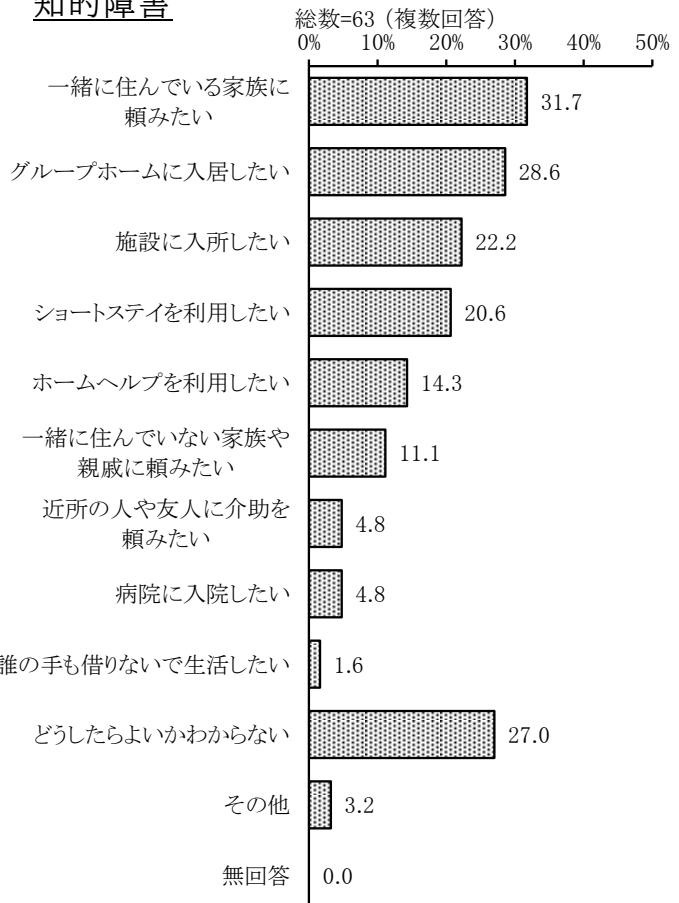
### 全体



## 身体障害



## 知的障害



## 5. 相談や福祉情報について

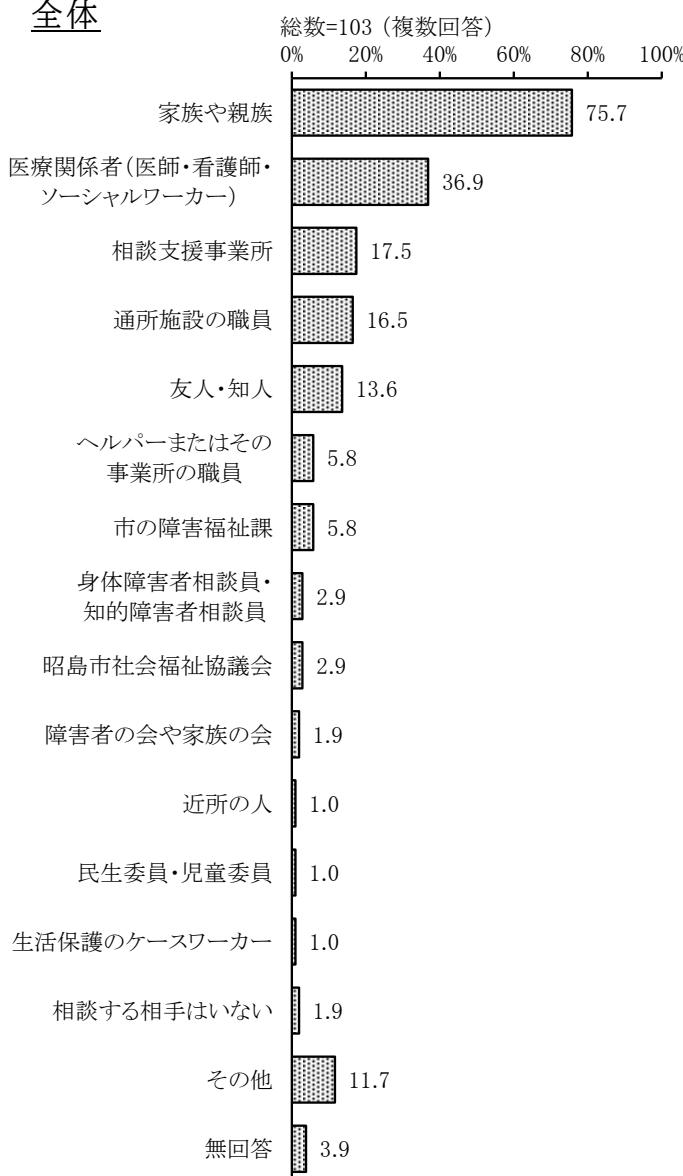
### (1) 困ったときに相談できる人や場所

問 14 あなたは、日常生活で困ったことや悩み事について相談している人や場所はどこですか。(あてはまるもの全てに○)

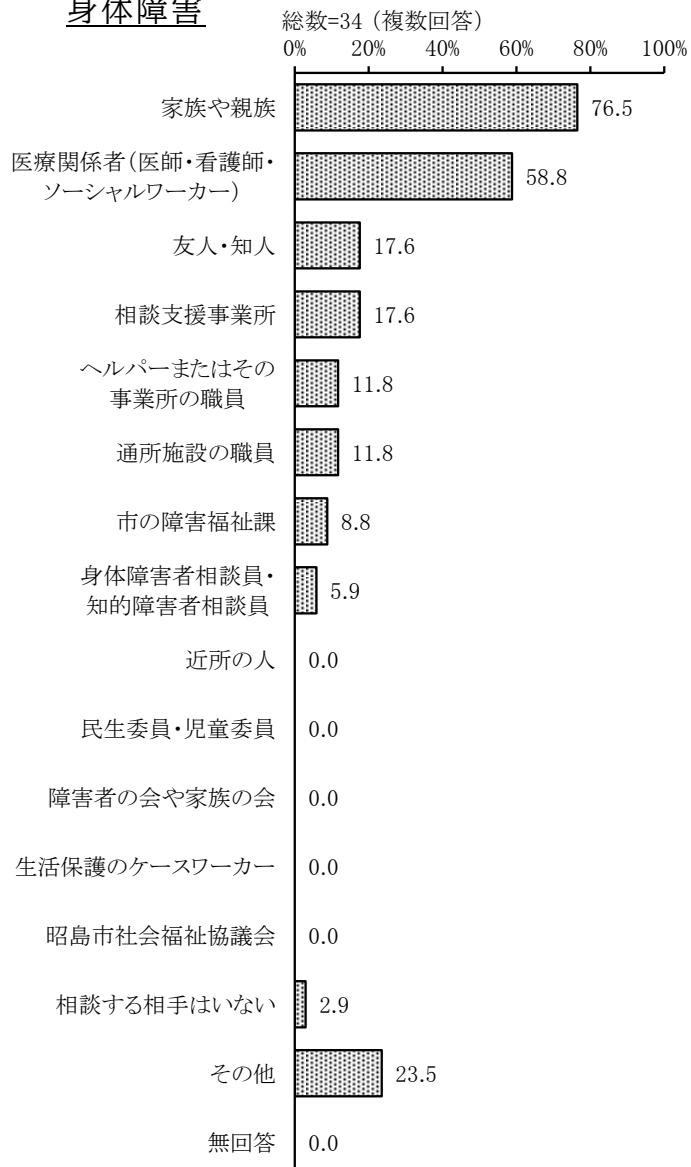
全体では、「家族や親族」が 75.7% と最も多く、次いで「医療関係者（医師・看護師・ソーシャルワーカー）」が 36.9%、「相談支援事業所」が 17.5%、「通所施設の職員」が 16.5% となっています。

障害別の結果も概ね同様の傾向となっています。

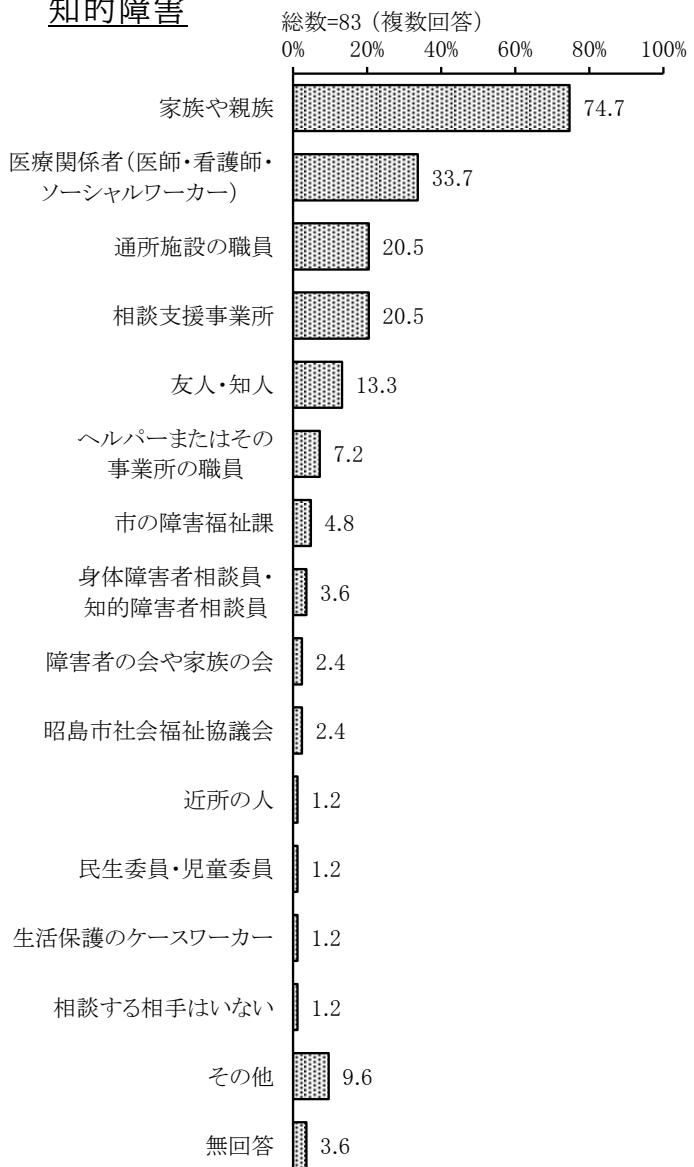
#### 全体



## 身体障害



## 知的障害



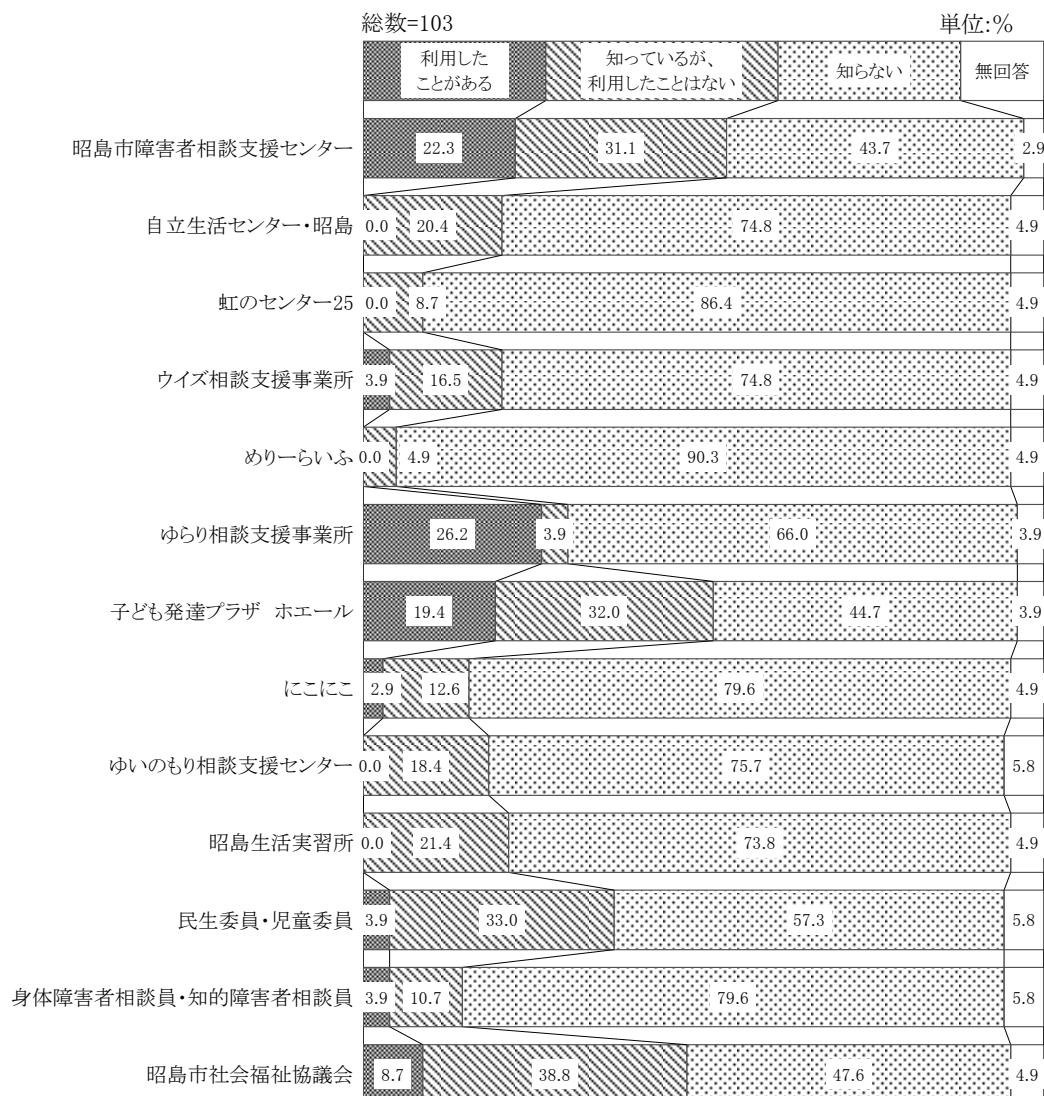
## (2) 相談場所等の認知状況

問 15 あなたは、次の相談場所等を知っていますか。  
(あてはまるもの全てに○)

市内の相談支援機関等のうち、9つの機関等で「知らない」が6割以上を占めています。

『知っている』(「利用したことがある」「知っているが、利用したことはない」を合わせた割合)は、「昭島市障害者相談支援センター」が53.4%と最も多く、次いで「子ども発達プラザ ホエール」が51.5%、「昭島市社会福祉協議会」が47.6%、「民生委員・児童委員」が36.9%となっています(実数から再計算しているため、四捨五入の関係で、「利用したことがある」「知っているが、利用したことはない」の割合の合計とは数値が若干異なっている場合があります)。

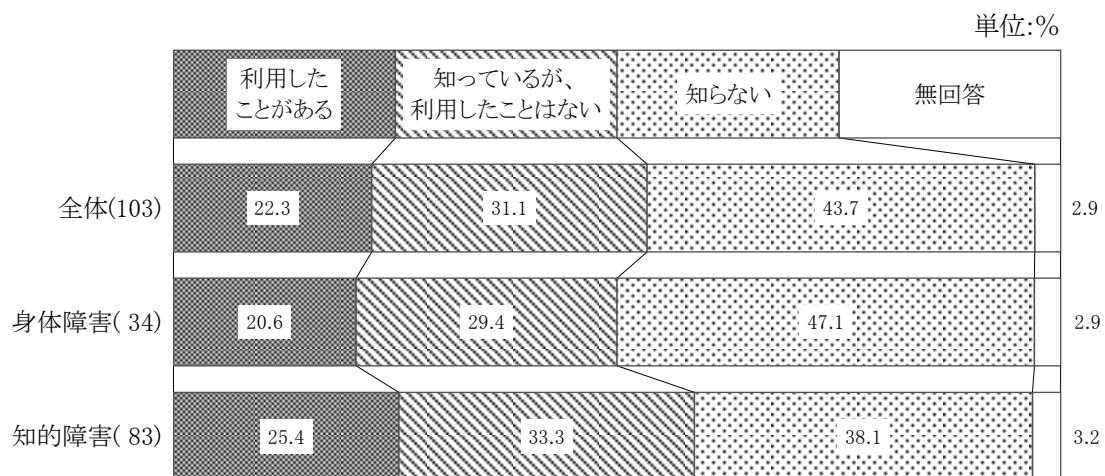
「利用したことがある」は、「ゆらり相談支援事業所」が26.2%と最も多く、次いで「昭島市障害者相談支援センター」が22.3%、「子ども発達プラザ ホエール」が19.4%、「昭島市社会福祉協議会」が8.7%となっています。



## ①昭島市障害者相談支援センター

全体では、「利用したことがある」が 22.3%、「知っているが、利用したことはない」が 31.1%、「知らない」が 43.7% となっています。

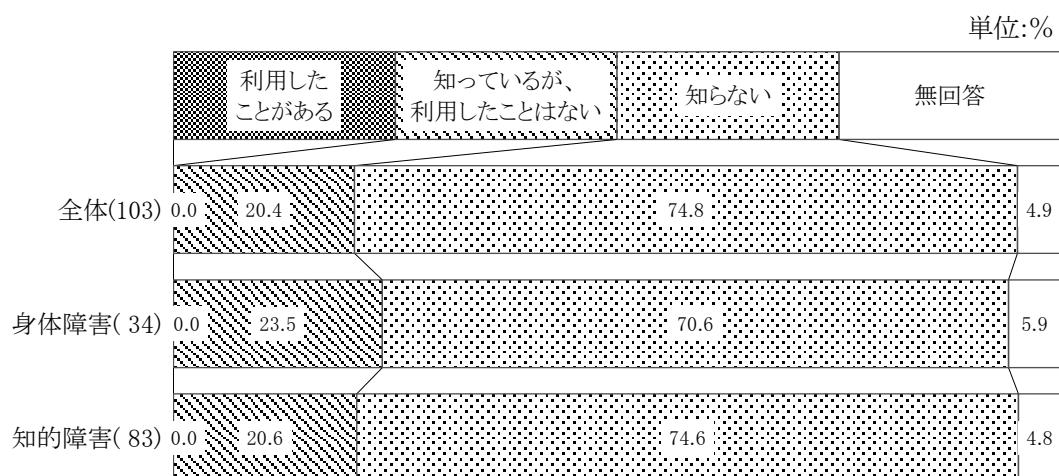
障害別の結果も概ね同様の傾向となっています。



## ②自立生活センター・昭島

全体では、「知っているが、利用したことはない」が 20.4%、「知らない」が 74.8% となっています。「利用したことがある」という回答はありませんでした。

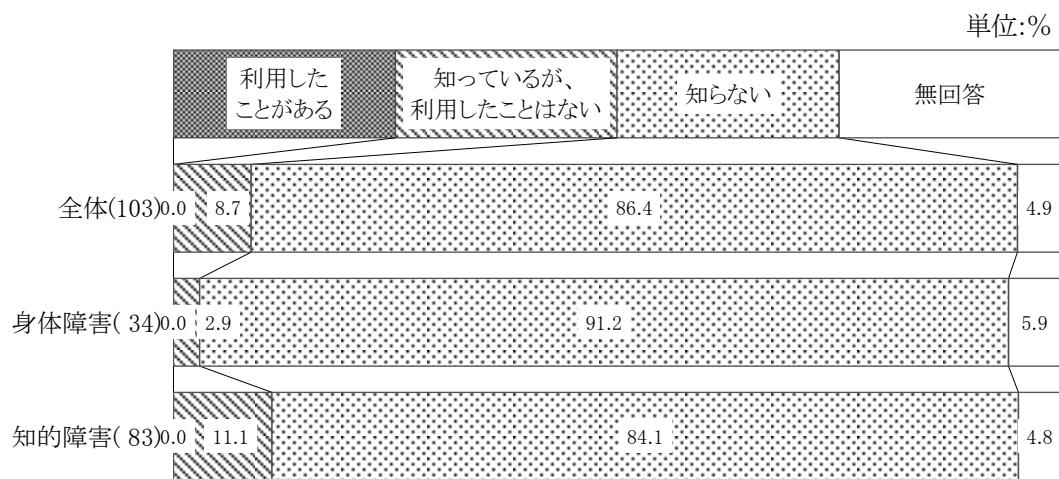
障害別の結果も概ね同様の傾向となっています。



### ③虹のセンター25

全体では、「知っているが、利用したことはない」が8.7%、「知らない」が86.4%となっています。「利用したことがある」という回答はありませんでした。

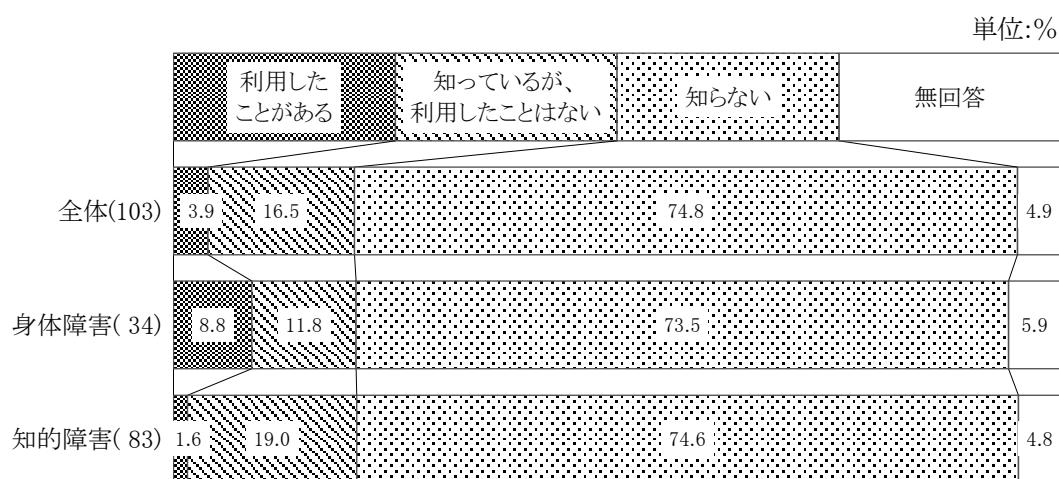
障害別の結果も概ね同様の傾向となっています。



### ④ウイズ相談支援事業所

全体では、「利用したことがある」が3.9%、「知っているが、利用したことはない」が16.5%、「知らない」が74.8%となっています。

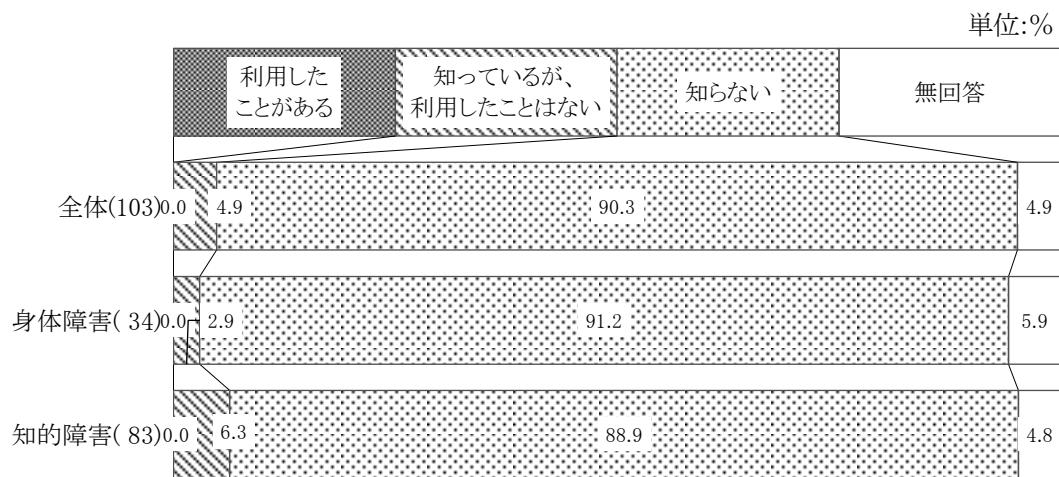
障害別に見ると、身体障害では「利用したことがある」が知的障害より多くなっています。



## ⑤めりーらいふ

全体では、「知っているが、利用したことはない」が4.9%、「知らない」が90.3%となっています。「利用したことがある」という回答はありませんでした。

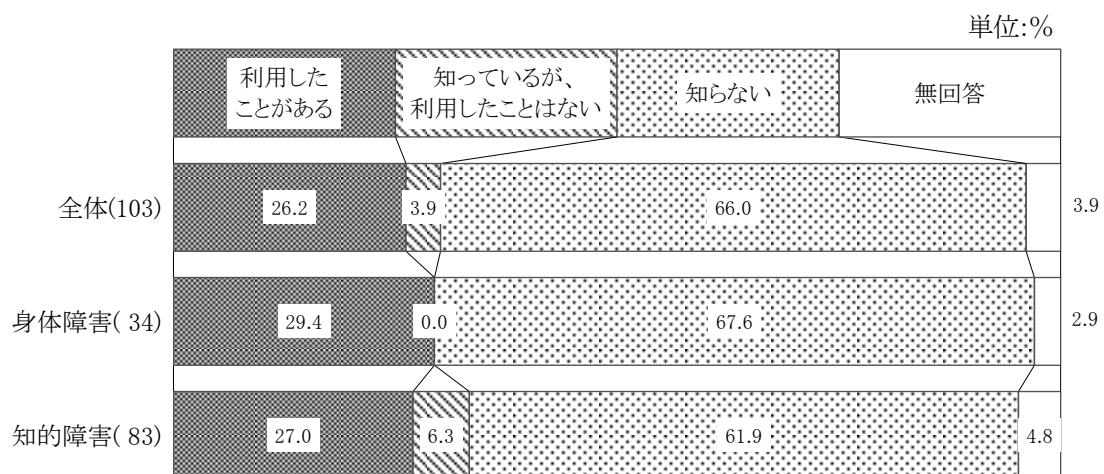
障害別の結果も概ね同様の傾向となっています。



## ⑥ゆらり相談支援事業所

全体では、「利用したことがある」が26.2%、「知っているが、利用したことはない」が3.9%、「知らない」が66.0%となっています。

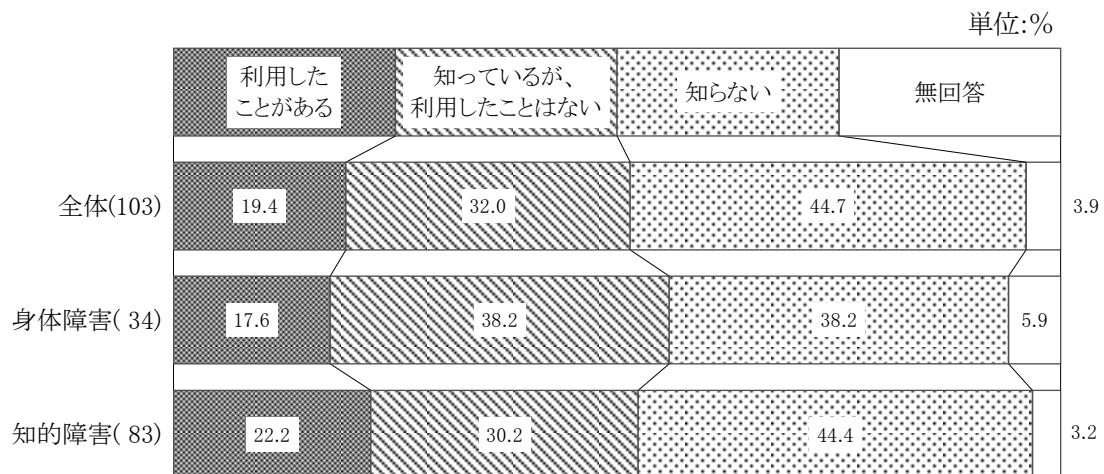
障害別の結果も概ね同様の傾向となっています。



## ⑦子ども発達プラザ ホエール

全体では、「利用したことがある」が 19.4%、「知っているが、利用したことはない」が 32.0%、「知らない」が 44.7% となっています。

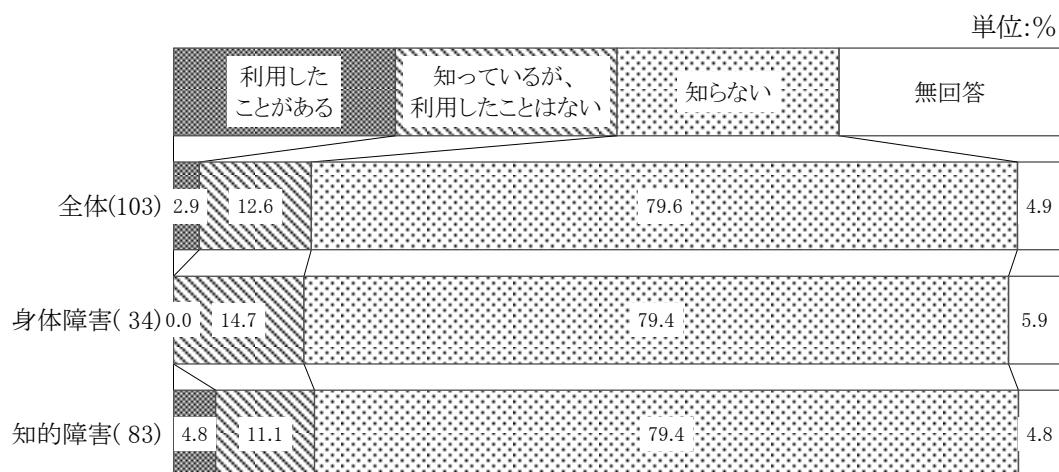
障害別の結果も概ね同様の傾向となっています。



## ⑧にこにこ

全体では、「利用したことがある」が 2.9%、「知っているが、利用したことはない」が 12.6%、「知らない」が 79.6% となっています。

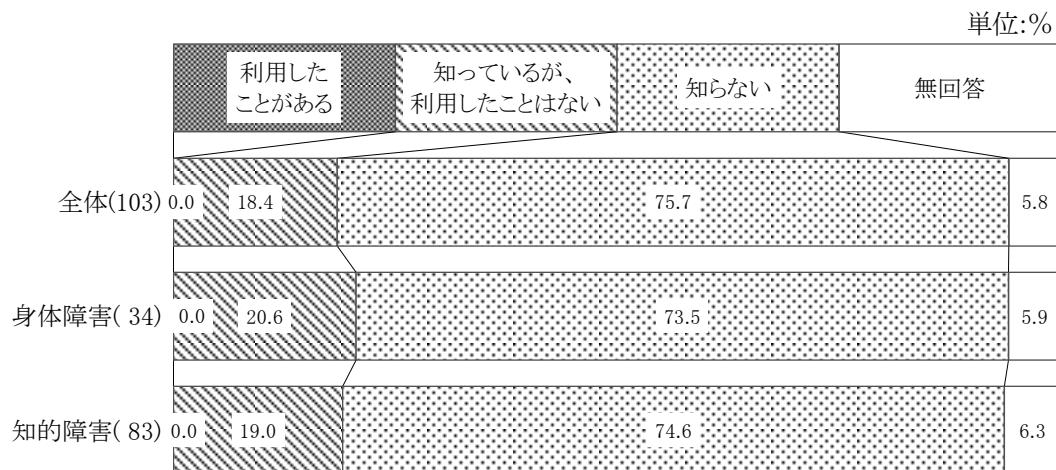
障害別に見ると、身体障害では「利用したことがある」という回答はありませんでした。



## ⑨ゆいのもり相談支援センター

全体では、「知っているが、利用したことはない」が 18.4%、「知らない」が 75.7% となっています。「利用したことがある」という回答はありませんでした。

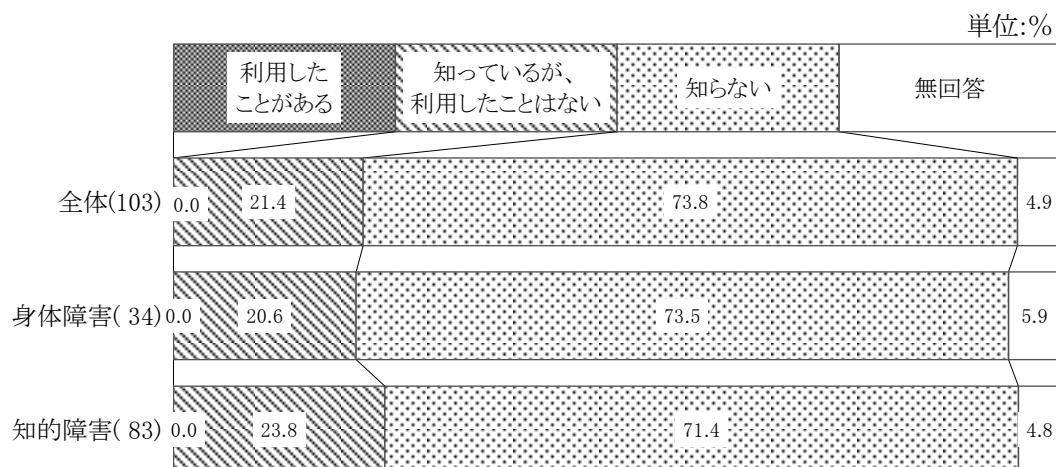
障害別の結果も概ね同様の傾向となっています。



## ⑩昭島生活実習所

全体では、「知っているが、利用したことはない」が 21.4%、「知らない」が 73.8% となっています。「利用したことがある」という回答はありませんでした。

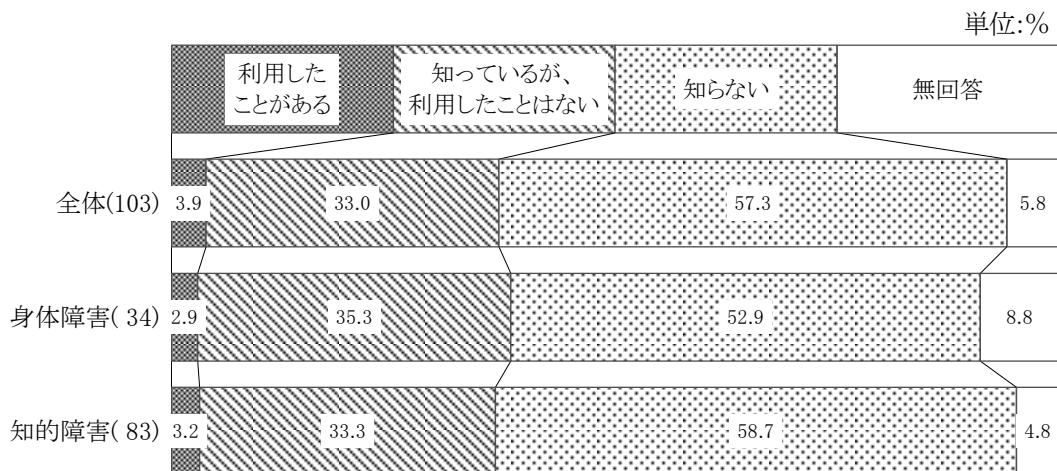
障害別の結果も概ね同様の傾向となっています。



## ⑪民生委員・児童委員

全体では、「利用したことがある」が3.9%、「知っているが、利用したことはない」が33.0%、「知らない」が57.3%となっています。

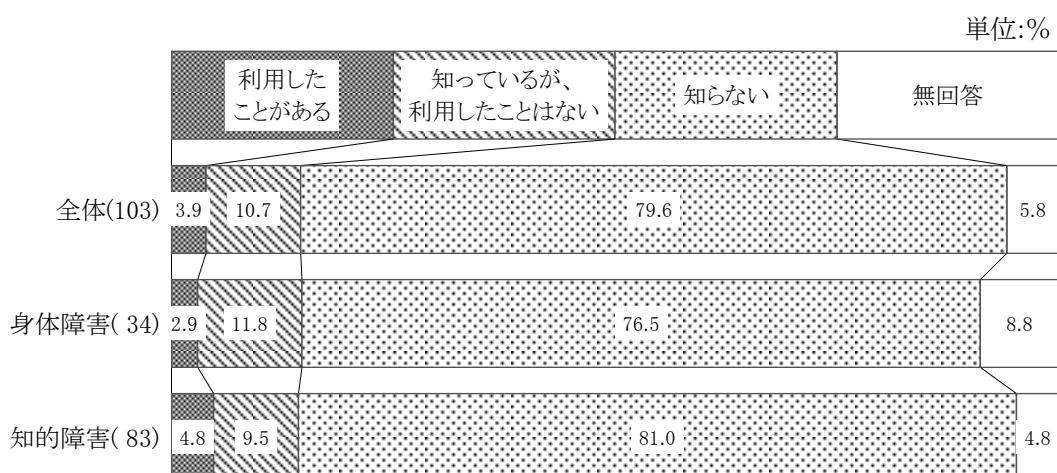
障害別の結果も概ね同様の傾向となっています。



## ⑫身体障害者相談員・知的障害者相談員

全体では、「利用したことがある」が3.9%、「知っているが、利用したことはない」が10.7%、「知らない」が79.6%となっています。

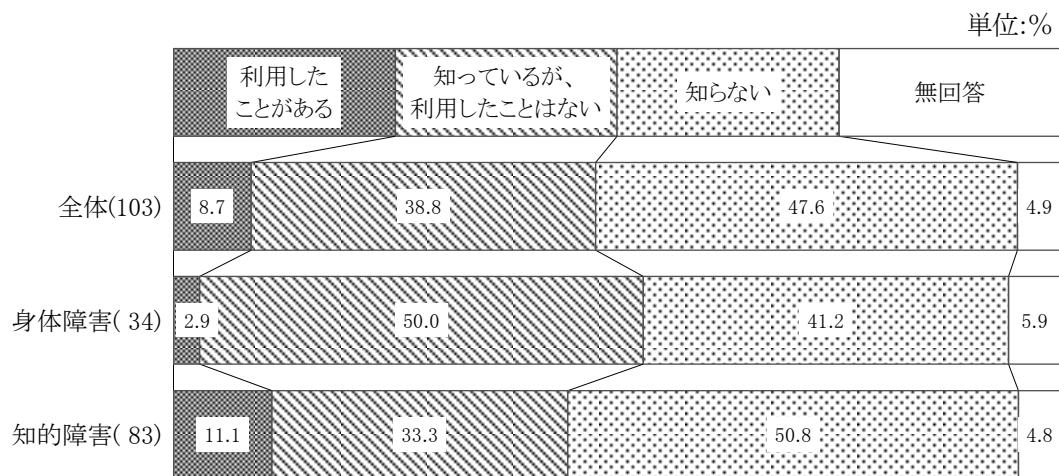
障害別の結果も概ね同様の傾向となっています。



### ⑬昭島市社会福祉協議会

全体では、「利用したことがある」が 8.7%、「知っているが、利用したことはない」が 38.8%、「知らない」が 47.6% となっています。

障害別に見ると、知的障害では「利用したことがある」が身体障害より多くなっています。



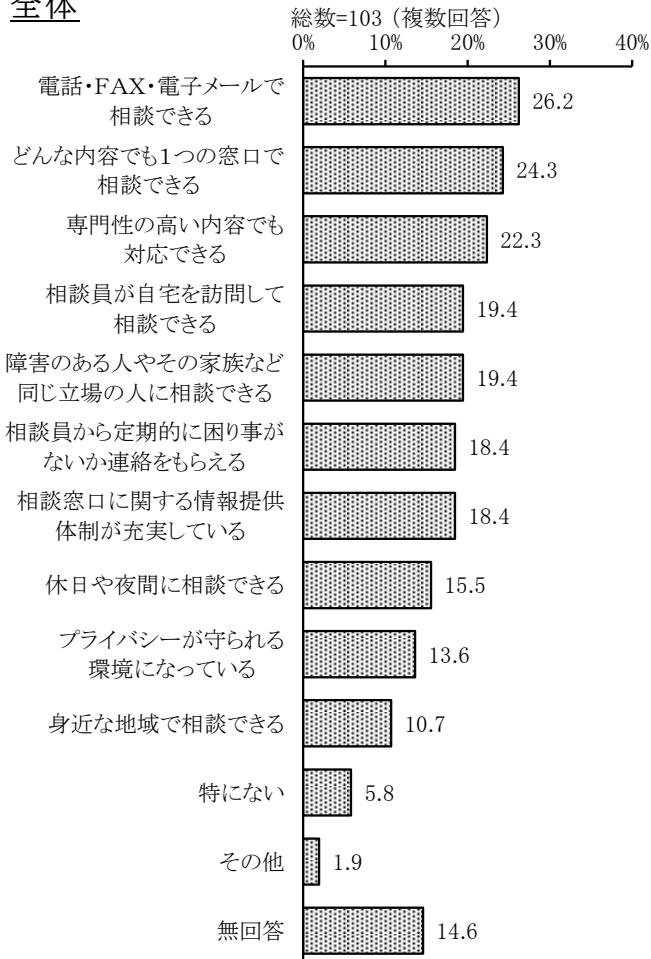
### (3) 気軽に相談するために必要なこと

問 16 あなたは、市役所等の公的な相談窓口に気軽に相談するために、どのようなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)

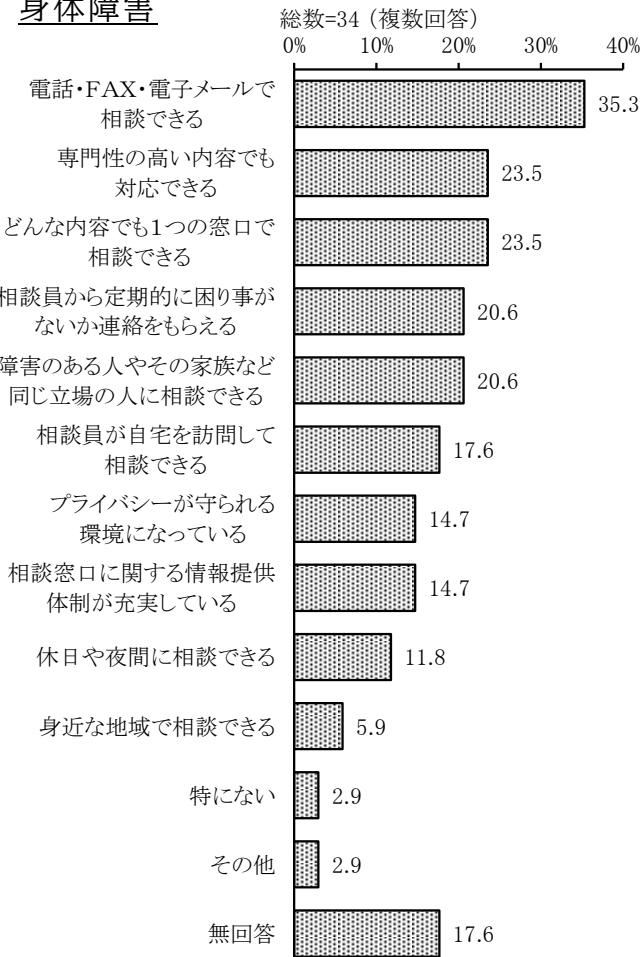
全体では、「電話・FAX・電子メールで相談できる」が26.2%と最も多く、次いで「どんな内容でも1つの窓口で相談できる」が24.3%、「専門性の高い内容でも対応できる」が22.3%、「相談員が自宅を訪問して相談できる」「障害のある人やその家族など同じ立場の人に相談できる」がそれぞれ19.4%となっています。

障害別に見ると、知的障害では「どんな内容でも1つの窓口で相談できる」が最も多くなっています。

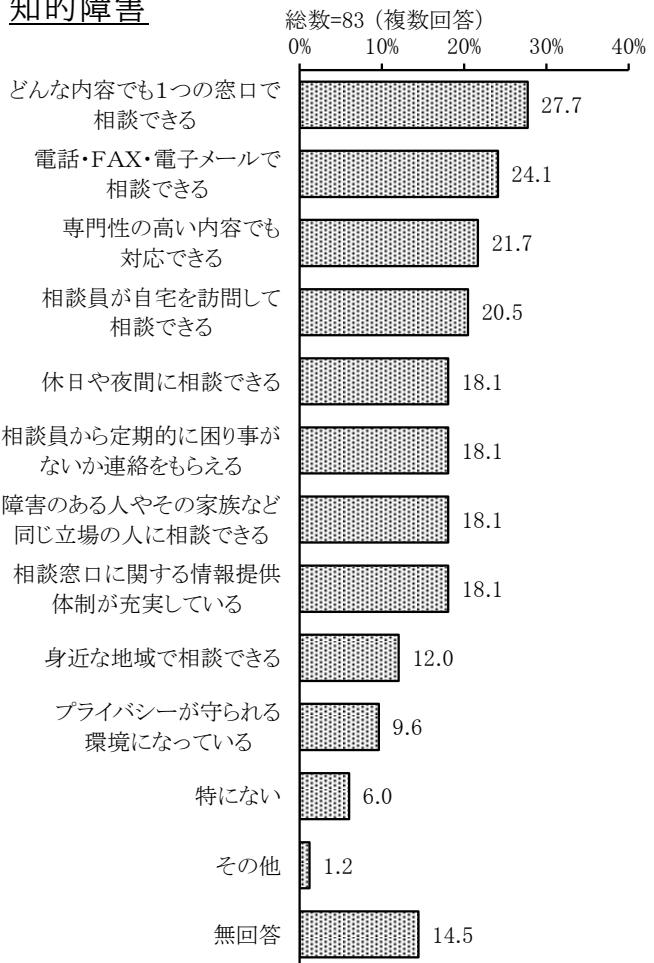
#### 全体



## 身体障害



## 知的障害



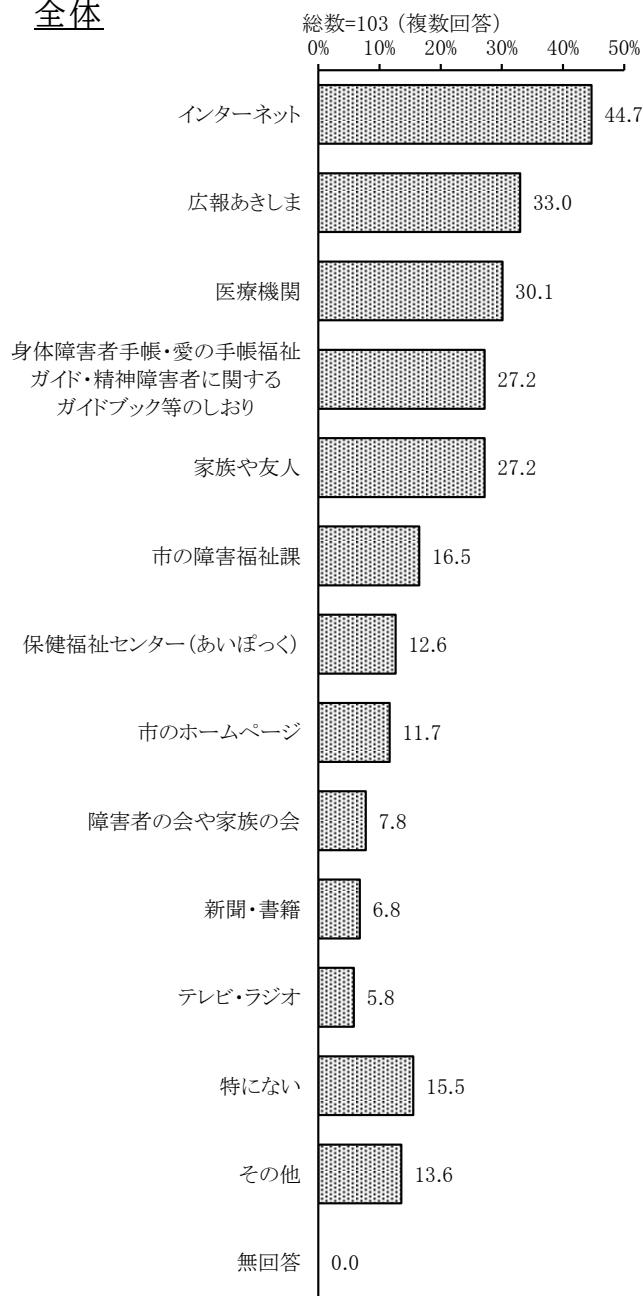
## (4) 福祉に関する情報の入手方法

問 17 あなたは、障害のあるかたのための福祉に関する情報をどこから得ていま  
すか。(あてはまるもの全てに○)

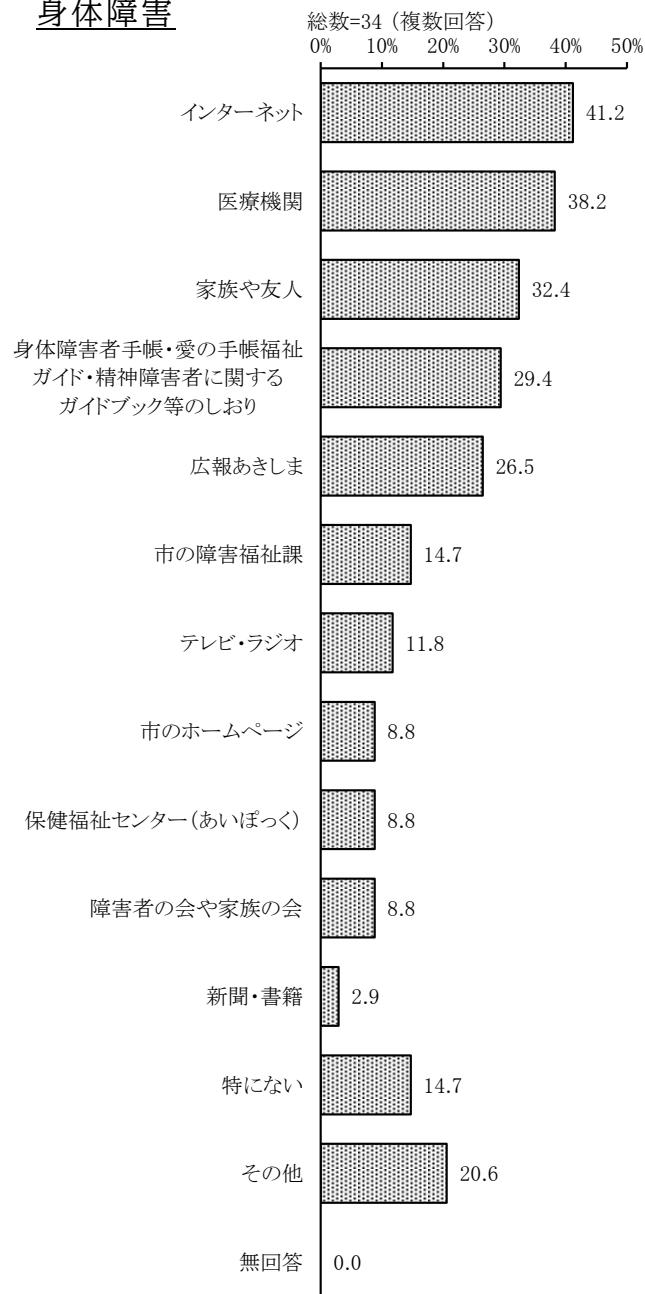
全体では、「インターネット」が 44.7% と最も多く、次いで「広報あきしま」が 33.0%、「医療機関」が 30.1%、「身体障害者手帳・愛の手帳福祉ガイド・精神障害者に関するガイドブック等のしおり」「家族や友人」がそれぞれ 27.2% となっています。

障害別に見ると、身体障害では「医療機関」が知的障害より多くなっています。

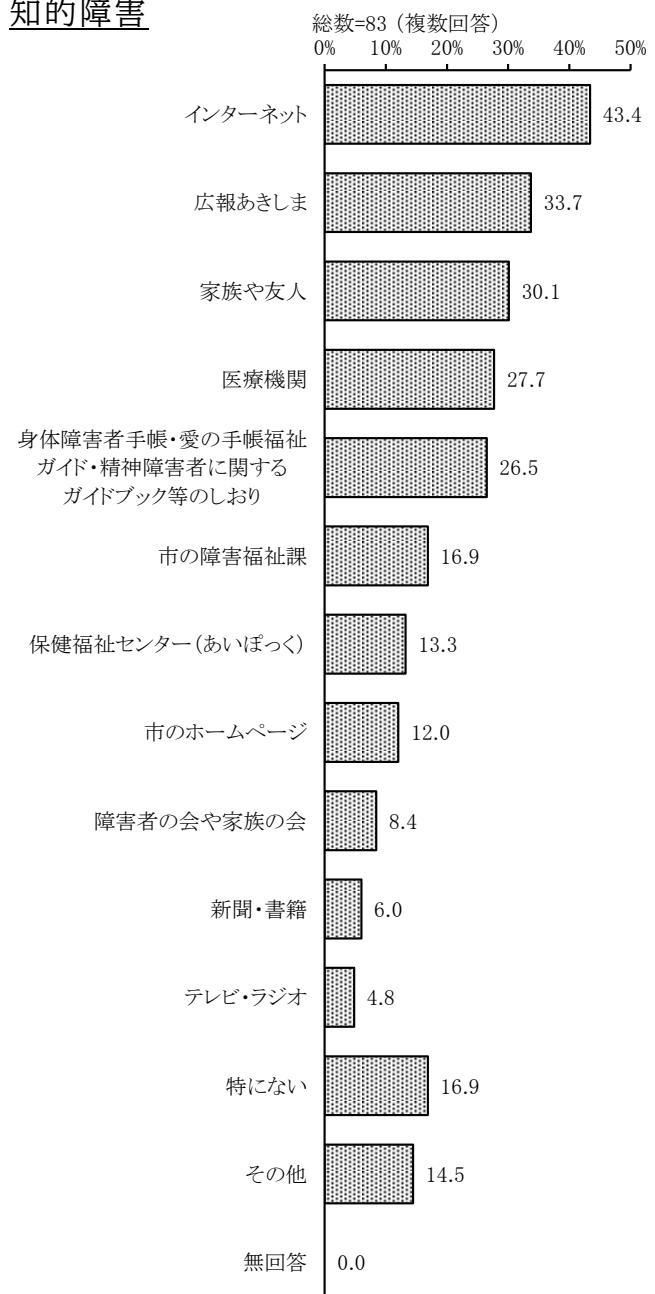
全体



## 身体障害



## 知的障害



## 6. 日中活動や仕事について

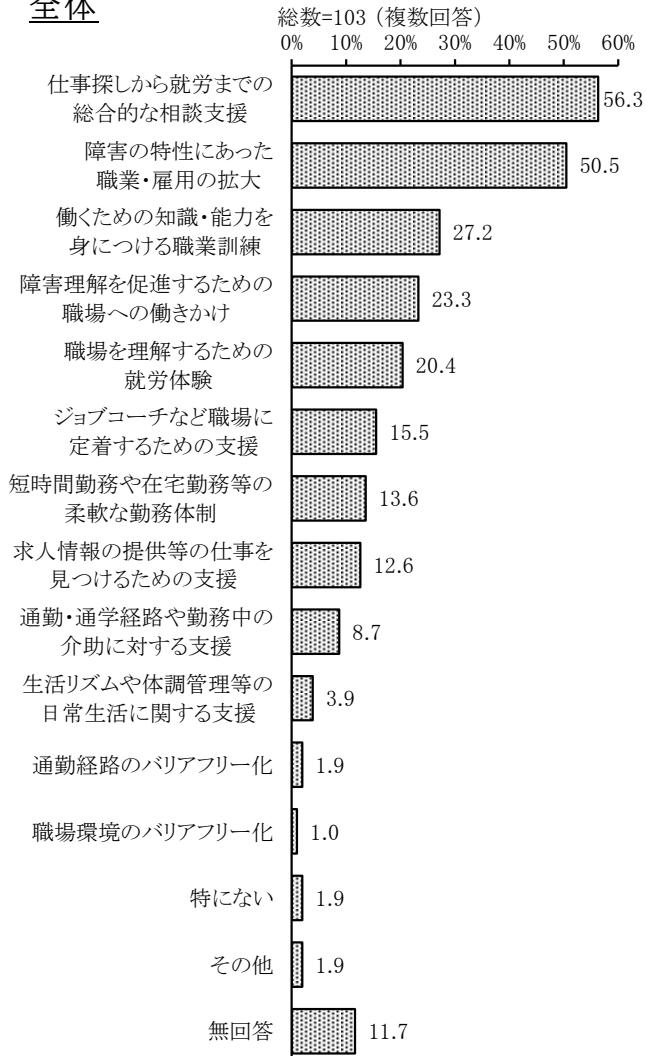
### (1) 働くために必要な支援

問 21 あなたは、障害のあるかたが働くためにはどのような支援が必要だと思いますか。(○は3つまで)

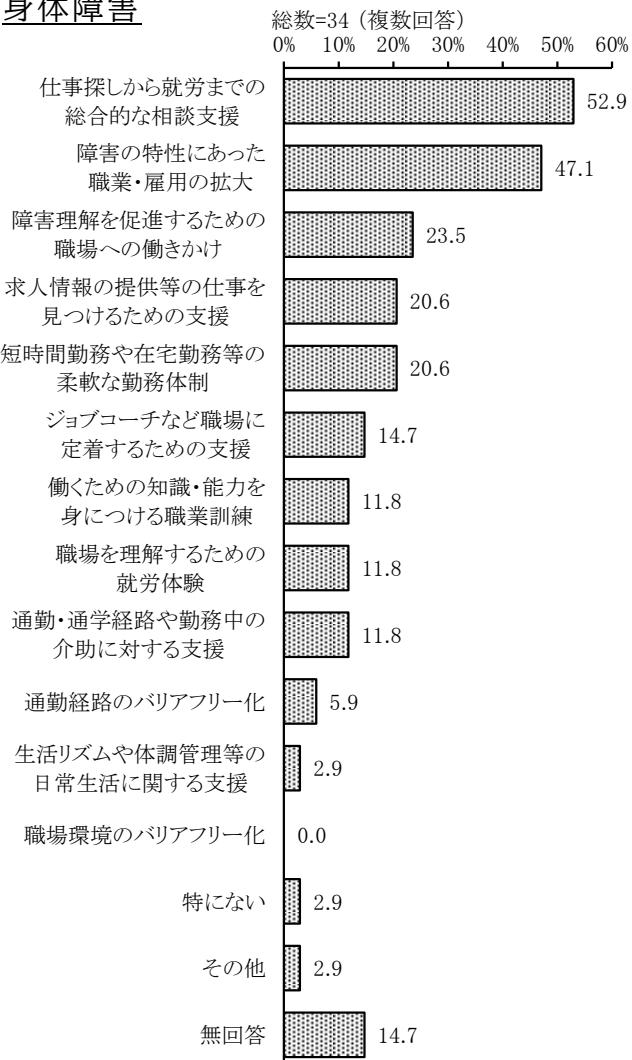
全体では、「仕事探しから就労までの総合的な相談支援」が 56.3% と最も多く、次いで「障害の特性にあった職業・雇用の拡大」が 50.5%、「働くための知識・能力を身につける職業訓練」が 27.2%、「障害理解を促進するための職場への働きかけ」が 23.3% となっています。

障害別の結果も概ね同様の傾向となっています。

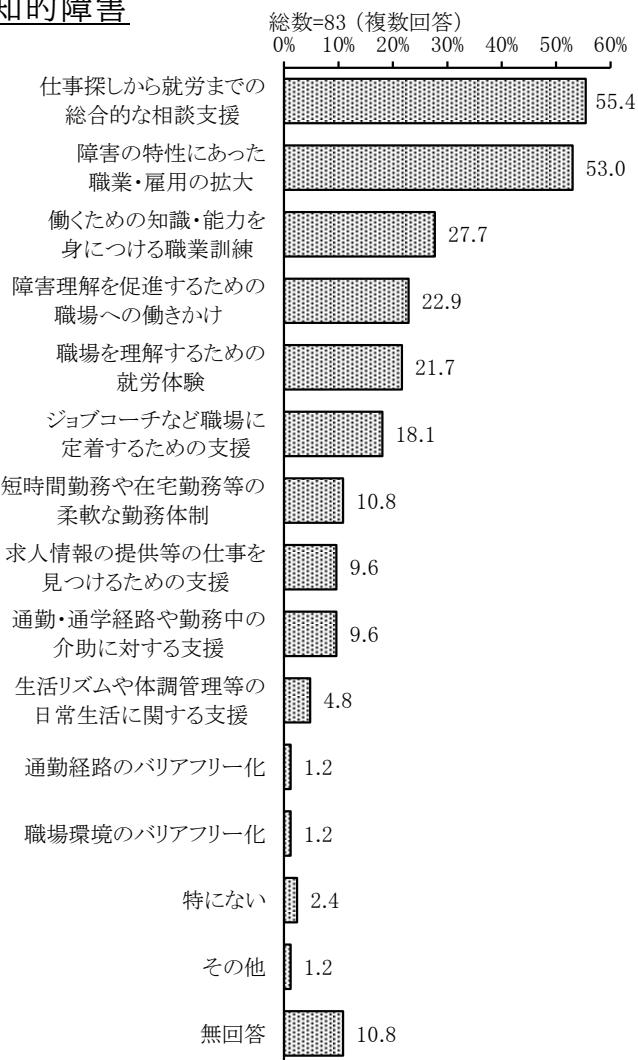
#### 全体



## 身体障害



## 知的障害



※ジョブコーチとは、障害のあるかたが就職を目指して実習を行っている場や職場で、仕事に慣れるための支援や同僚への障害理解の促進等を行う人のことです。

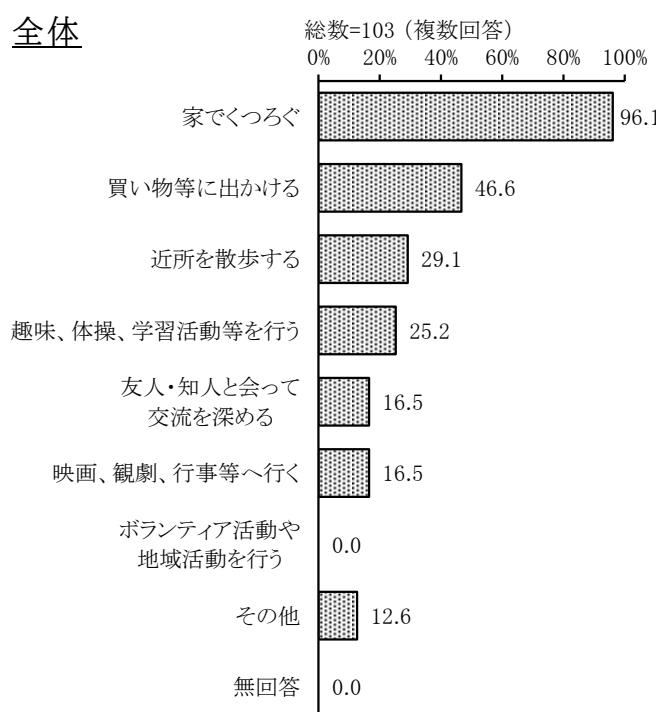
## (2) 余暇の過ごし方

問 22 あなたは仕事や学校以外の自由な時間をどのように過ごしていますか。  
(あてはまるもの全てに○)

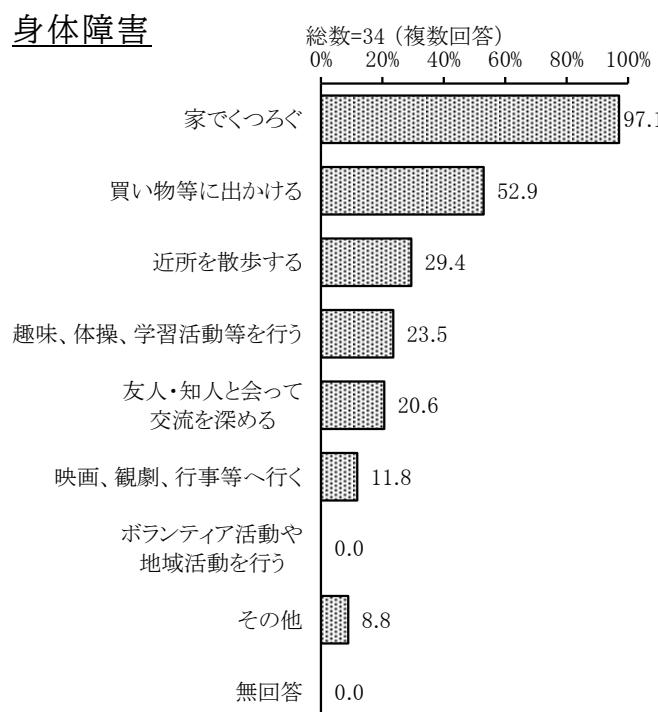
全体では、「家でくつろぐ」が 96.1% と最も多く、次いで「買い物等に出かける」が 46.6%、「近所を散歩する」が 29.1%、「趣味、体操、学習活動等を行う」が 25.2% となっています。

障害別の結果も概ね同様の傾向となっています。

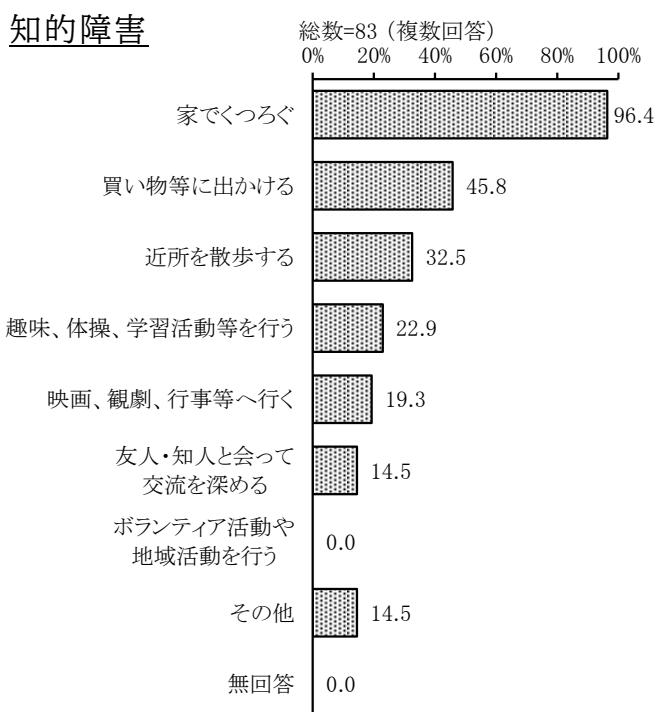
### 全体



### 身体障害



### 知的障害

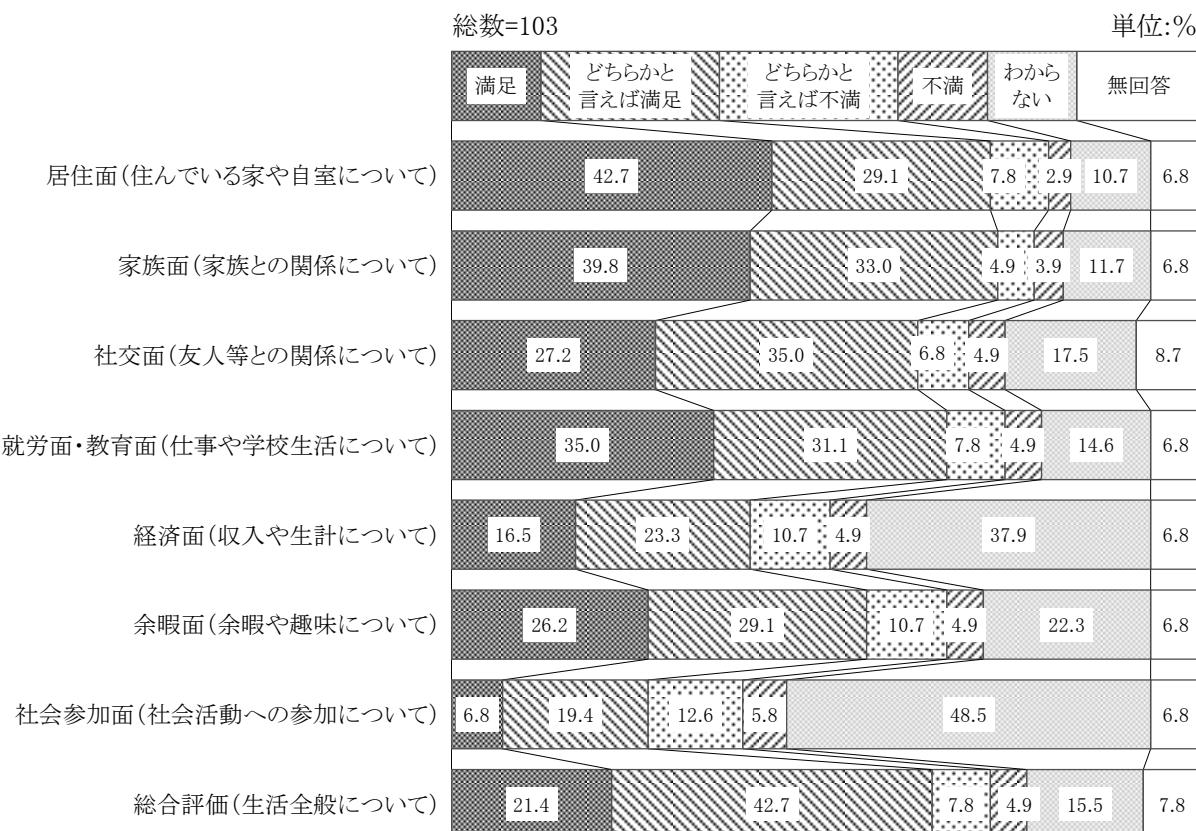


### (3) 日常生活の満足度

問 23 あなたは、次の日常生活のそれぞれの項目について、どの程度満足していますか。（それぞれあてはまるもの 1 つに○）

『満足』（「満足」「どちらかと言えば満足」を合わせた割合）と『不満』（「不満」「どちらかと言えば不満」を合わせた割合）を比較すると、総合評価を含めた全 8 項目で『満足』が『不満』を上回っていますが、「社会参加面」では両者の差はわずかとなっています。総合評価では『満足』が 64.1%、『不満』が 12.6% となっています。

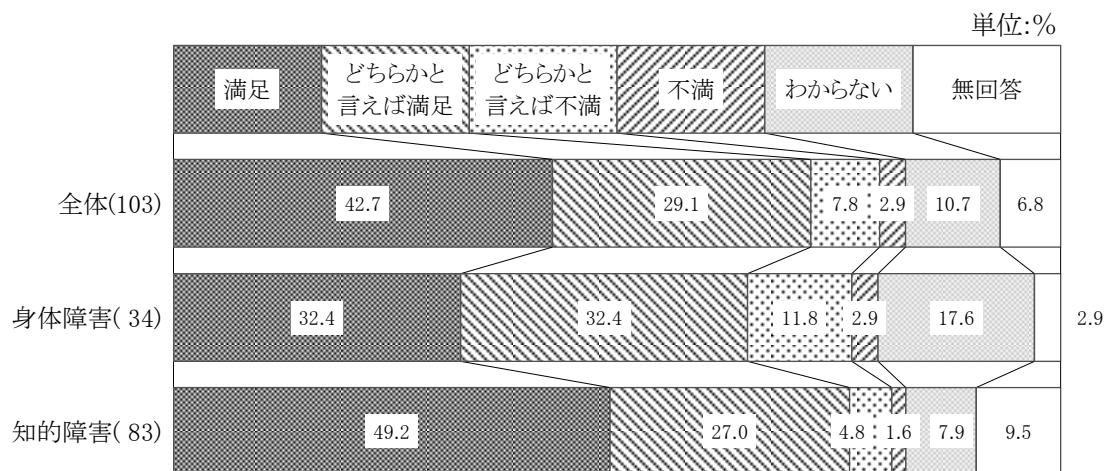
『満足』は「家族面」が 72.8% と最も多く、次いで「居住面」が 71.8%、「就労・教育面」が 66.0%、「社交面」が 62.1% となっています（「総合評価」は除きます）。実数から再計算しているため、四捨五入の関係で、『満足』の割合と「満足」「どちらかと言えば満足」の割合の合計とは数値が異なる場合があります。『不満』も同様です）。『不満』は「社会参加面」が 18.4% と最も多く、次いで「経済面」「余暇面」がそれぞれ 15.5%、「就労面・教育面」が 12.6% となっています。



## ①居住面（住んでいる家や自室について）

全体では、「満足」が42.7%と最も多い、次いで「どちらかと言えば満足」が29.1%、「どちらかと言えば不満」が7.8%、「不満」が2.9%となっています。

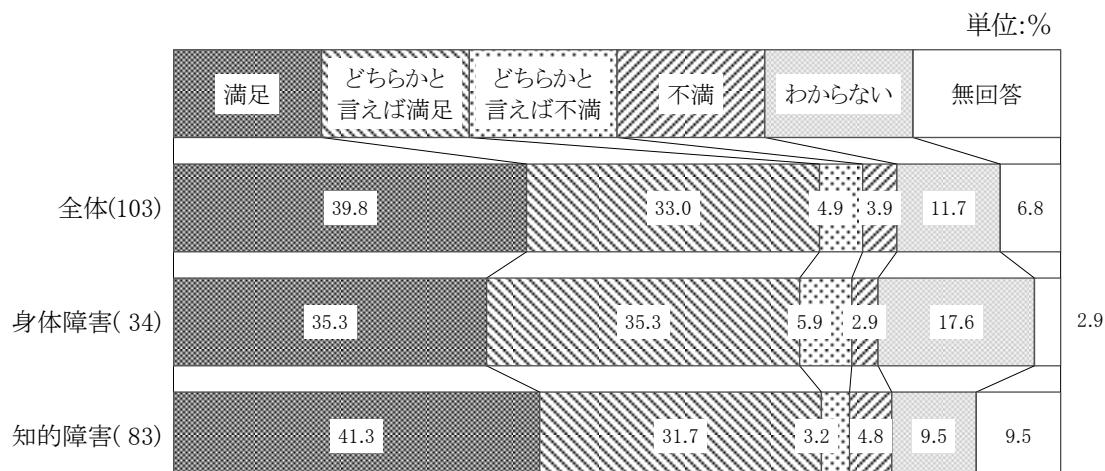
障害別に見ると、知的障害では「満足」が身体障害より多くなっています。



## ②家族面（家族との関係について）

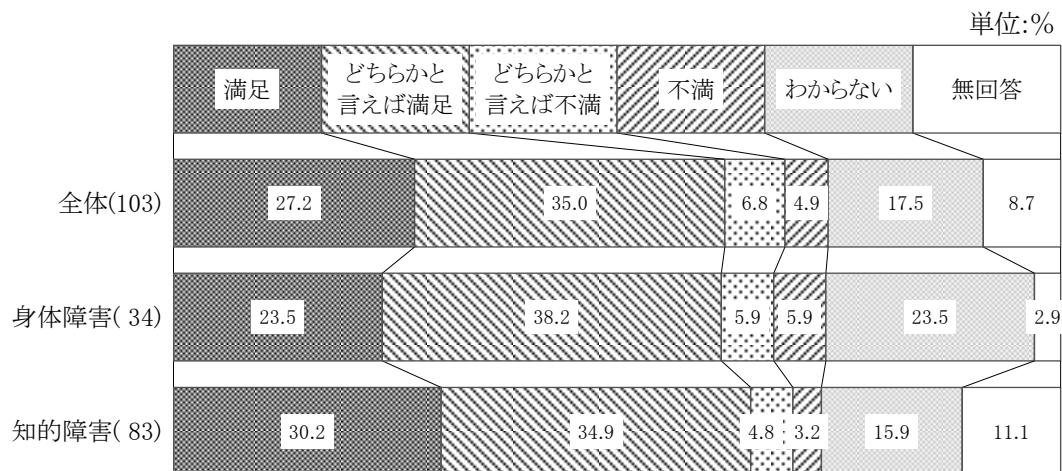
全体では、「満足」が39.8%と最も多い、次いで「どちらかと言えば満足」が33.0%、「どちらかと言えば不満」が4.9%、「不満」が3.9%となっています。

障害別の結果も概ね同様の傾向となっています。



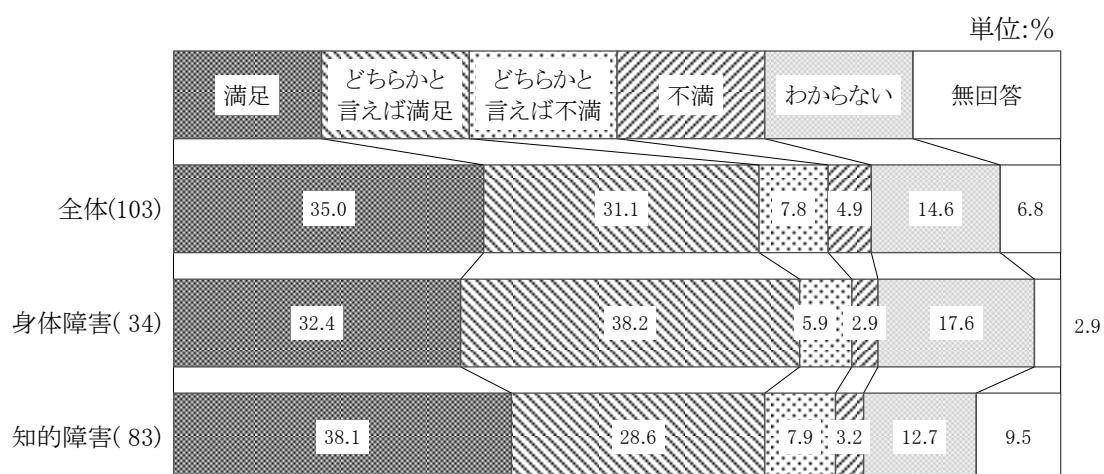
### ③社交面（友人等との関係について）

全体では、「どちらかと言えば満足」が35.0%と最も多く、次いで「満足」が27.2%、「どちらかと言えば不満」が6.8%、「不満」が4.9%となっています。  
障害別の結果も概ね同様の傾向となっています。



### ④就労面・教育面（仕事や学校生活について）

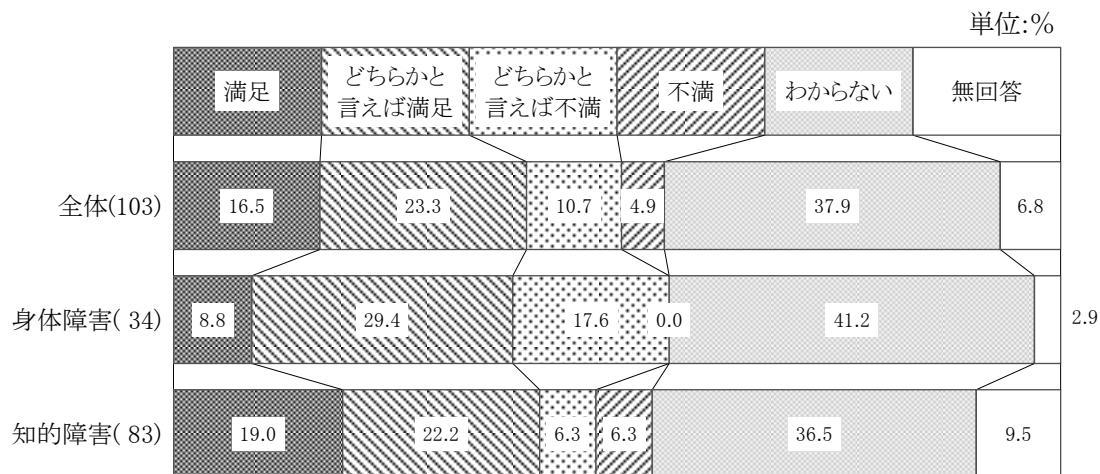
全体では、「満足」が35.0%と最も多く、次いで「どちらかと言えば満足」が31.1%、「どちらかと言えば不満」が7.8%、「不満」が4.9%となっています。  
障害別の結果も概ね同様の傾向となっています。



## ⑤経済面（収入や生計について）

全体では、「どちらかと言えば満足」が23.3%と最も多く、次いで「満足」が16.5%、「どちらかと言えば不満」が10.7%、「不満」が4.9%となっています。

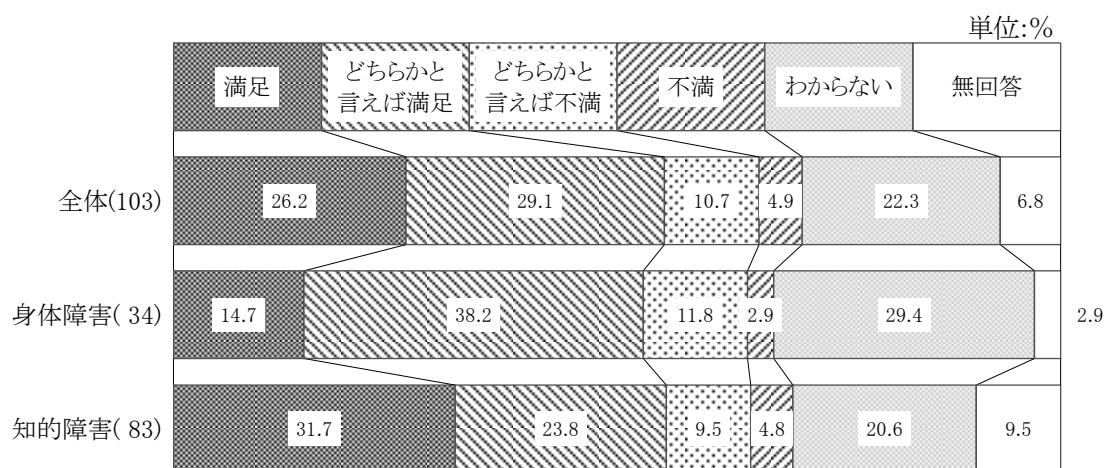
障害別に見ると、身体障害では「どちらかと言えば不満」が、知的障害では「満足」が他の障害と比較して多くなっています。



## ⑥余暇面（余暇や趣味について）

全体では、「どちらかと言えば満足」が29.1%と最も多く、次いで「満足」が26.2%、「どちらかと言えば不満」が10.7%、「不満」が4.9%となっています。

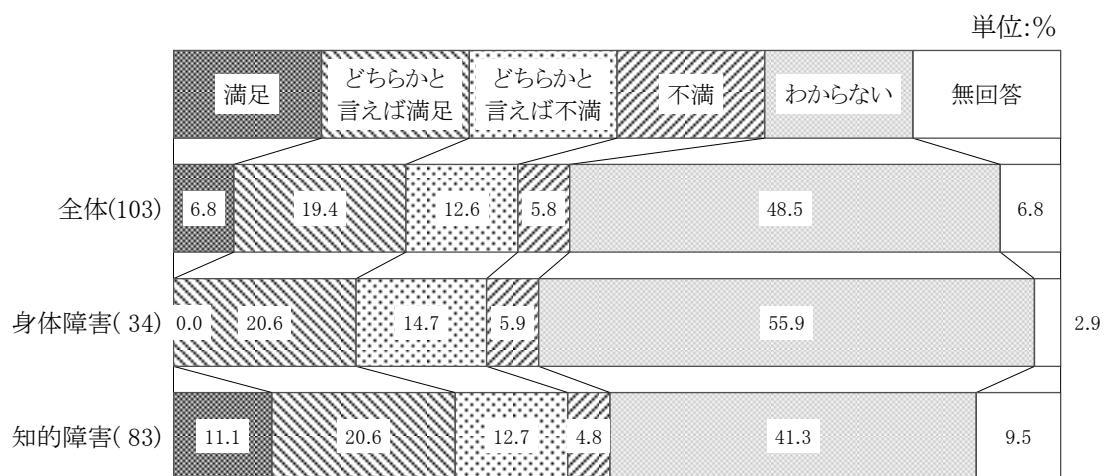
障害別に見ると、知的障害では「満足」が身体障害より多くなっています。



## ⑦社会参加面（社会活動への参加について）

全体では、「どちらかと言えば満足」が 19.4%と最も多い、次いで「どちらかと言えば不満」が 12.6%、「満足」が 6.8%、「不満」が 5.8%となっています。

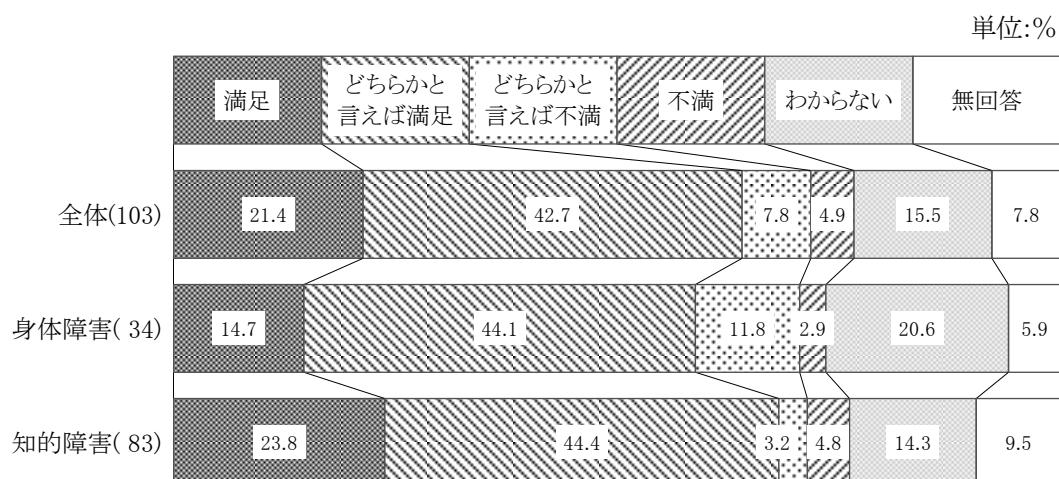
障害別に見ると、身体障害では「満足」という回答はありませんでした。



## ⑧総合評価（生活全般について）

全体では、「どちらかと言えば満足」が 42.7%と最も多い、次いで「満足」が 21.4%、「どちらかと言えば不満」が 7.8%、「不満」が 4.9%となっています。

障害別に見ると、身体障害では「どちらかと言えば不満」が、知的障害では「満足」が他の障害と比較して多くなっています。



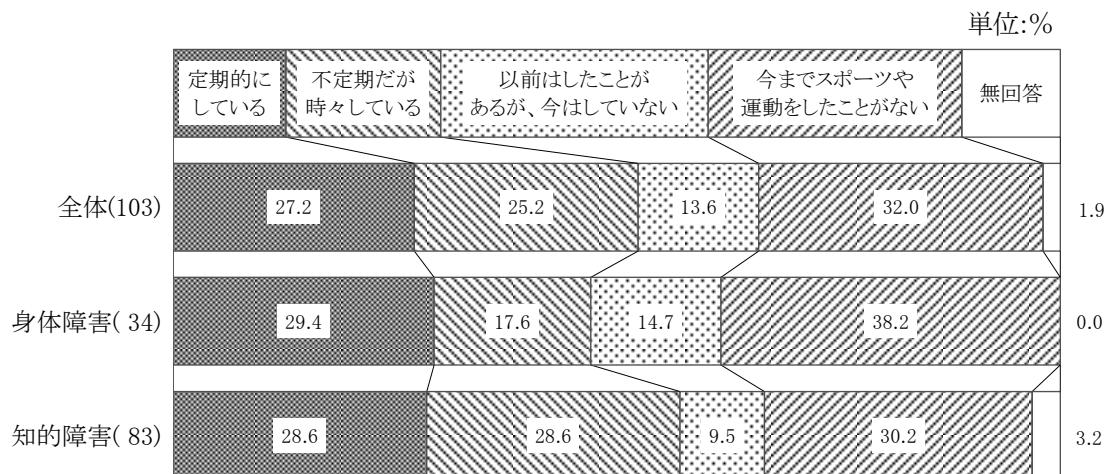
## 7. スポーツ・運動について

### (1) スポーツや運動を行っているか

問 24 あなたは日頃、(学校等での授業を除き) スポーツや運動を行っていますか。(○は1つ)

全体では、「今までスポーツや運動をしたことがない」が 32.0%と最も多く、次いで「定期的にしている」が 27.2%、「不定期だが時々している」が 25.2%、「以前はしたことがあるが、今はしていない」が 13.6%となっています。

障害別に見ると、知的障害では「不定期だが時々している」が身体障害より多くなっています。



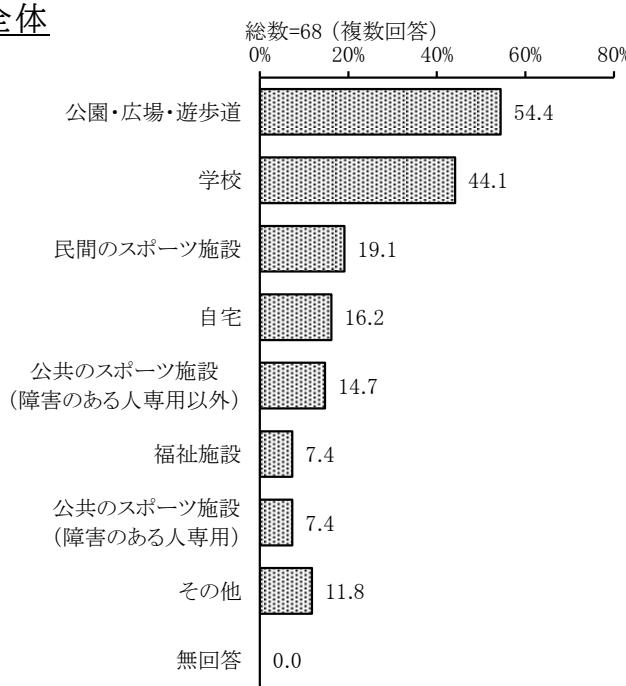
## (2) スポーツや運動を行っている場所

問 25 問 24 で「スポーツや運動をしている、または、したことがある（1～3）」と回答した方にお聞きします。あなたが、スポーツや運動を行った場所はどこですか。（あてはまるもの全てに○）

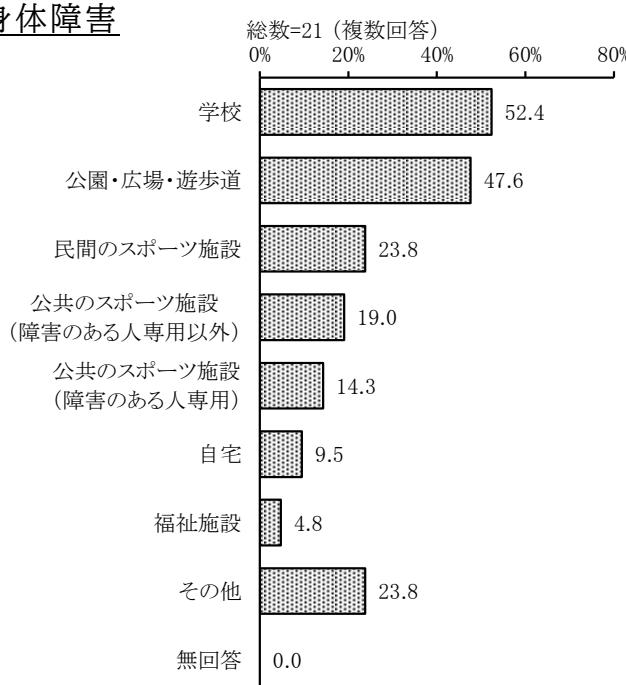
全体では、「公園・広場・遊歩道」が 54.4% と最も多く、次いで「学校」が 44.1%、「民間のスポーツ施設」が 19.1%、「自宅」が 16.2% となっています。

障害別に見ると、身体障害では「学校」が最も多くなっています。

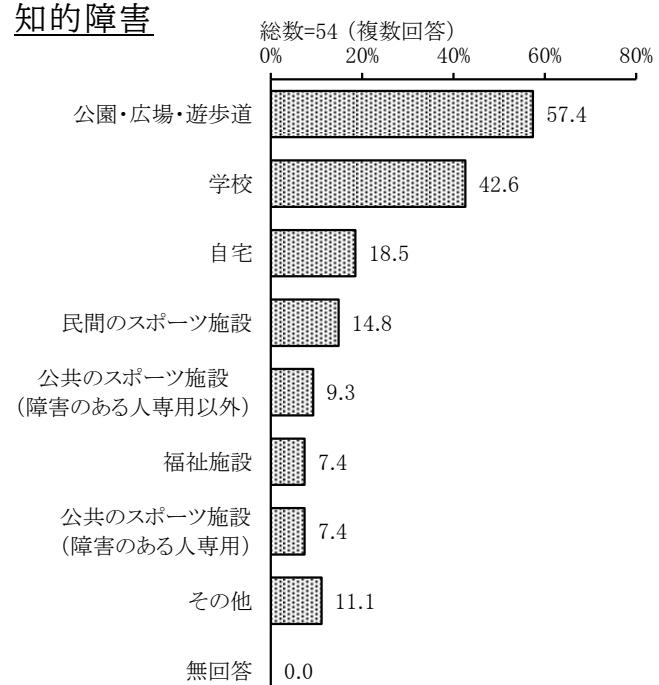
### 全体



### 身体障害



### 知的障害



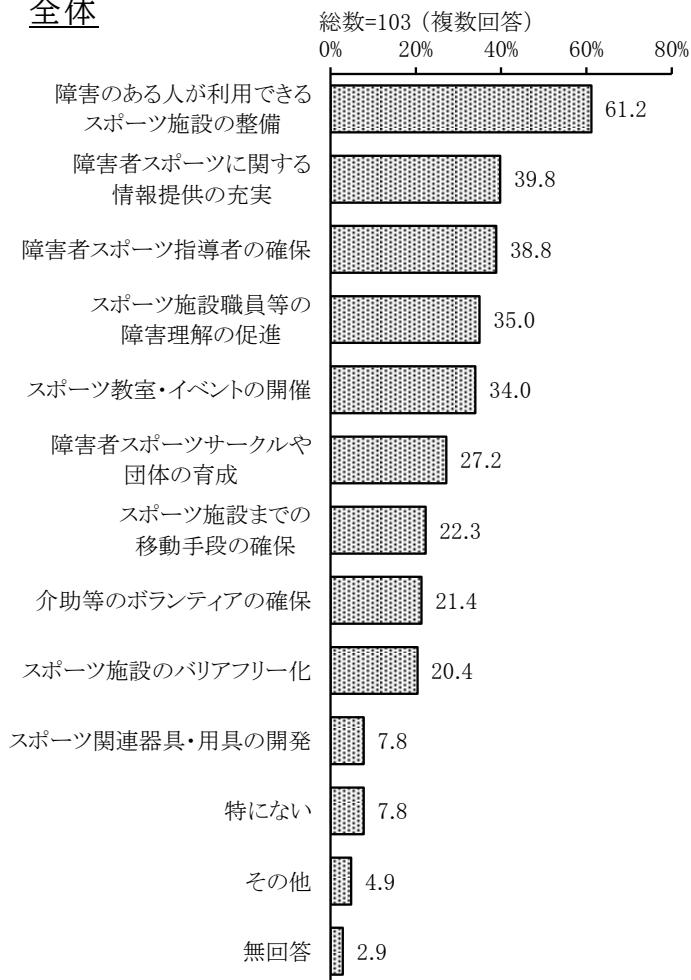
### (3) スポーツや運動を行う上で必要なこと

問 26 あなたは、障害のあるかたがスポーツや運動を行う上でどのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるもの全てに○)

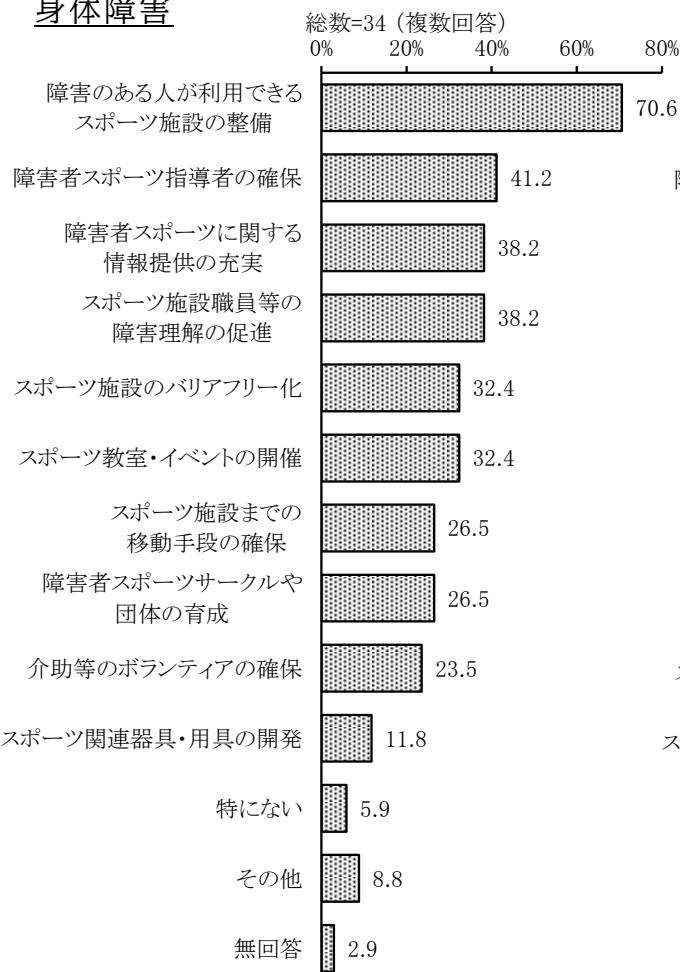
全体では、「障害のある人が利用できるスポーツ施設の整備」が 61.2% と最も多く、次いで「障害者スポーツに関する情報提供の充実」が 39.8%、「障害者スポーツ指導者の確保」が 38.8%、「スポーツ施設職員等の障害理解の促進」が 35.0% となっています。

障害別の結果も概ね同様の傾向となっています。

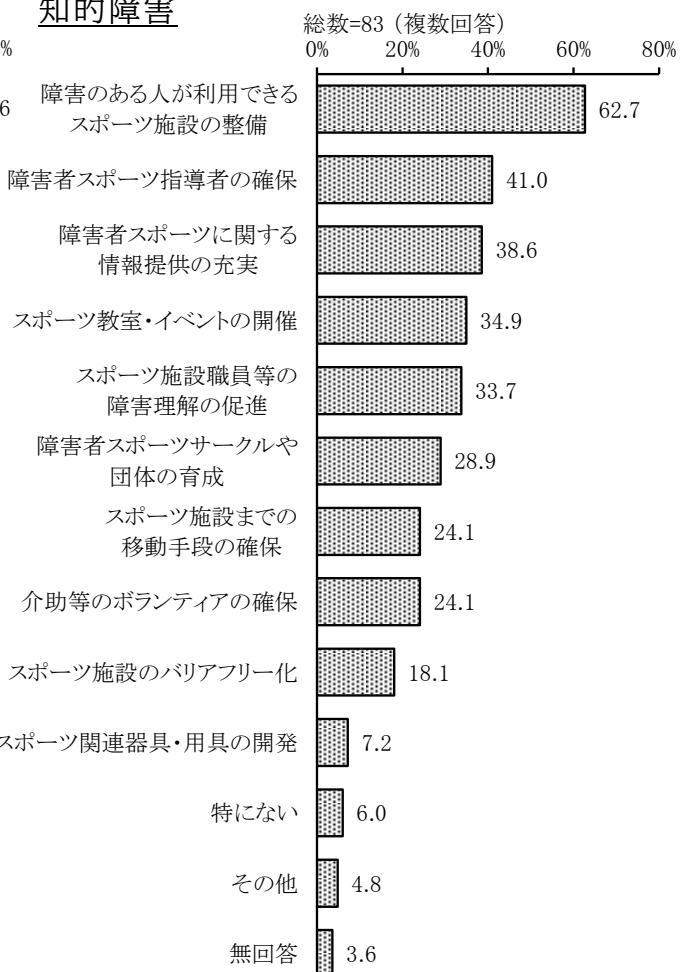
#### 全体



## 身体障害



## 知的障害



## 8. 保育・教育・療育について

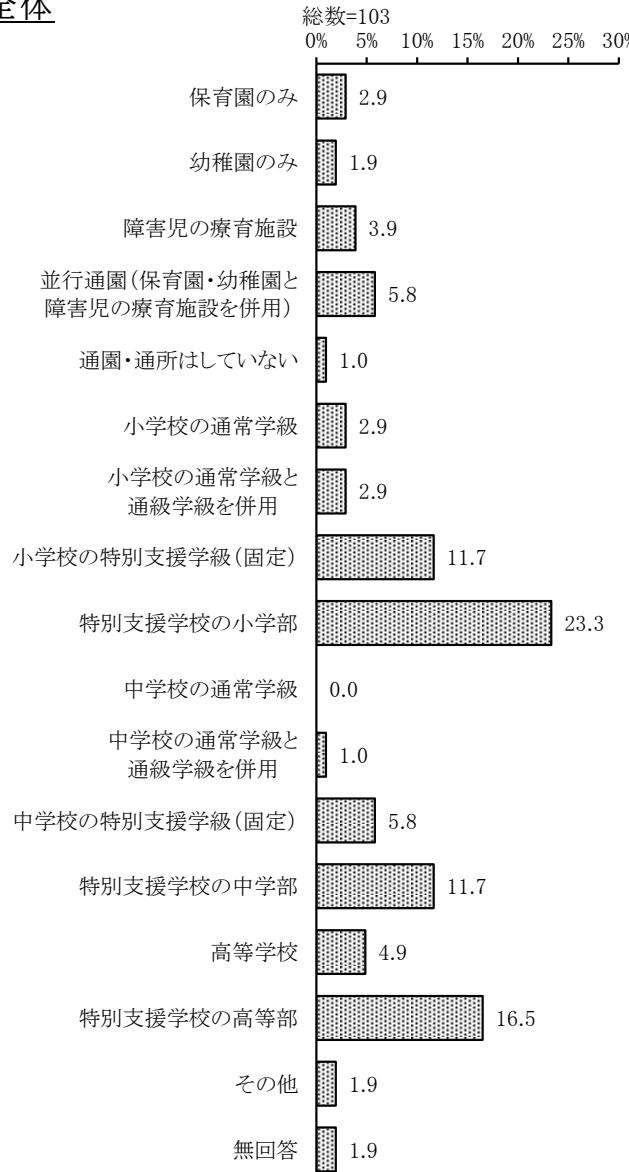
### (1) 通園・通学先

問 27 現在、あなたが主に通園・通学をしているところはどこですか。  
(○は 1 つ)

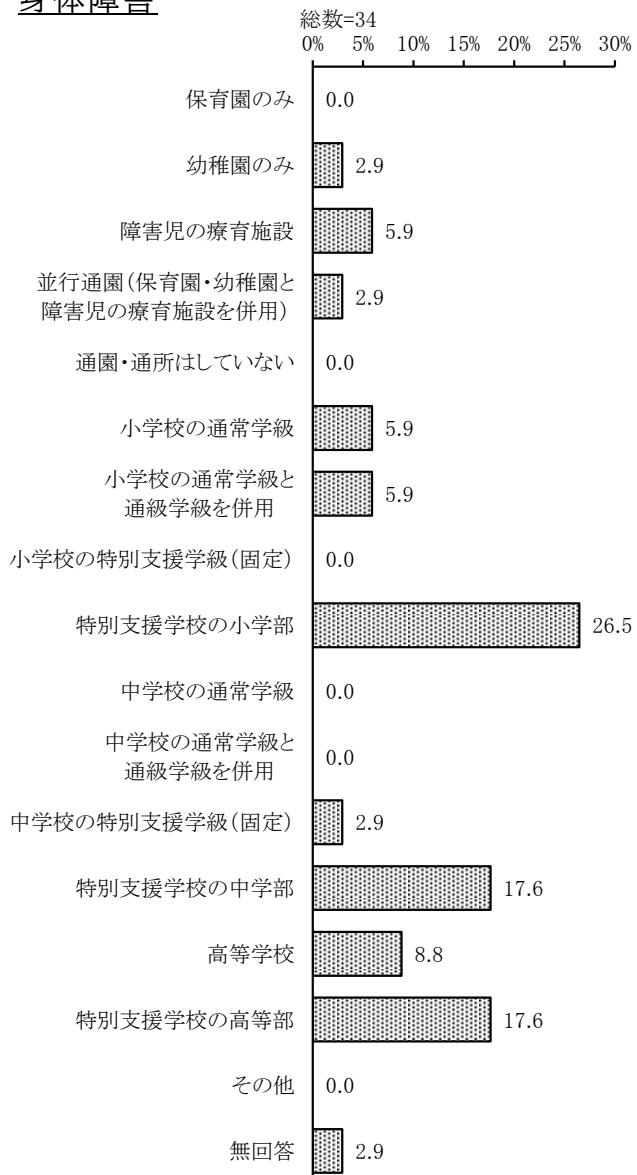
全体では、「特別支援学校の小学部」が 23.3% と最も多く、次いで「特別支援学校の高等部」が 16.5%、「小学校の特別支援学級（固定）」「特別支援学校の中学部」がそれぞれ 11.7% となっています。

障害別の結果も概ね同様の傾向となっています。

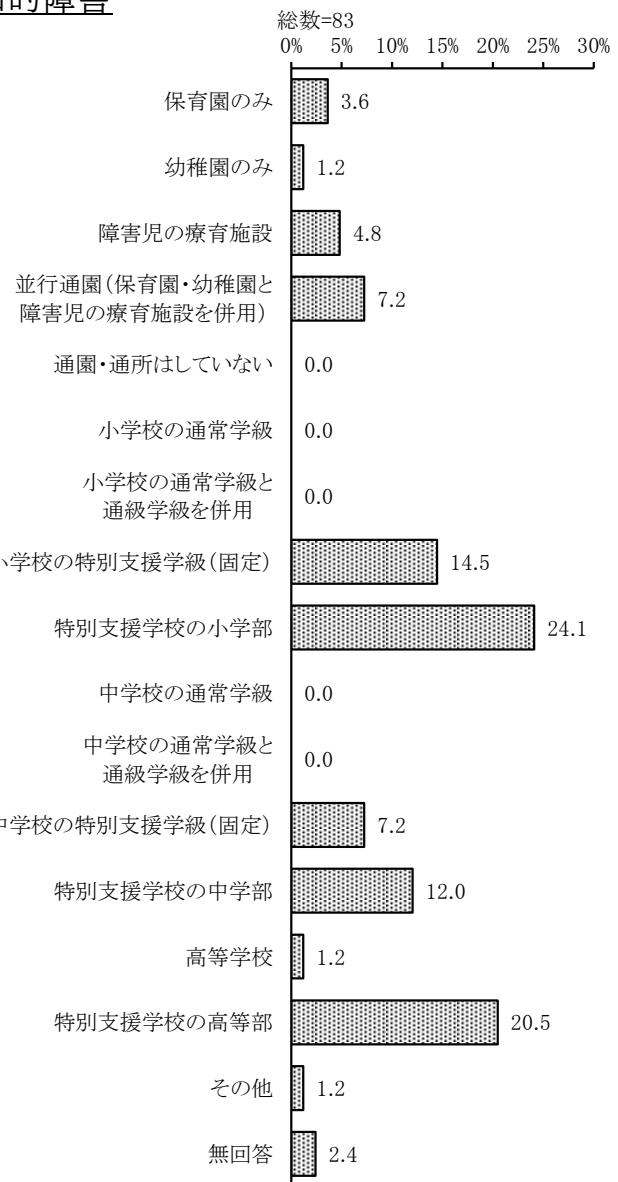
#### 全体



## 身体障害



## 知的障害



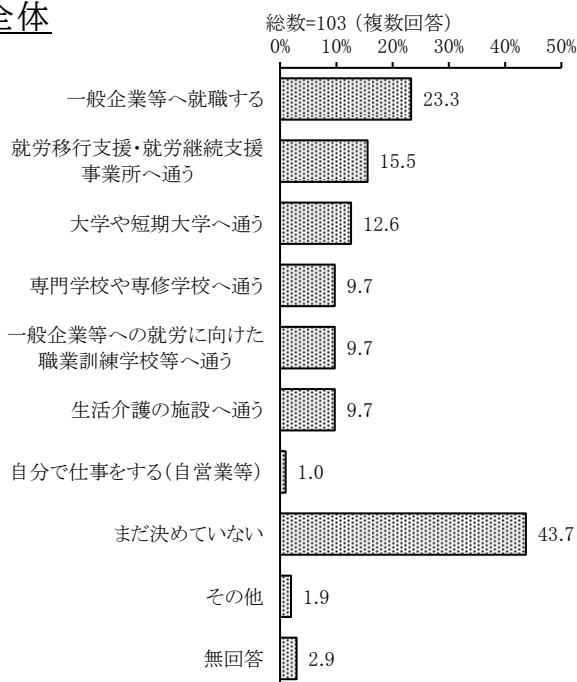
## (2) 高校卒業後の進路希望

問 28 高等学校卒業後、あなたはどのような進路を希望しますか。  
(あてはまるもの全てに○)

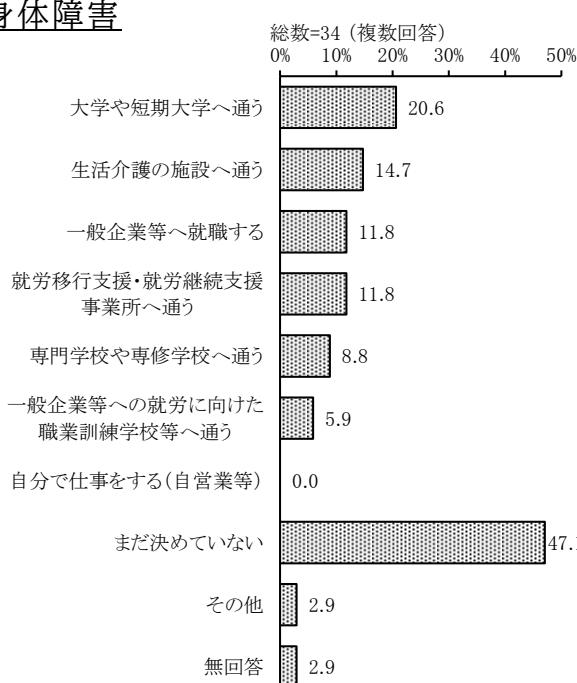
全体では、「一般企業等に就職する」が 23.3% と最も多く、次いで「就労移行支援・就労継続支援事業所へ通う」が 15.5%、「大学や短期大学へ通う」が 12.6%、「専門学校や専修学校へ通う」「一般企業等への就労に向けた職業訓練学校等へ通う」「生活介護の施設へ通う」がそれぞれ 9.7% となっています。

障害別に見ると、身体障害では「大学や短期大学へ通う」が最も多くなっています。

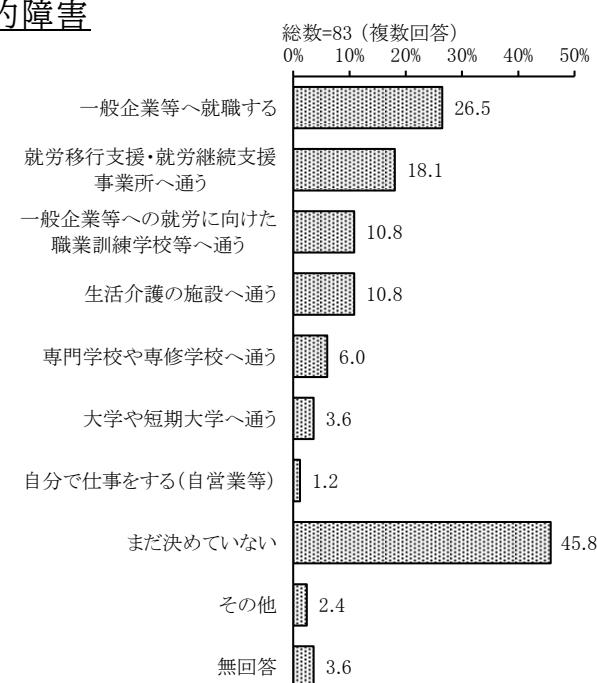
### 全体



### 身体障害



### 知的障害



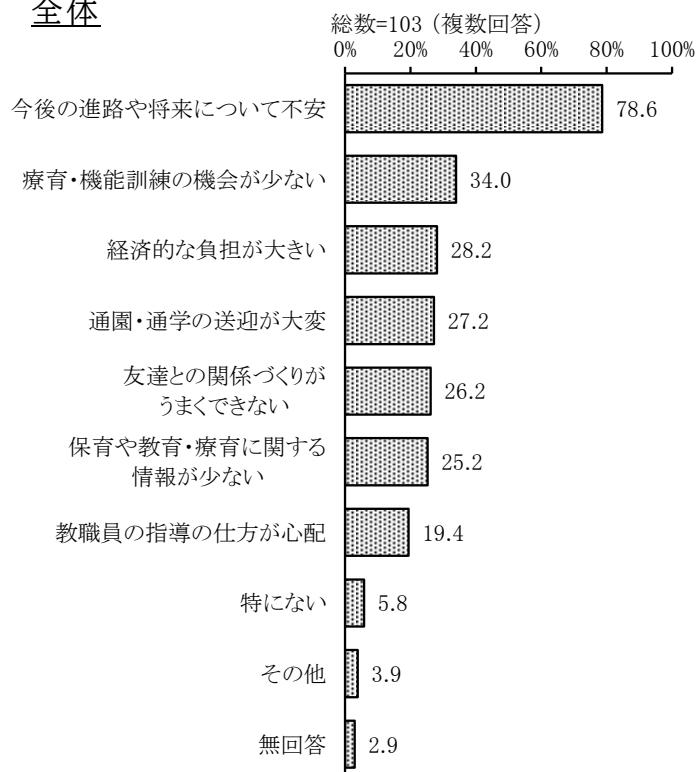
### (3) 通園や通学、学校生活等で困っていること

問 29 (ご家族の方にお聞きします。) お子さんの通園や通学、また学校生活等で困っていることや心配していることは何ですか。(あてはまるもの全てに○)

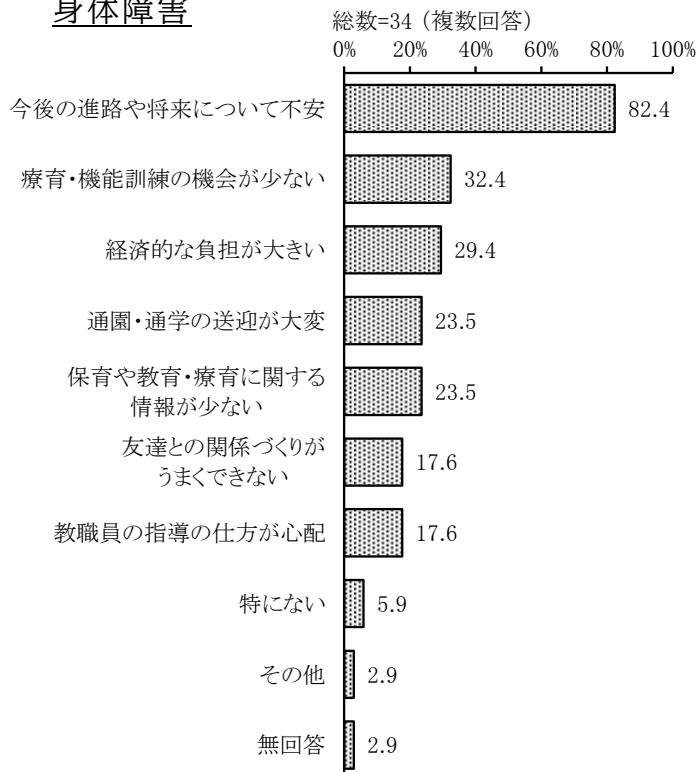
全体では、「今後の進路や将来について不安」が 78.6% と最も多く、次いで「療育・機能訓練の機会が少ない」が 34.0%、「経済的な負担が大きい」が 28.2%、「通園・通学の送迎が大変」が 27.2% となっています。

障害別の結果も概ね同様の傾向となっています。

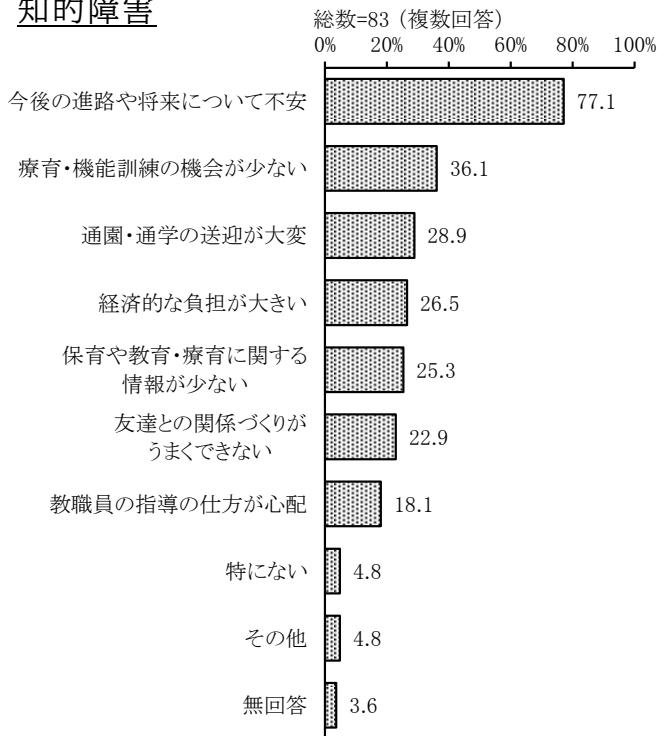
#### 全体



## 身体障害



## 知的障害



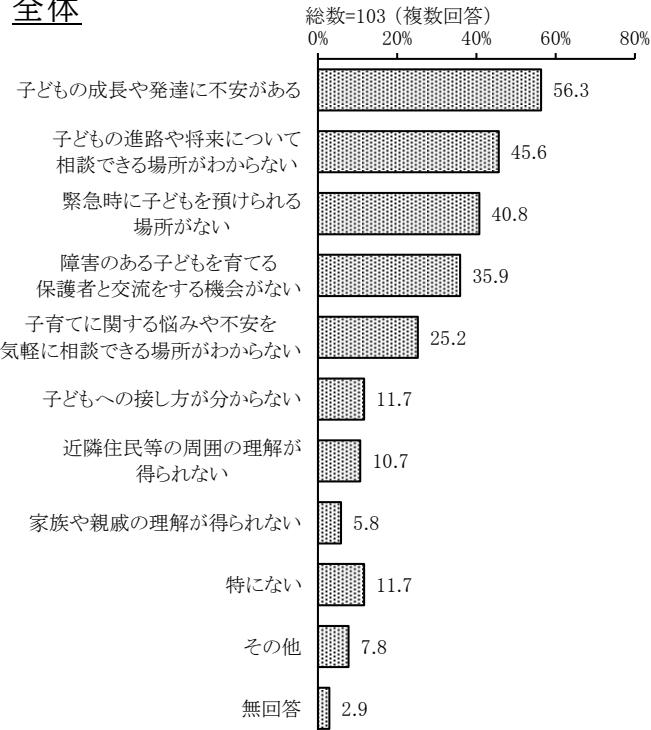
## (4) 子育てで困っていること

問 30 (ご家族の方にお聞きします。) お子さんを育てるうえで、これまでに困ったことや現在困っていることはありますか。(あてはまるもの全てに○)

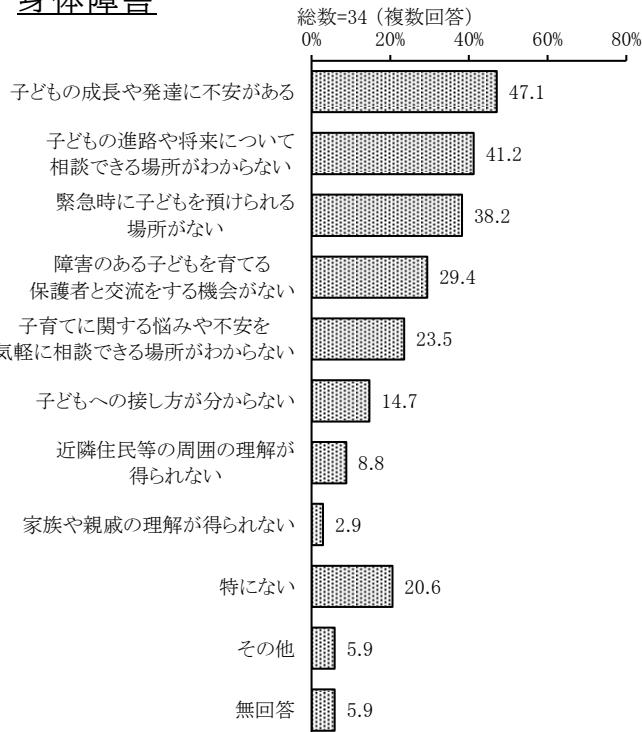
全体では、「子どもの成長や発達に不安がある」が 56.3%と最も多く、次いで「子どもの進路や将来について相談できる場所がわからない」が 45.6%、「緊急時に子どもを預けられる場所がない」が 40.8%、「障害のある子どもを育てる保護者と交流をする機会がない」が 35.9%となっています。

障害別の結果も概ね同様の傾向となっています。

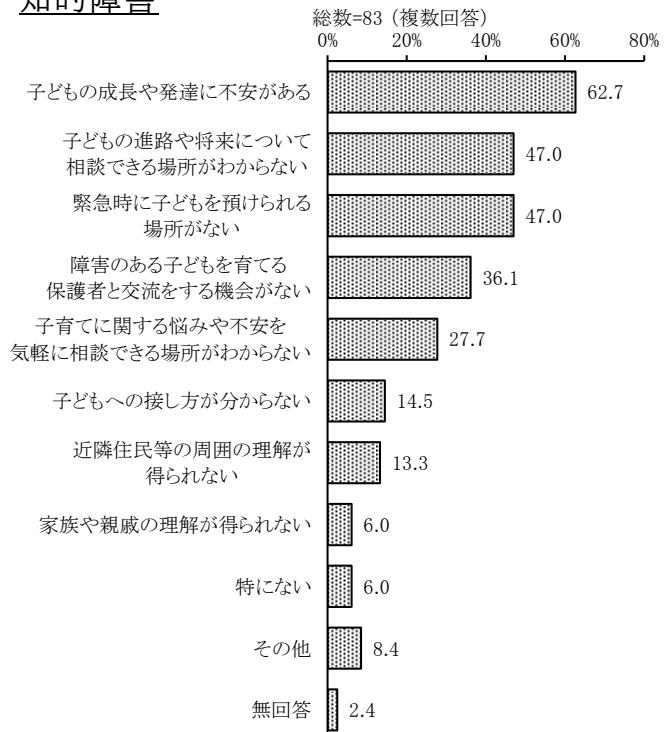
### 全体



## 身体障害



## 知的障害



性別で見ると、いずれの障害でも男性のほうが「子どもの進路や将来について相談できる場所がわからない」が多くなっています。身体障害では女性のほうが「子どもの成長や発達に不安がある」が多くなっています。

## ●子育てで困っていること【性別】

		全 体	子ど の成 長や 発達 に 不 安 が あ る	子ど 分も かへ らの 接 し 方 が	理 解 が 得 ら れ な い	理 解 が 得 ら れ な い	近 隣 住 民 等 の 周 囲 の 場 所 が わ か ら な い	不 安 を 子 育 て に 相 談 で み き や る	子 育 て に 相 談 で み き や る	相 談 で も き る 場 所 が わ か ら な い	保 護 者 と 交 流 す る 機 会 が あ る	障 害 の あ る 子 ど も を 育 て か に つ な い	緊 急 時 に 子 ど も を 預 け ら れ る	特 に な い	そ の 他	無 回答
		全体	103	58	12	6	11	26	47	37	42	12	8	3		
性 別	身体障害・男性	100.0	18	6	3	-	1	4	9	6	6	4	2	1		
	身体障害・女性	100.0	33.3	16.7	5.8	-	5.6	22.2	50.0	33.3	33.3	22.2	11.1	5.6		
	知的障害・男性	100.0	16	10	2	1	2	4	5	4	7	3	-	1		
	知的障害・女性	100.0	62.5	12.5	6.3	12.5	25.0	31.3	25.0	43.8	18.8	-	6.3			

## 9. 住まいについて

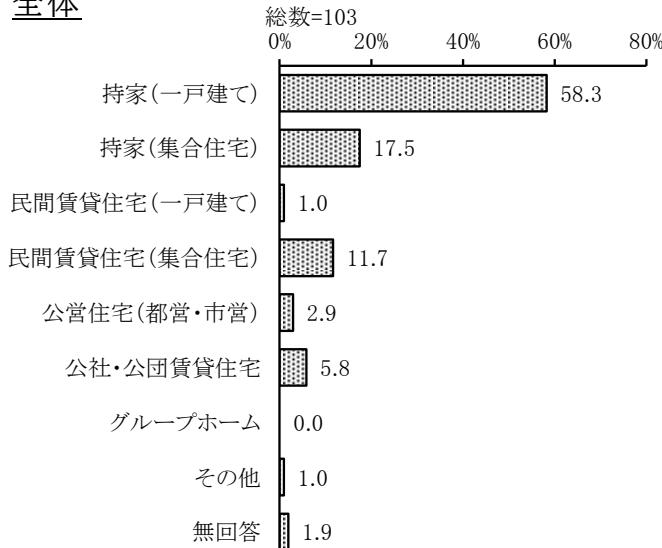
### (1) 住まいの種類

問 31 現在、あなたはどのようなところにお住まいですか。(○は1つ)

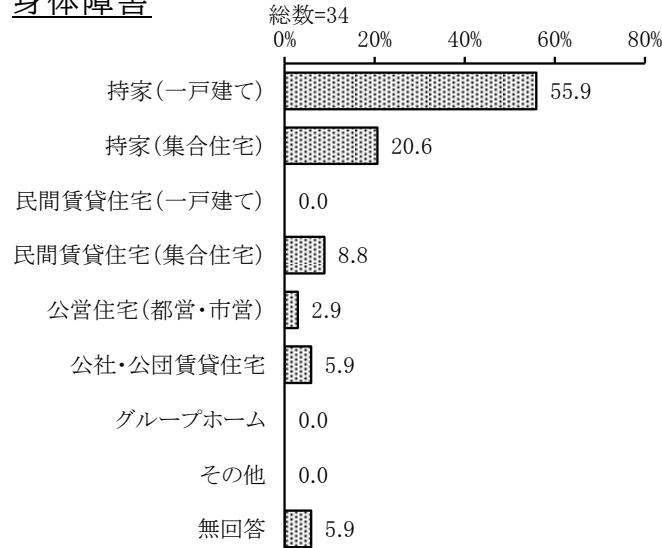
全体では、「持家（一戸建て）」が58.3%と最も多く、次いで「持家（集合住宅）」が17.5%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が11.7%、「公社・公団賃貸住宅」が5.8%となっています。

障害別の結果も概ね同様の傾向となっています。

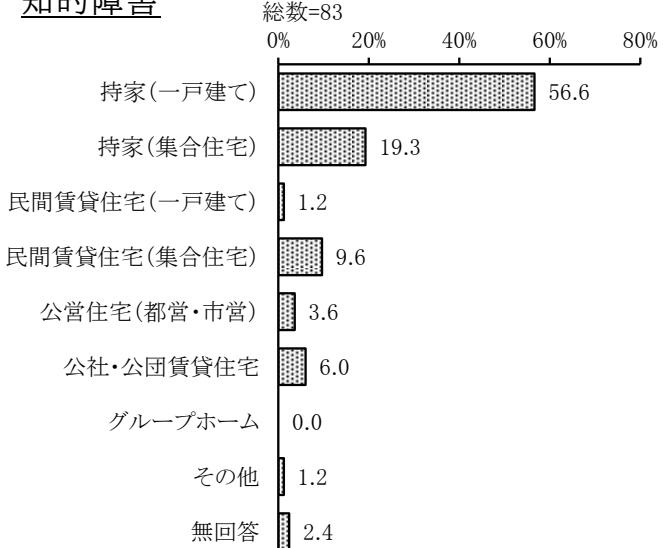
全体



身体障害



知的障害



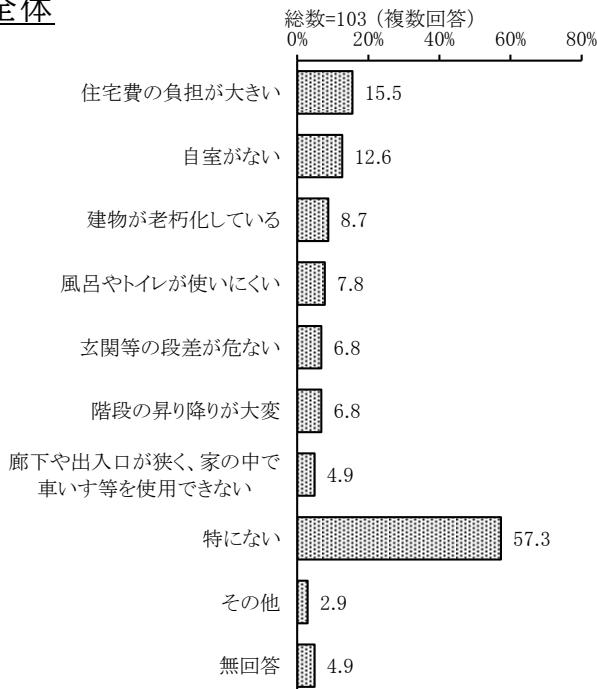
## (2) 住まいに困っていること

問 32 あなたが現在の住まいに困っていることは何ですか。  
(あてはまるもの全てに○)

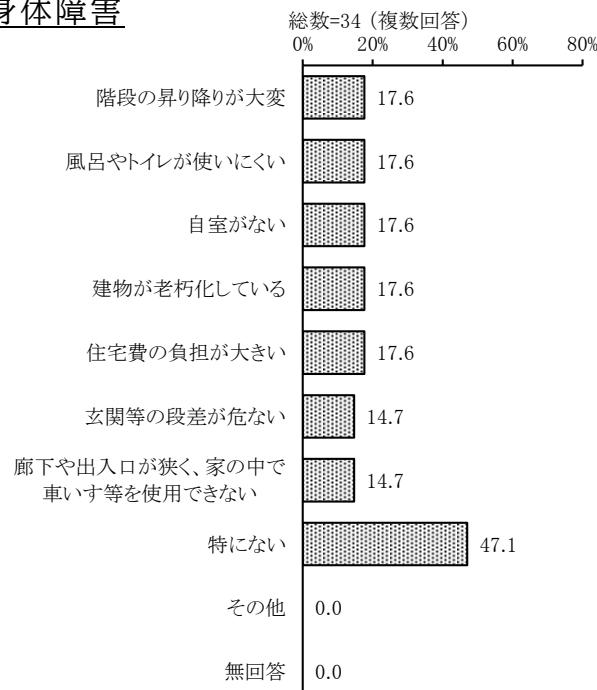
全体では、「住宅費の負担が大きい」が 15.5% と最も多く、次いで「自室がない」が 12.6%、「建物が老朽化している」が 8.7%、「風呂やトイレが使いにくい」が 7.8% となっています。

障害別に見ると、身体障害では上記 4 項目と並んで「階段の昇り降りが大変」も最も多くなっています。

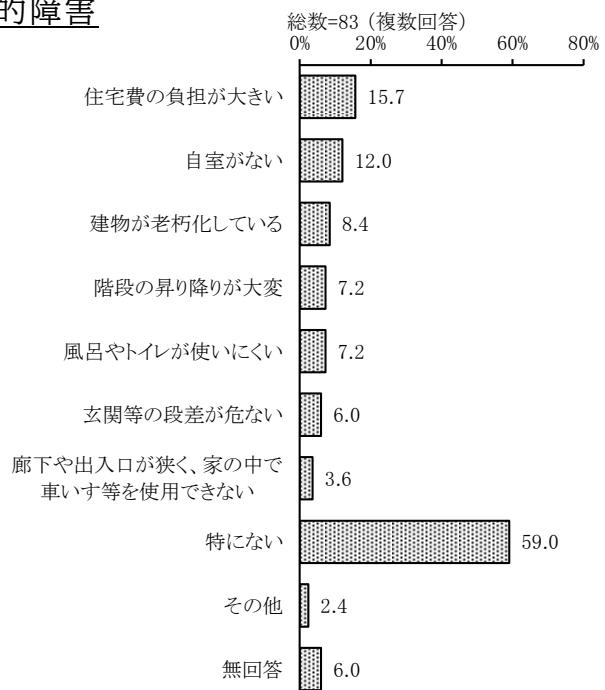
### 全体



### 身体障害



### 知的障害



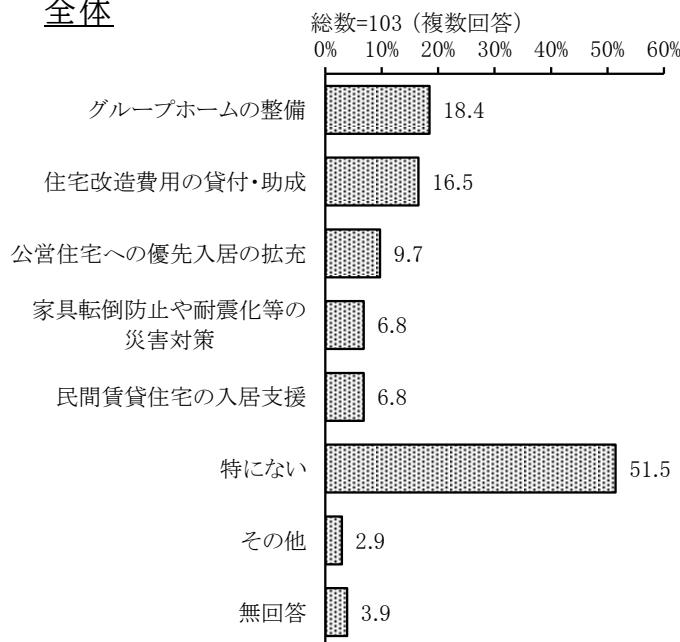
### (3) 住まいについて必要な支援

問 33 あなたは、住まいについてどのような支援が必要ですか。(○は3つまで)

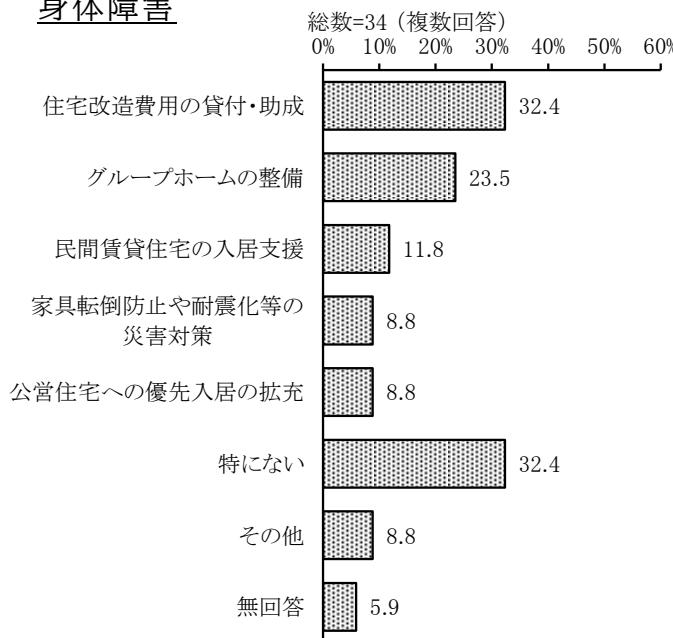
全体では、「グループホームの整備」が 18.4% と最も多く、次いで「住宅改造費用の貸付・助成」が 16.5%、「公営住宅への優先入居の拡充」が 9.7%、「家具転倒防止や耐震化等の災害対策」「民間賃貸住宅の入居支援」がそれぞれ 6.8% となっています。

障害別に見ると、身体障害では「住宅改造費用の貸付・助成」が最も多くなっています。

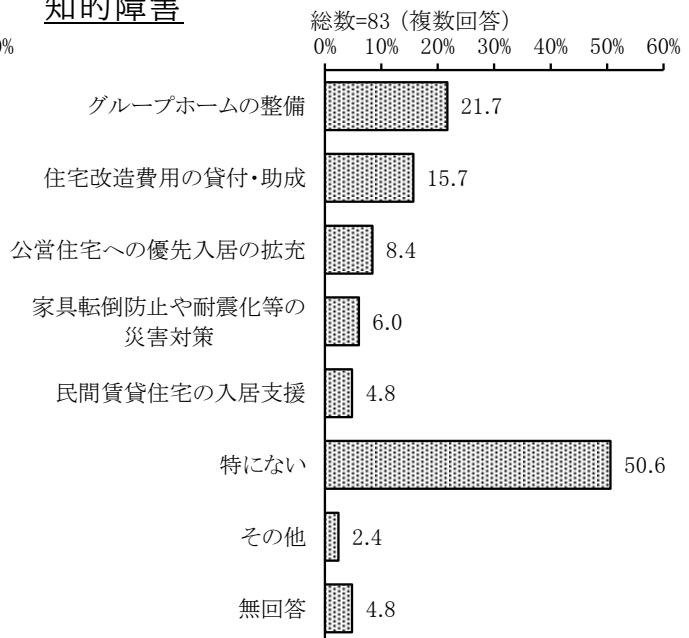
#### 全体



#### 身体障害



#### 知的障害



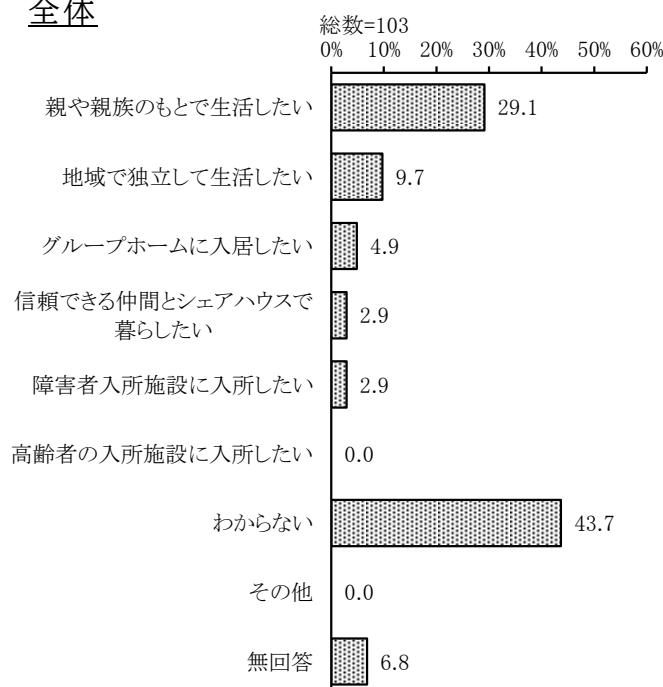
## (4) 将来の暮らし方の希望

### 問 34 将来、あなたはどのように暮らしたいですか。(○は1つ)

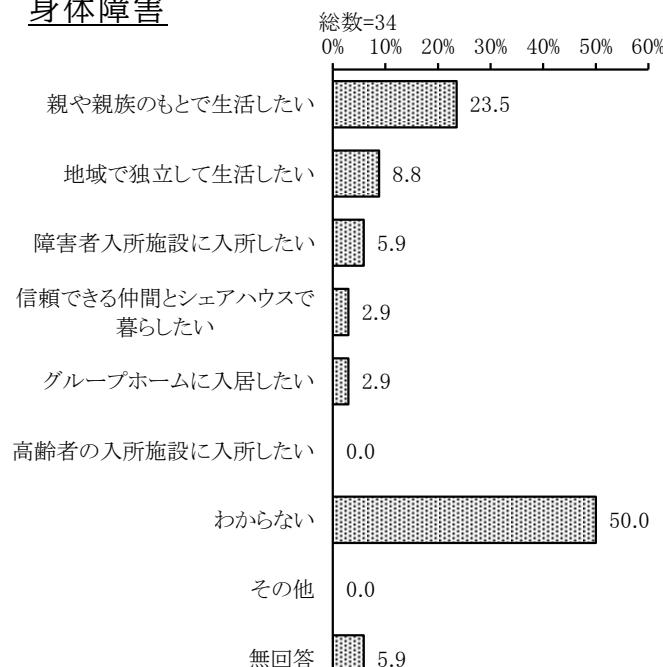
全体では、「親や親族のもとで生活したい」が 29.1%と最も多い、次いで「地域で独立して生活したい」が 9.7%、「グループホームに入居したい」が 4.9%、「信頼できる仲間とシェアハウスで暮らしたい」「障害者入所施設に入所したい」がそれぞれ 2.9%となっています。「わからない」という回答は 43.7%でした。

障害別の結果も概ね同様の傾向となっています。

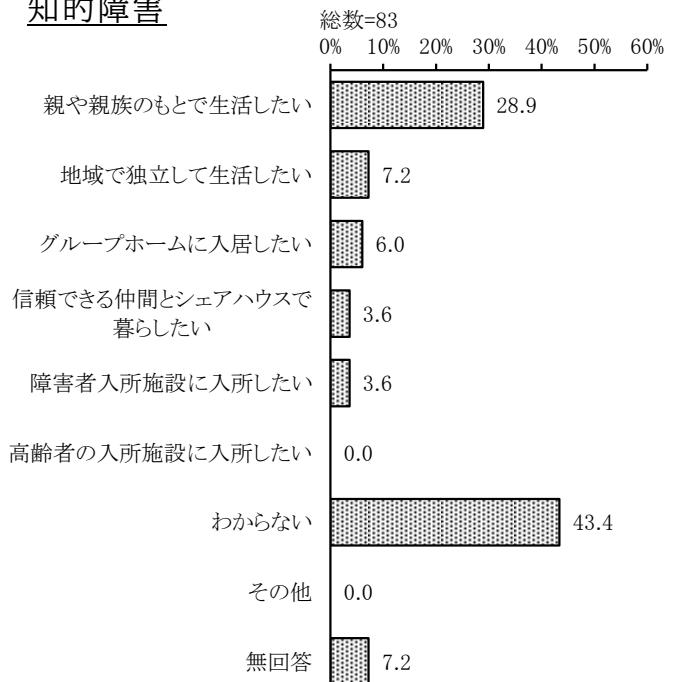
#### 全体



#### 身体障害



#### 知的障害



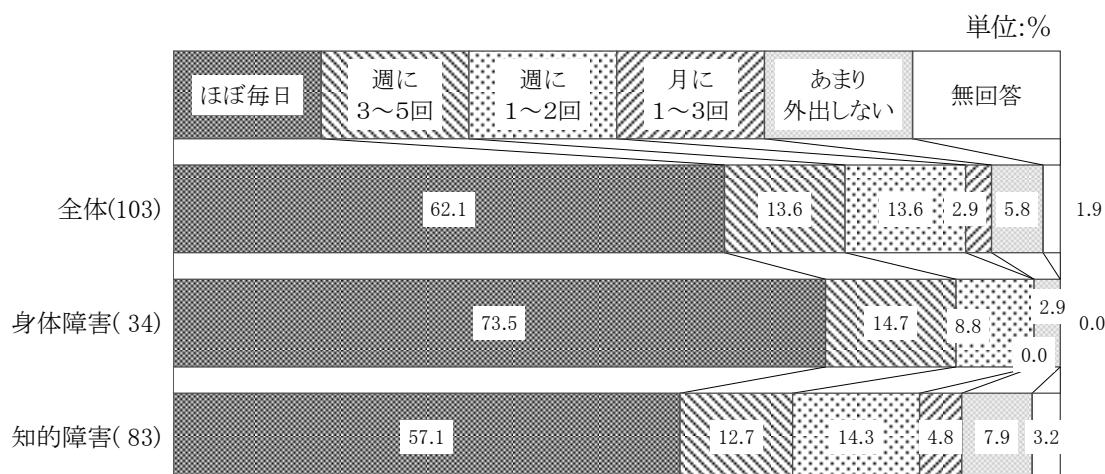
## 10. 外出について

### (1) 外出の頻度

問 35 普段、あなたはどのくらいの頻度で外出しますか。(○は1つ)

全体では、「ほぼ毎日」が62.1%と最も多く、次いで「週に3～5回」「週に1～2回」がそれぞれ13.6%、「あまり外出しない」が5.8%となっています。

障害別に見ると、身体障害では「ほぼ毎日」が知的障害より多くなっています。



性別で見ると、いずれの障害でも男子のほうが「ほぼ毎日」が多くなっています。

#### ●外出の頻度【性別】

		全 体	ほ ぼ 毎 日	週 に 3 ～ 5 回	週 に 1 ～ 2 回	月 に 1 ～ 3 回	あ ま り 外 出 し な い	無 回 答
全 体		103 100.0	64 62.1	14 13.6	14 13.6	3 2.9	6 5.8	2 1.9
性 別	身体障害・男性	18 100.0	16 88.9	1 5.6	1 5.6	— —	— —	— —
	身体障害・女性	16 100.0	9 56.3	4 25.0	2 12.5	— —	1 6.3	— —
	知的障害・男性	55 100.0	37 67.3	5 9.1	7 12.7	1 1.8	5 9.1	— —
	知的障害・女性	28 100.0	12 42.9	8 28.6	3 10.7	2 7.1	1 3.6	2 7.1

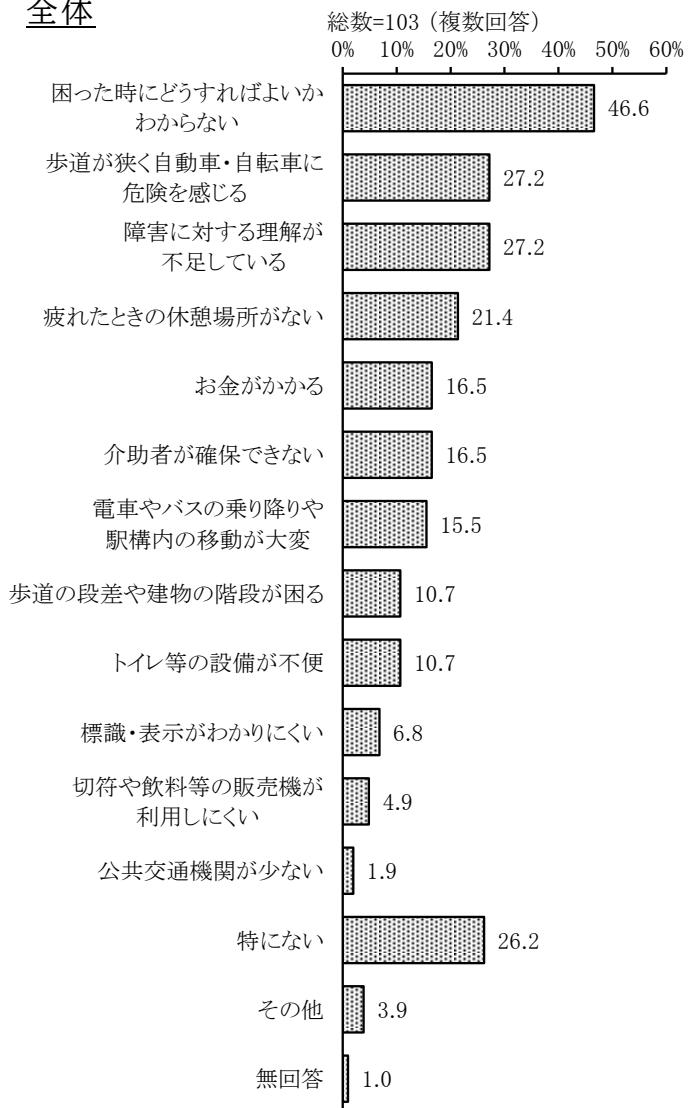
## (2) 外出する際困っていること

問 36 あなたが外出する際、困ったり不便に思うことは何ですか。  
(あてはまるもの全てに○)

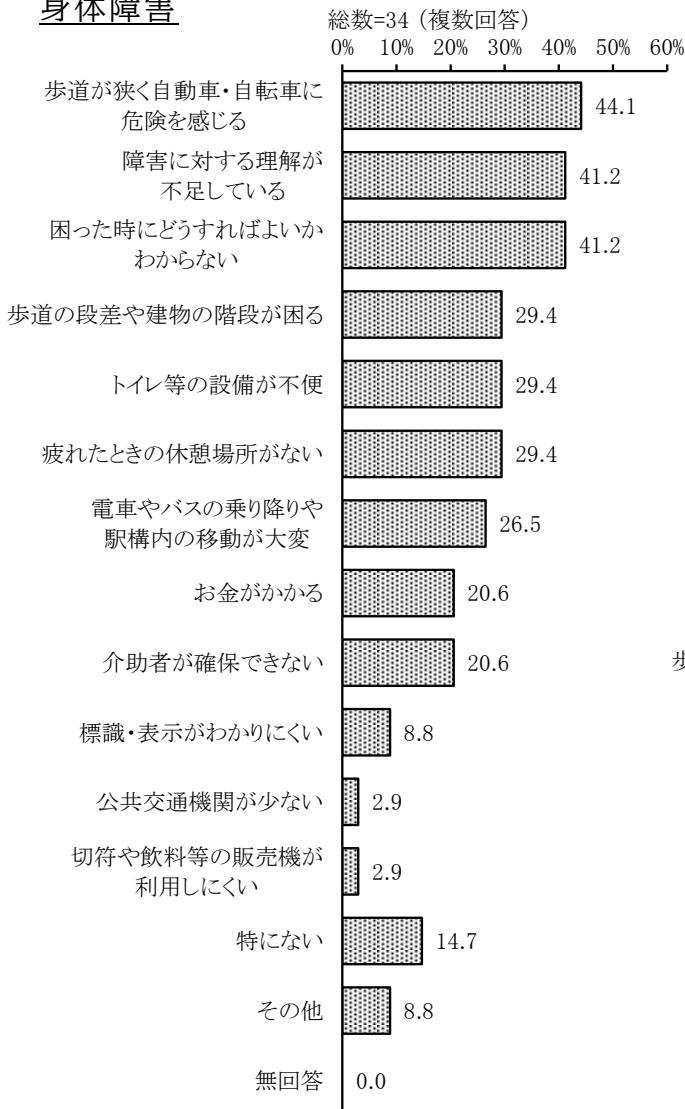
全体では、「困った時にどうすればよいかわからない」が 46.6% と最も多く、次いで「歩道が狭く自動車・自転車に危険を感じる」「障害に対する理解が不足している」がそれぞれ 27.2%、「疲れたときの休憩場所がない」が 21.4% となっています。

障害別に見ると、身体障害では「歩道が狭く自動車・自転車に危険を感じる」が最も多くなっています。

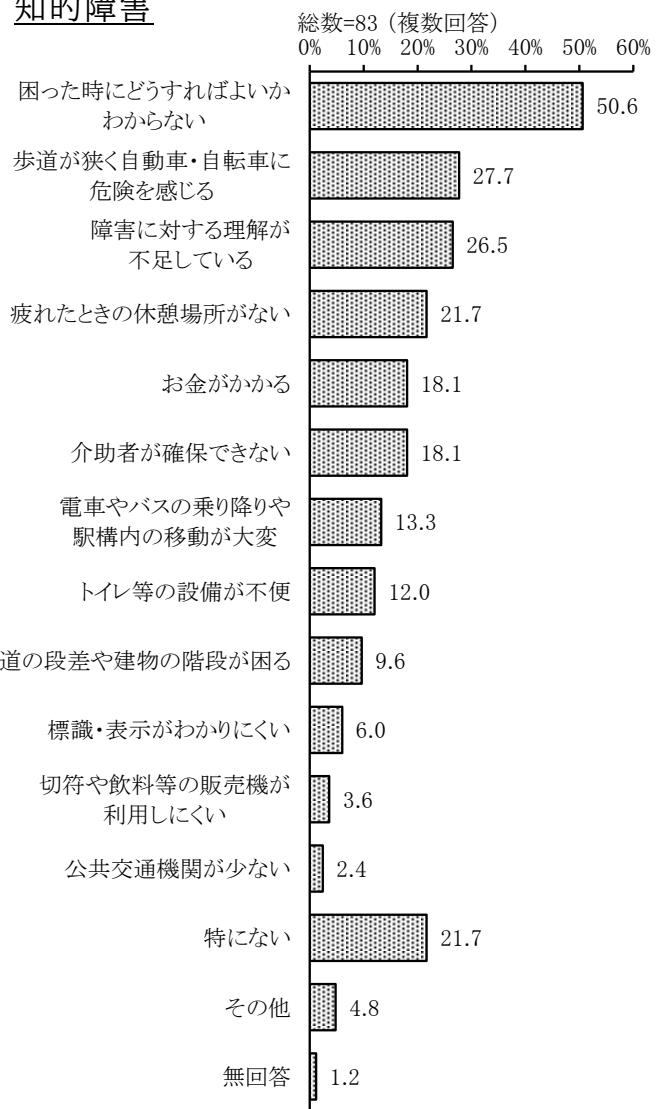
### 全体



## 身体障害



## 知的障害



## 11. 福祉サービスの利用について

問37 あなたは、次のサービスを利用していますか。また、今後（2～3年以内に）利用したいと思いますか。既に利用しており、今後も利用したい方は「1」、「2」両方に○をつけてください。  
(それぞれあてはまるもの全てに○)

「利用状況」は「現在利用している」、「利用意向」は「今後利用したい」という回答の結果です。

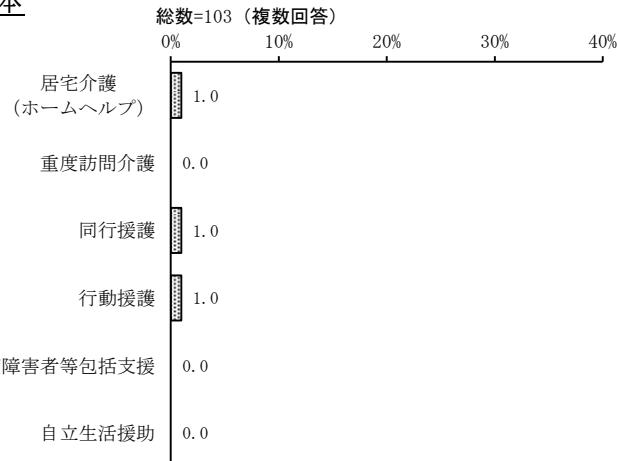
### (1) 訪問系サービス

#### ①訪問系サービスの利用状況

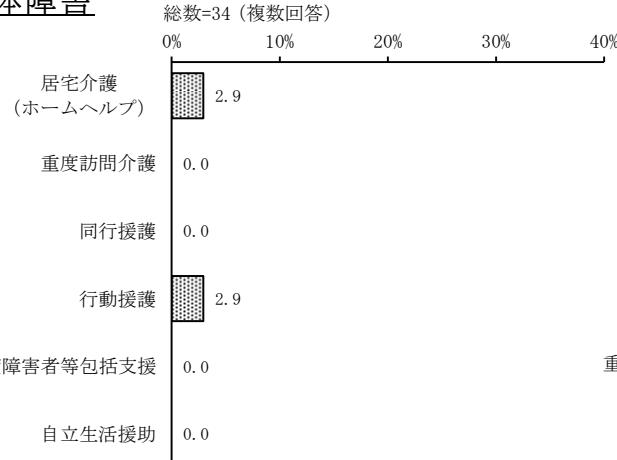
全体では、「居宅介護（ホームヘルプ）」「同行援護」「行動援護」がそれぞれ1.0%となっています。

障害別の結果も概ね同様の傾向となっています。

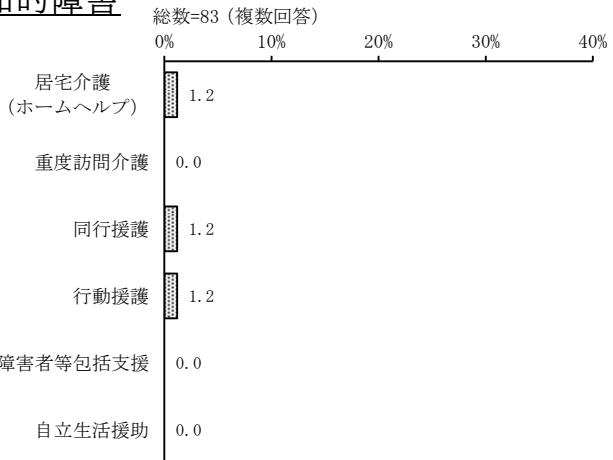
#### 全体



#### 身体障害



#### 知的障害

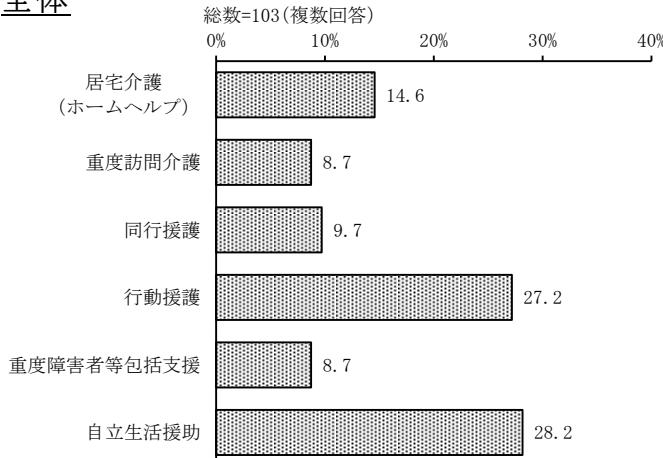


## ②訪問系サービスの利用意向

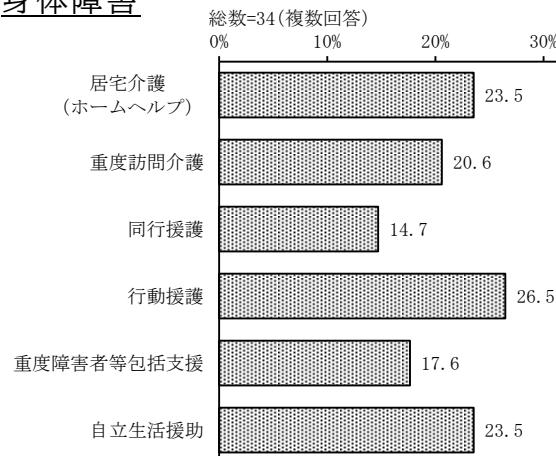
全体では、「自立生活援助」が28.2%と最も多く、次いで「行動援護」が27.2%、「居宅介護（ホームヘルプ）」が14.6%、「同行援護」が9.7%となっています。

障害別に見ると、身体障害では「居宅介護」「重度訪問介護」が知的障害より多くなっています。

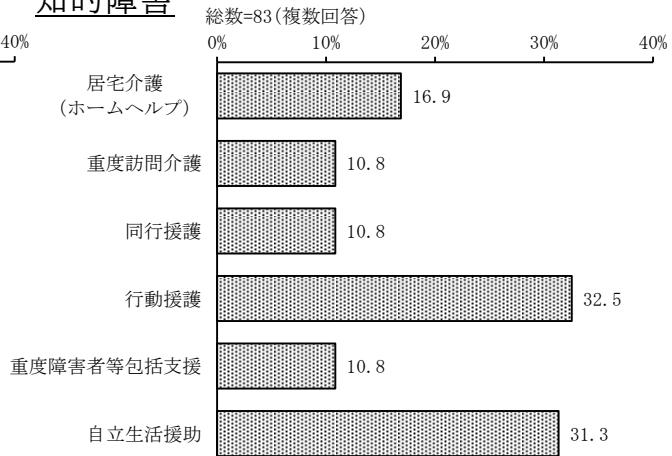
### 全体



### 身体障害



### 知的障害



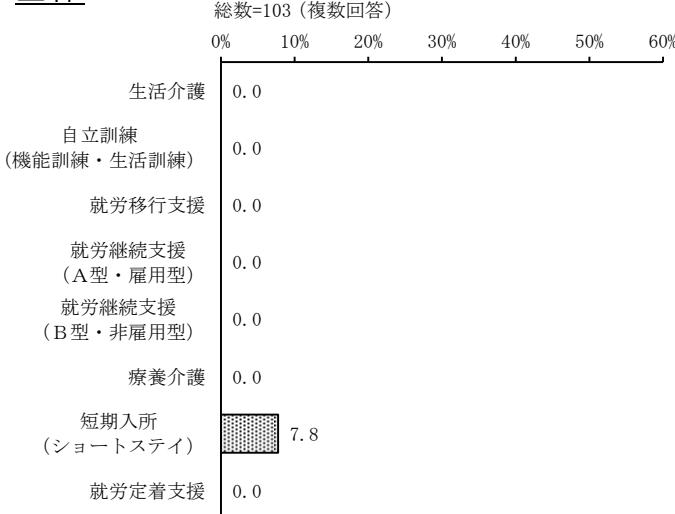
## (2) 日中活動系サービス

### ③日中活動系サービスの利用状況

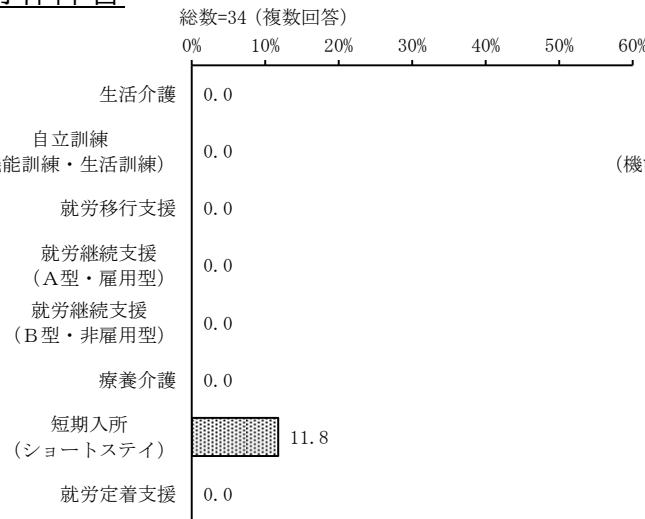
全体では、「短期入所（ショートステイ）」が7.8%となっています。

障害別の結果も概ね同様の傾向となっています。

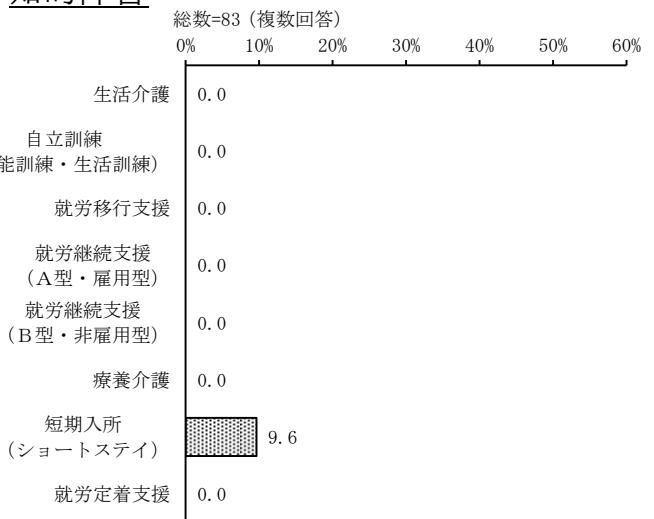
#### 全体



#### 身体障害



#### 知的障害

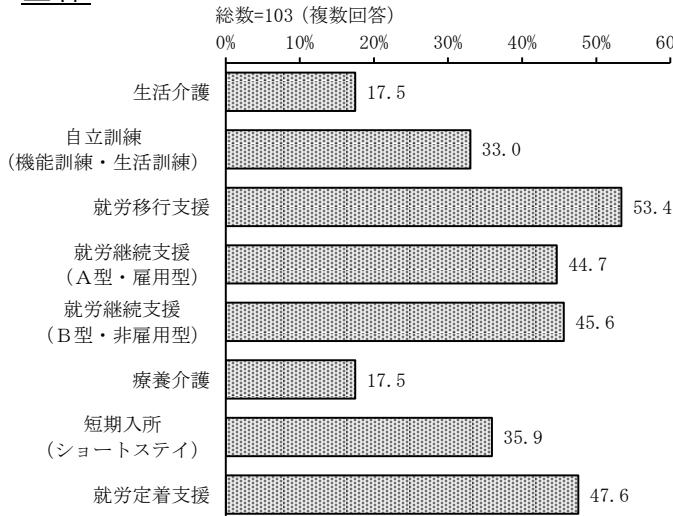


#### ④日中活動系サービスの利用意向

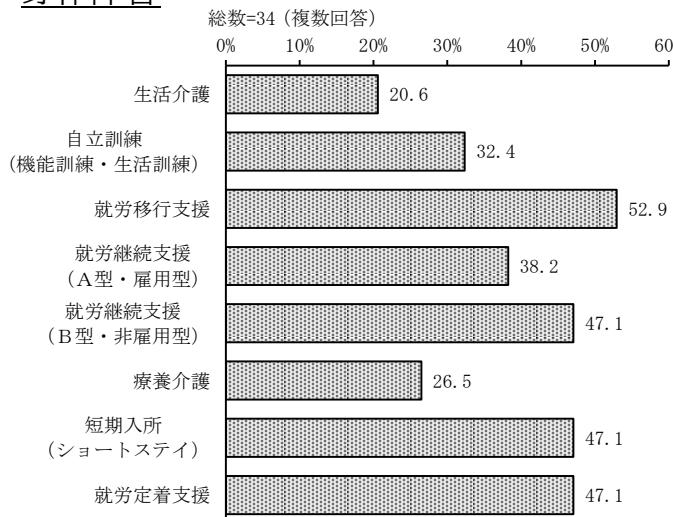
全体では、「就労移行支援」が 53.4% と最も多く、次いで「就労定着支援」が 47.6%、「就労継続支援（B型・非雇用型）」が 45.6%、「就労継続支援（A型・雇用型）」が 44.7% となっています。

障害別の結果も概ね同様の傾向となっています。

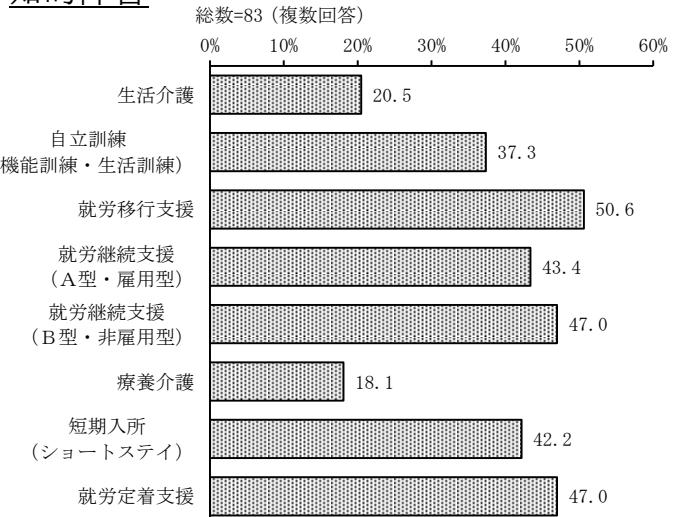
#### 全体



#### 身体障害



#### 知的障害

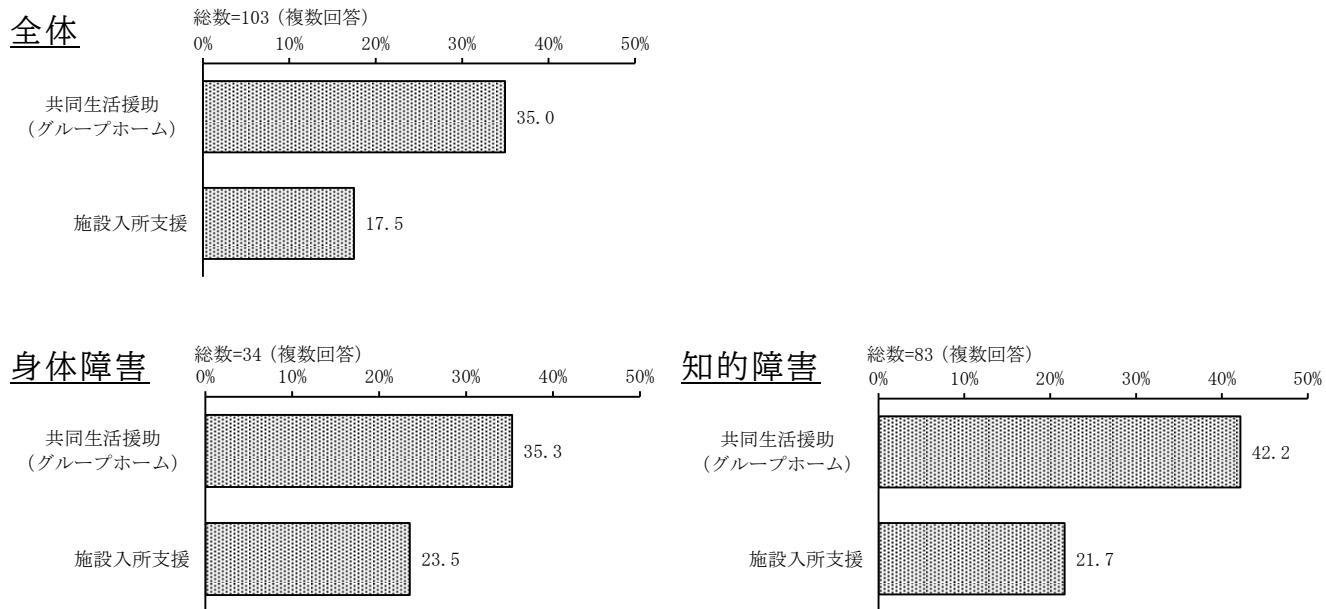


### (3) 居住系サービス

#### ⑤居住系サービスの利用意向

全体では、「共同生活援助（グループホーム）」が35.0%、「施設入所支援」が17.5%となっています。

障害別の結果も概ね同様の傾向となっています。



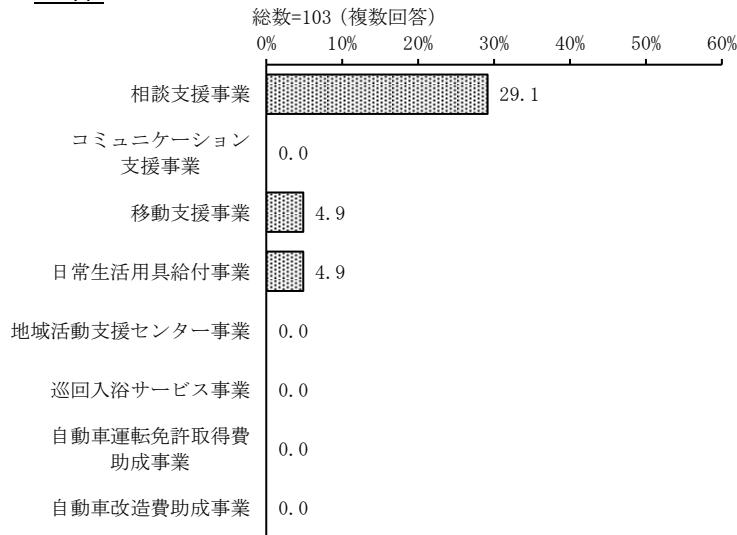
## (4) 地域生活支援事業

### ⑥地域生活支援事業の利用状況

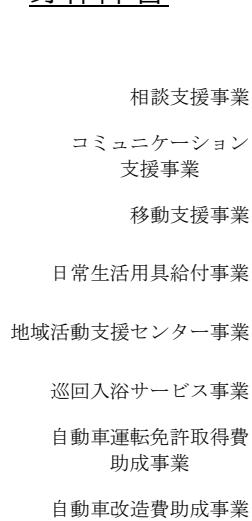
全体では、「相談支援事業」が29.1%と最も多く、次いで「移動支援事業」「日常生活用具給付事業」がそれぞれ4.9%となっています。

障害別に見ると、身体障害では「日常生活用具給付事業」が知的障害より多くなっています。

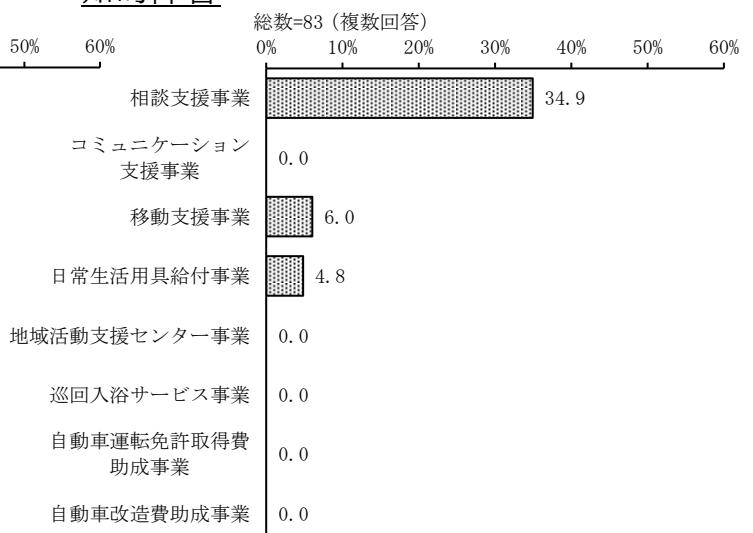
#### 全体



#### 身体障害



#### 知的障害

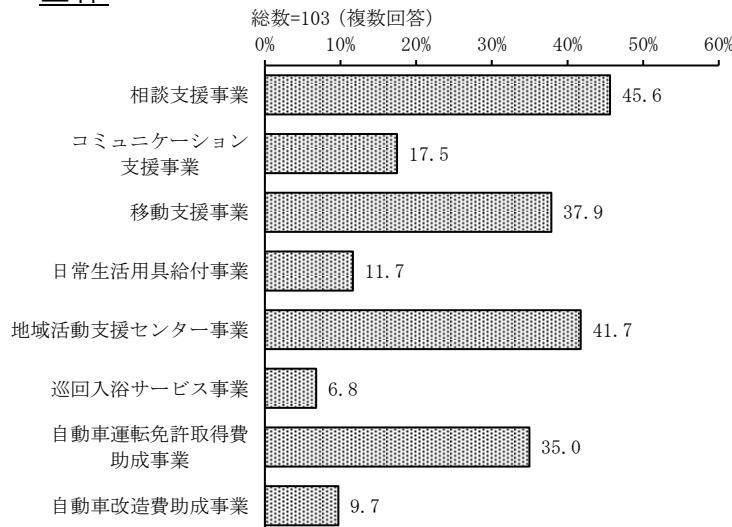


## ⑦地域生活支援事業の利用意向

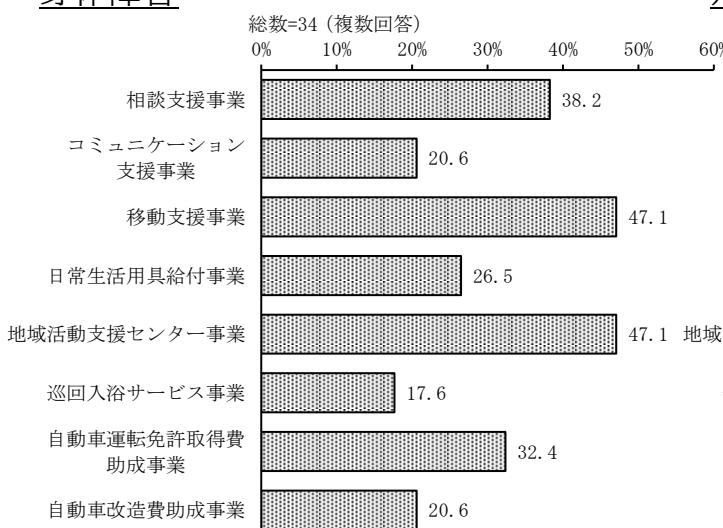
全体では、「相談支援事業」が45.6%と最も多く、次いで「地域活動支援センター事業」が41.7%、「移動支援事業」が37.9%、「自動車運転免許取得費助成事業」が35.0%となっています。

障害別に見ると、身体障害では「移動支援事業」「地域活動支援センター事業」が最も多くなっています。

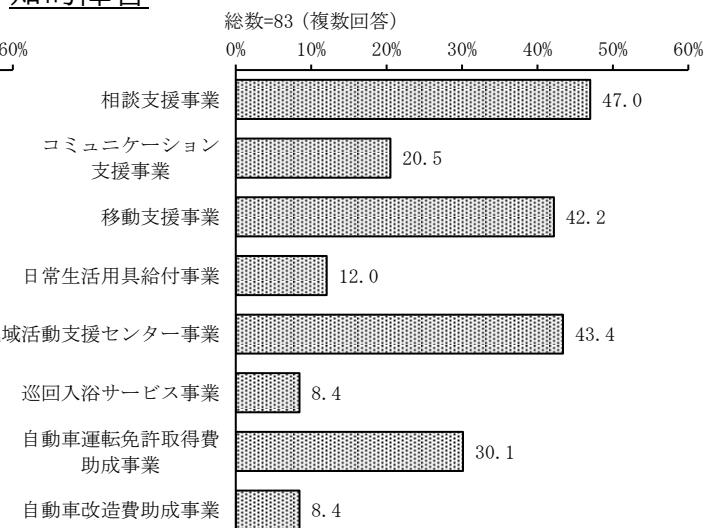
### 全体



### 身体障害



### 知的障害

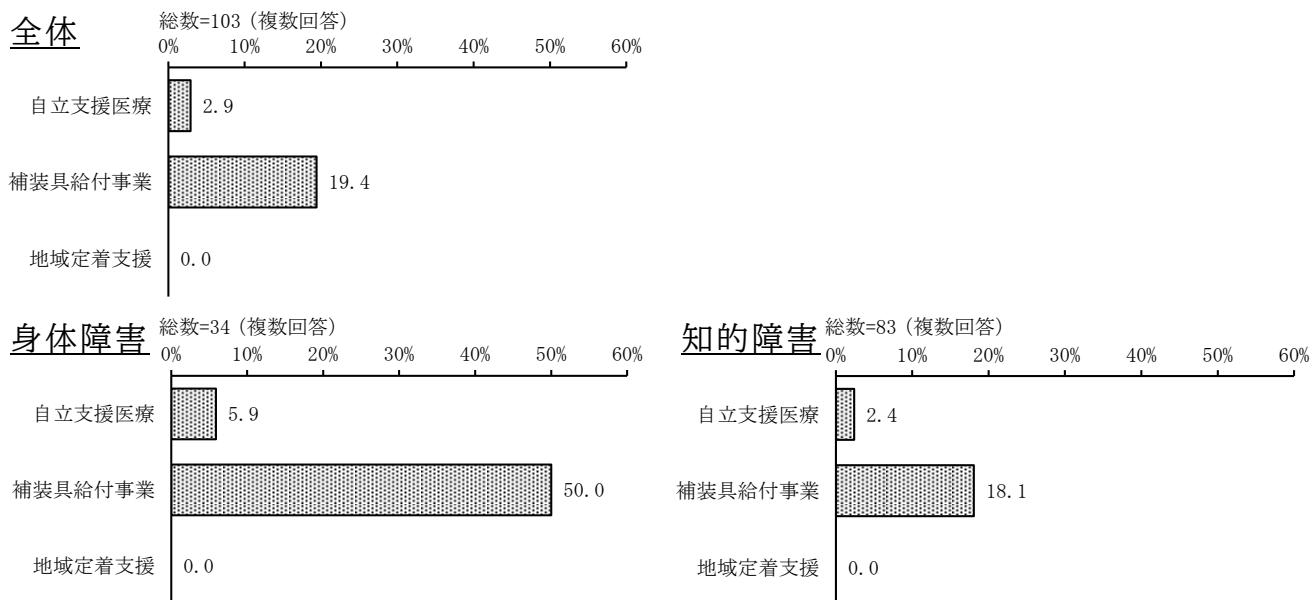


## (5) その他のサービス

### ⑧ その他のサービスの利用状況

全体では、「補装具給付事業」が 19.4%、「自立支援医療」が 2.9% となっています。

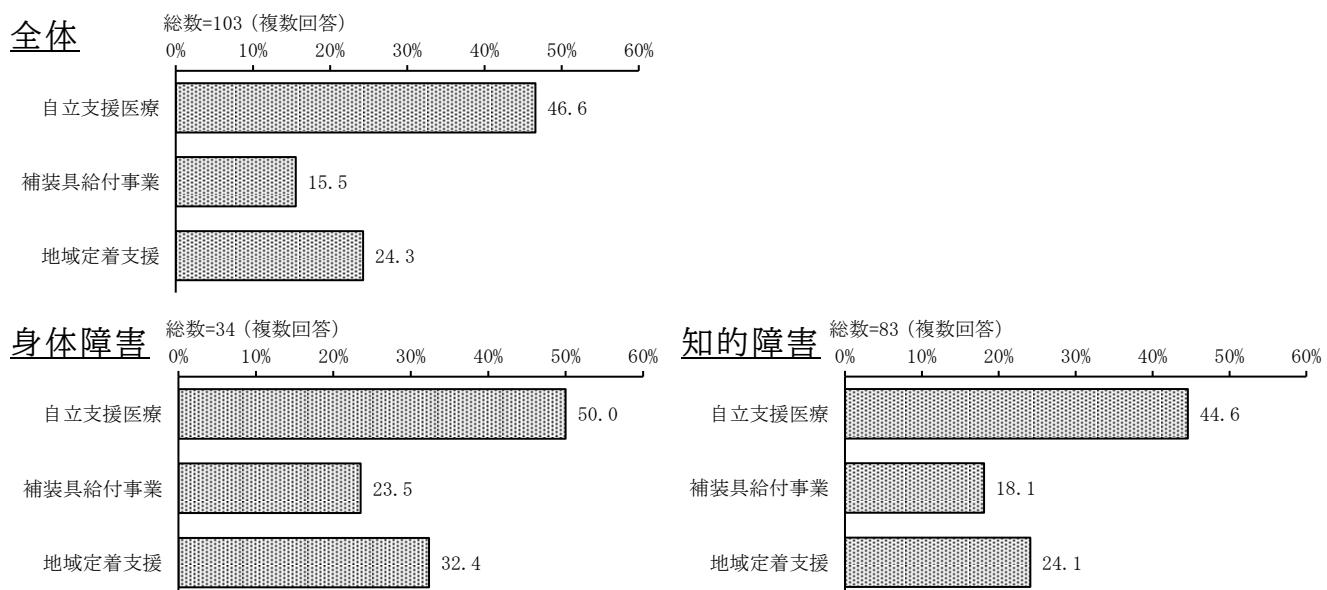
障害別に見ると、身体障害では「補装具給付事業」が知的障害より多くなっています。



### ⑨ その他のサービスの利用意向

全体では、「自立支援医療」が 46.6% と最も多く、次いで「地域定着支援」が 24.3%、「補装具給付事業」が 15.5% となっています。

障害別に見ると、身体障害では「補装具給付事業」「地域定着支援」が知的障害より多くなっています。

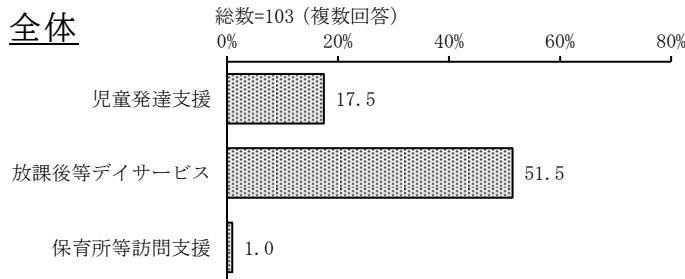


## (6) 児童に関する支援

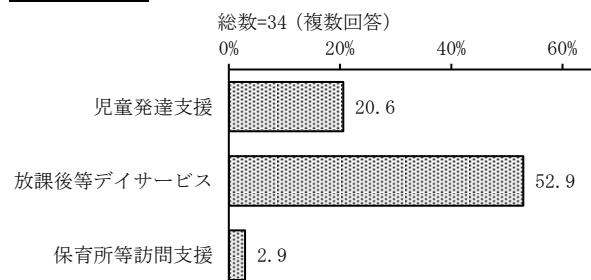
### ⑩児童に関する支援の利用状況

全体では、「放課後等デイサービス」が 51.5% と最も多く、次いで「児童発達支援」が 17.5%、「保育所等訪問支援」が 1.0% となっています。

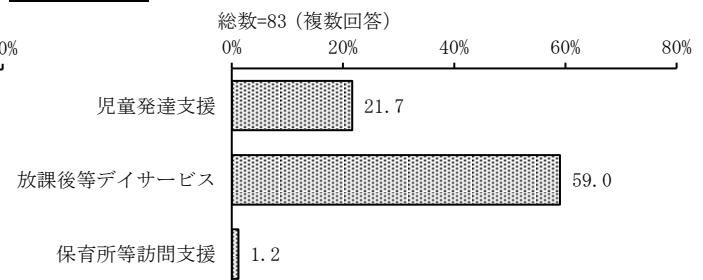
障害別の結果も概ね同様の傾向となっています。



### 身体障害



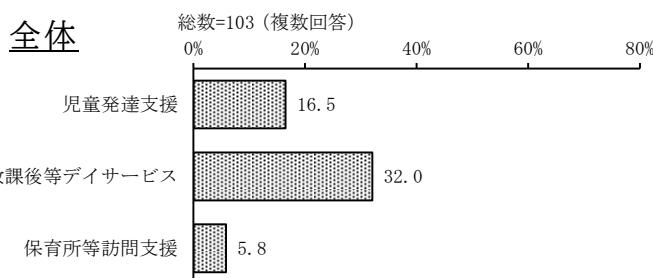
### 知的障害



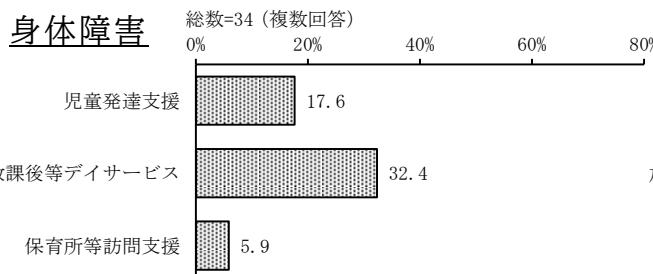
### ⑪児童に関する支援の利用意向

全体では、「放課後等デイサービス」が 32.0% と最も多く、次いで「児童発達支援」が 16.5%、「保育所等訪問支援」が 5.8% となっています。

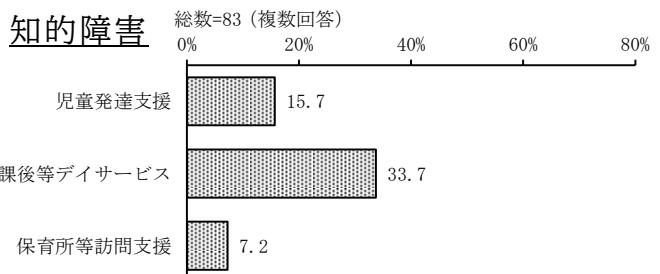
障害別の結果も概ね同様の傾向となっています。



### 身体障害



### 知的障害



サービス名	サービスの内容
① 児童発達支援	就学前の障害のある子どもを対象に、施設に通所し、日常生活における基本的動作の指導や集団生活への適応のための訓練等を行う（児童発達支援）とともに、身体の状況により、治療も行います（医療型児童発達支援）。重度の障害等のために外出が著しく困難な障害のある子どもについては、居宅において発達支援を受けられます（居宅訪問型児童発達支援）。
②放課後等デイサービス	学校就学中の障害のある子どもを対象に、放課後や夏休みなどの長期休暇中において、生活能力向上のための訓練等を行うとともに、居場所を提供します。
③保育所等訪問支援	保育士、児童指導員等が障害のある子どものいる保育所等の施設を訪問し、集団生活に溶け込めるよう支援を行います。

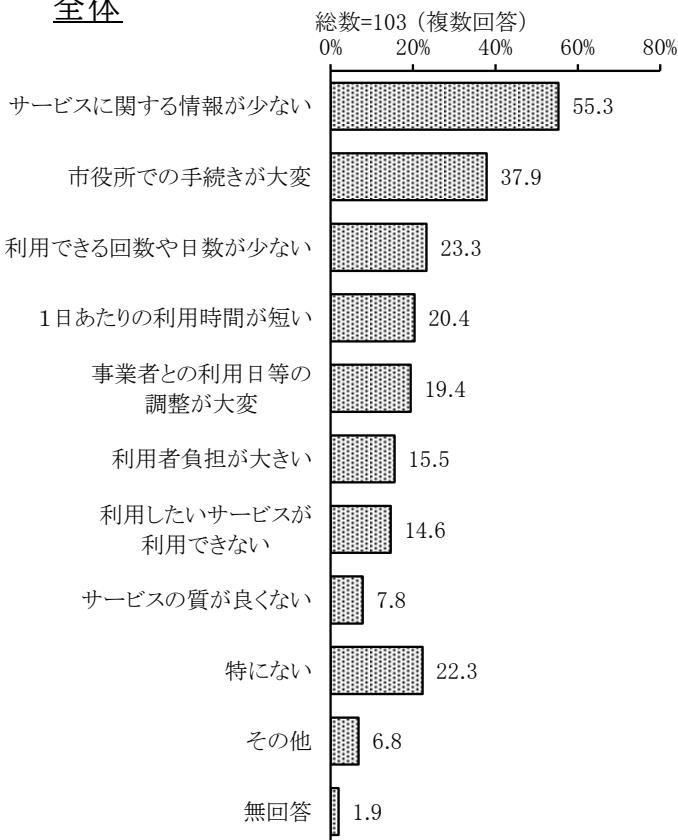
## (7) サービス利用で困っていること

問 38 あなたが、サービスを利用するにあたって、困っていることは何ですか。  
(あてはまるもの全てに○)

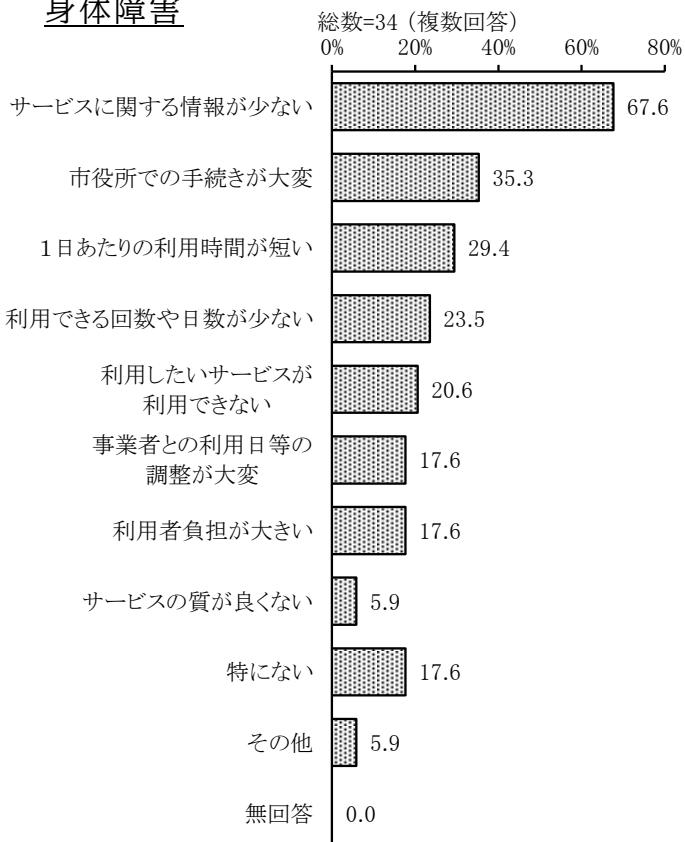
全体では、「サービスに関する情報が少ない」が 55.3%と最も多く、次いで「市役所での手続きが大変」が 37.9%、「利用できる回数や日数が少ない」が 23.3%、「1 日あたりの利用時間が短い」が 20.4%となっています。

障害別の結果も概ね同様の傾向となっています。

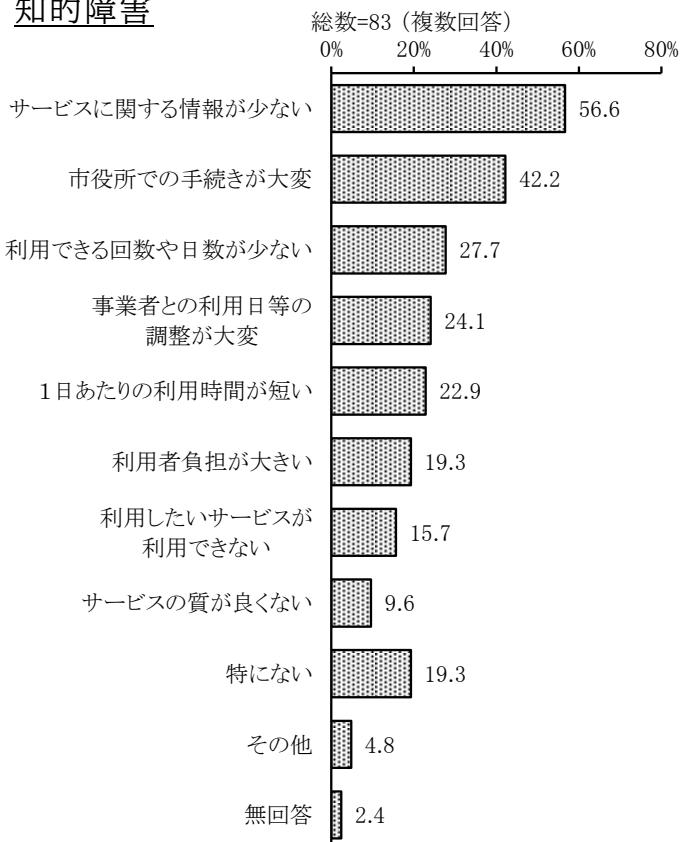
### 全体



## 身体障害



## 知的障害



## 12. 権利擁護・障害理解について

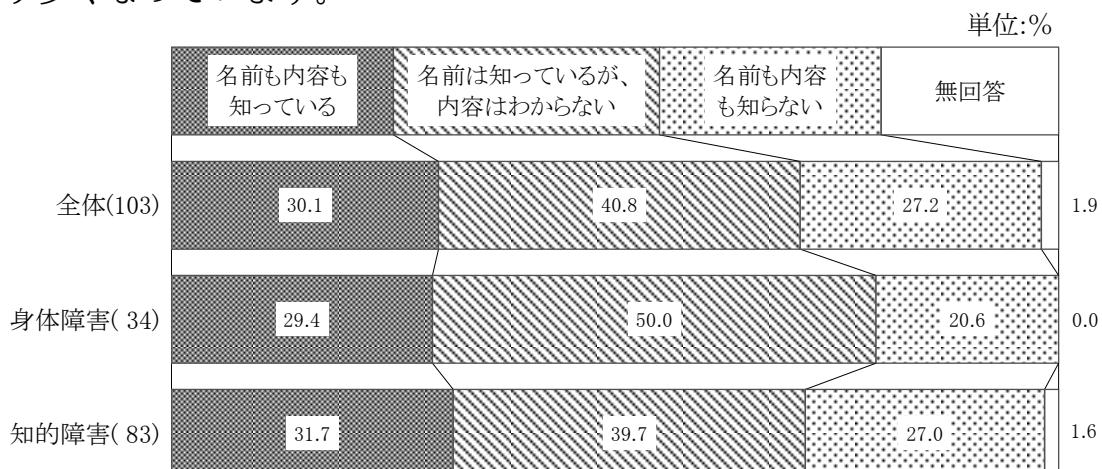
### (1) 権利擁護の取組の認知状況

問39 あなたは、次の権利が守られるための取組について知っていますか。  
(それぞれあてはまるもの1つに○)

#### ①成年後見制度

全体では、「名前は知っているが、内容はわからない」が40.8%と最も多く、次いで「名前も内容も知っている」が30.1%、「名前も内容も知らない」が27.2%となっています。

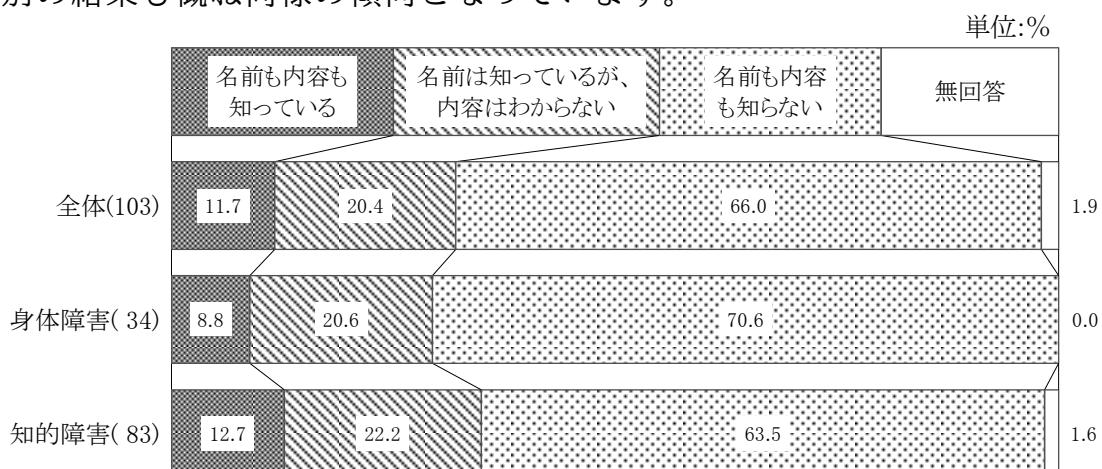
障害別に見ると、身体障害では「名前は知っているが、内容はわからない」が知的障害より多くなっています。



#### ②昭島市障害者虐待防止センター

全体では、「名前も内容も知らない」が66.0%と最も多く、次いで「名前は知っているが、内容はわからない」が20.4%、「名前も内容も知っている」が11.7%となっています。

障害別の結果も概ね同様の傾向となっています。



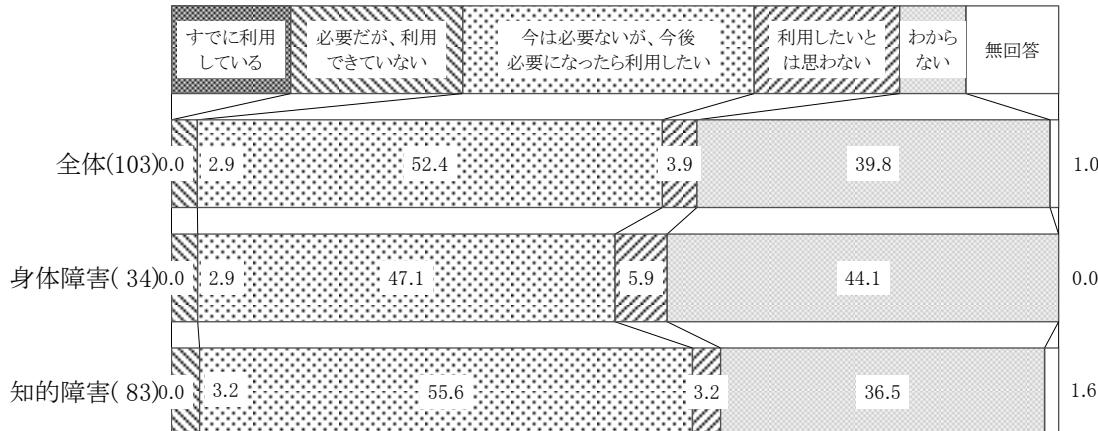
## (2) 成年後見制度の利用意向

問 40 あなたは、成年後見制度を利用したいと思いますか。(○は1つ)

全体では、「今は必要ないが、今後必要になったら利用したい」が 52.4%と最も多く、次いで「利用したいとは思わない」が 3.9%、「必要だが、利用できていない」が 2.9%となっています。

障害別の結果も概ね同様の傾向となっています。

単位:%



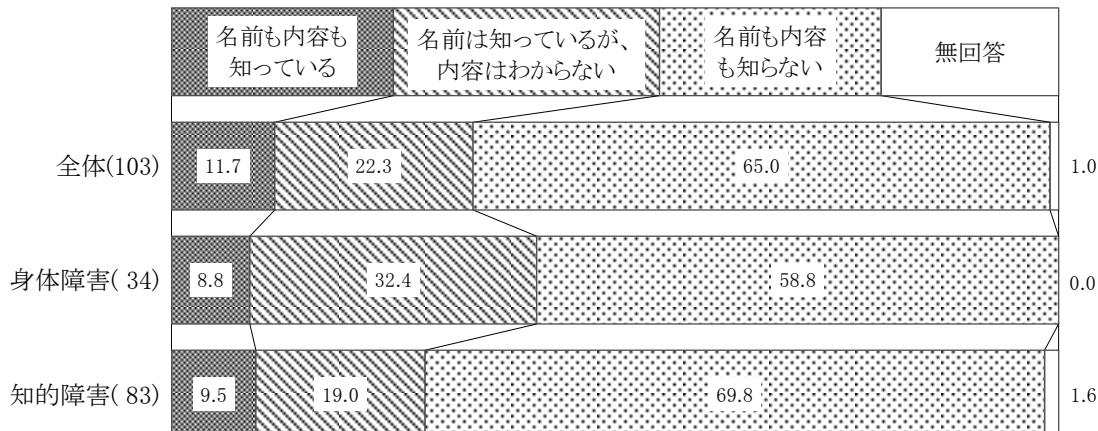
## (3) 障害者差別解消法の認知状況

問 41 令和3年5月、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）が改正され、障害を理由とした不当な差別的取扱いの禁止に加え、合理的配慮の提供についても民間事業者の義務とされました。あなたは、障害者差別解消法を知っていますか。(○は1つ)

全体では、「名前も内容も知らない」が 65.0%と最も多く、次いで「名前は知っているが、内容はわからない」が 22.3%、「名前も内容も知っている」が 11.7%となっています。

障害別に見ると、知的障害では「名前も内容も知らない」が身体障害より多くなっています。

単位:%



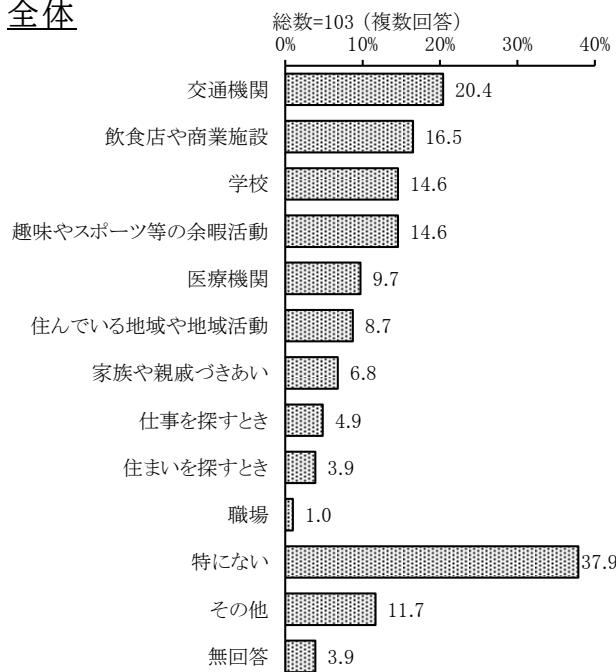
## (4) 差別を受けた経験

問42 あなたは、障害があることによりどのような場面で差別を受けていると感じたり、嫌な思いをしたことがありますか。（あてはまるもの全てに○）

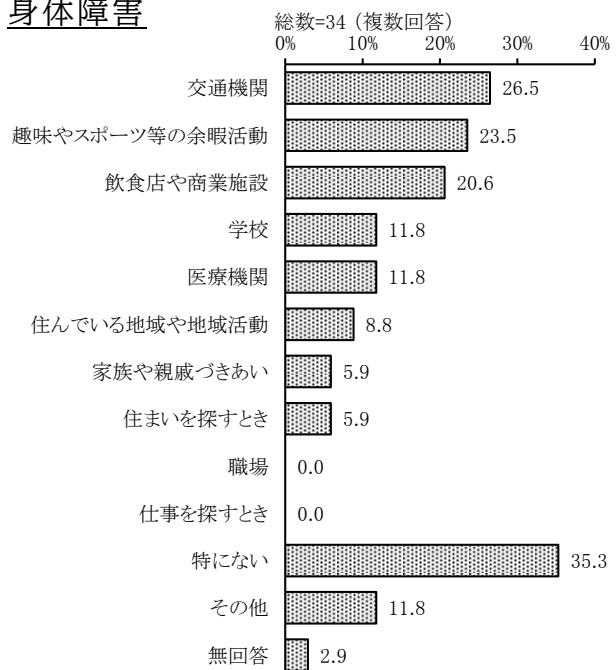
全体では、「交通機関」が20.4%と最も多く、次いで「飲食店や商業施設」が16.5%、「学校」「趣味やスポーツ等の余暇活動」がそれぞれ14.6%となっています。

障害別に見ると、身体障害では「趣味やスポーツ等の余暇活動」が知的障害より多くなっています。

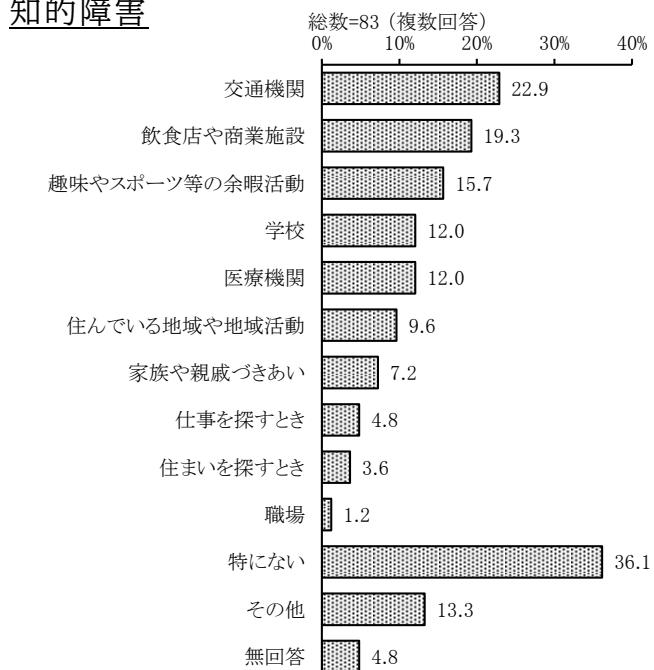
### 全体



### 身体障害



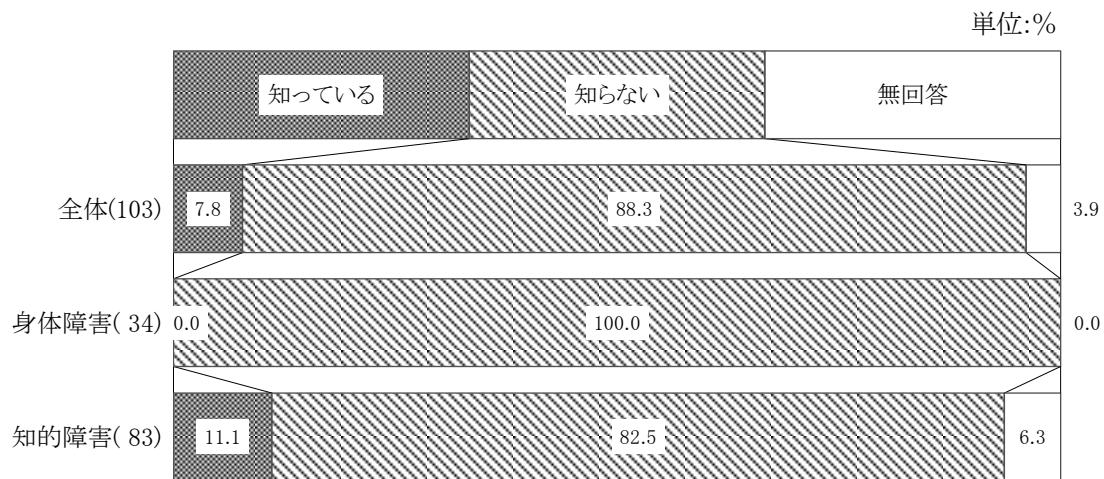
### 知的障害



## (5) 相談窓口の認知状況

問43 あなたは、あなたや周りのかたが差別を受けたときの相談窓口を知っていますか。(○は1つ)

全体では、「知っている」が7.8%、「知らない」が88.3%となっています。  
障害別に見ると、身体障害では「知っている」という回答はありませんでした。



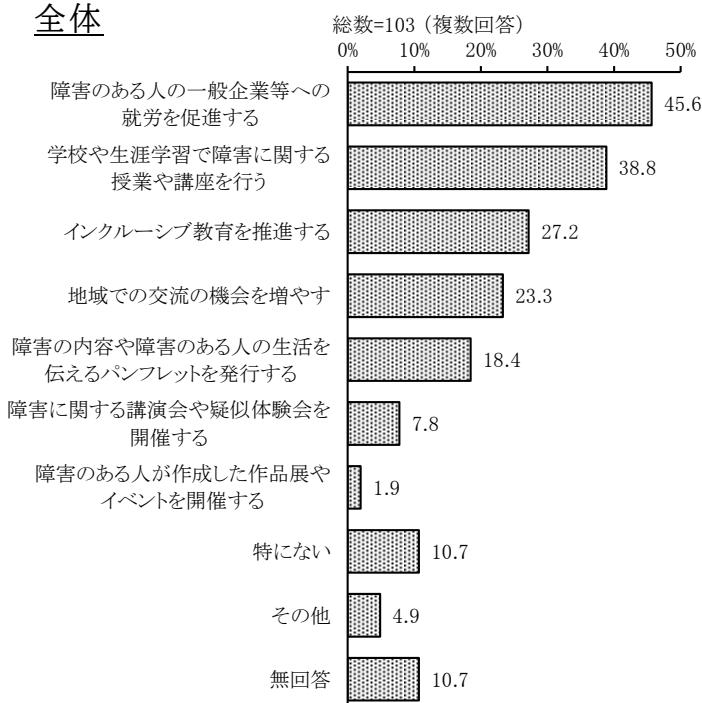
## (6) 障害理解を進めるために力を入れるべきこと

問44 あなたは、障害への理解を進めるために昭島市がどのように力を入れるべきだと思いますか。(○は3つまで)

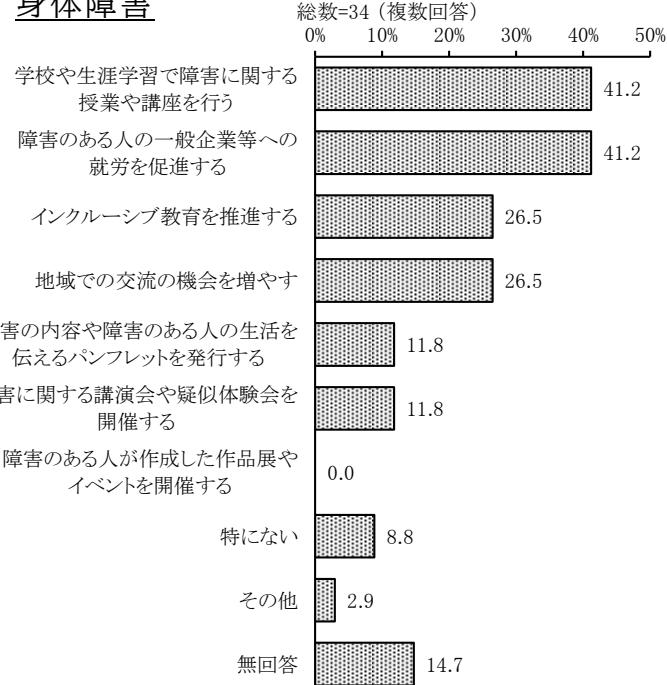
全体では、「障害のある人の一般企業等への就労を促進する」が45.6%と最も多く、次いで「学校や生涯学習で障害に関する授業や講座を行う」が38.8%、「インクルーシブ教育を推進する」が27.2%、「地域での交流の機会を増やす」が23.3%となっています。

障害別に見ると、身体障害では「学校や生涯学習で障害に関する授業や講座を行う」も最も多くなっています。

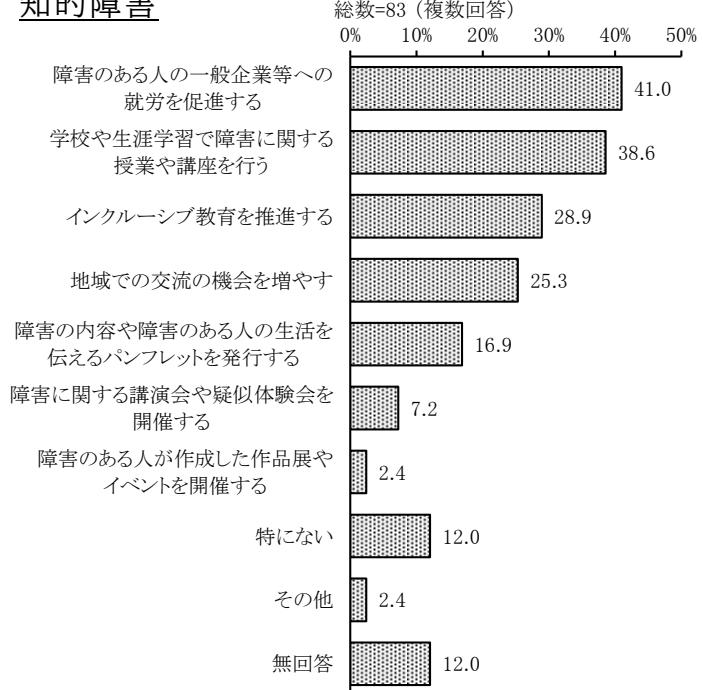
### 全体



## 身体障害



## 知的障害



※インクルーシブ教育とは、障害のある子どもが通常学級において、障害のない子どもと共に学ぶ教育のことです。

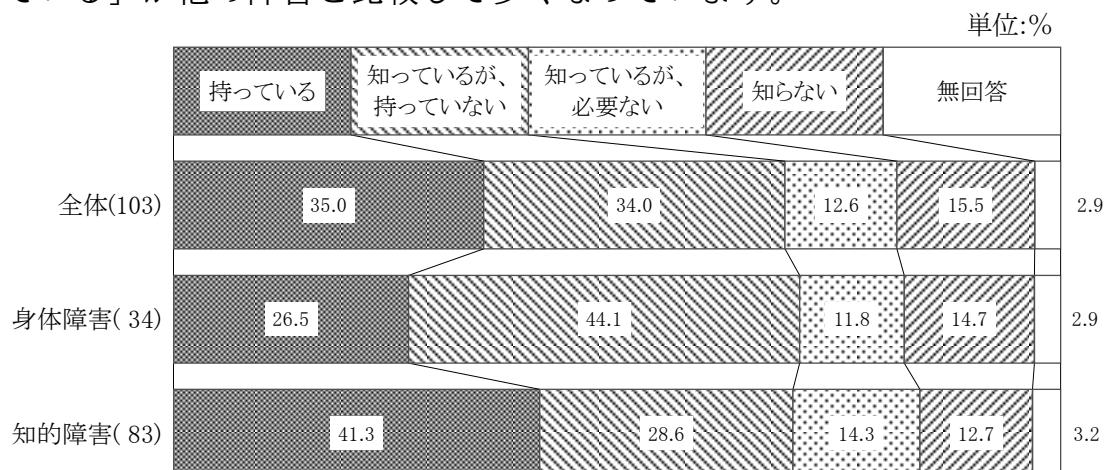
## (7) ヘルプカード・ヘルプマークの所持状況

問45 あなたは、ヘルプカード・ヘルプマークを持っていますか。  
(それぞれあてはまるもの1つに○)

### ①ヘルプカード

全体では、「持っている」が35.0%と最も多く、次いで「知っているが、持っていない」が34.0%、「知らない」が15.5%、「知っているが、必要ない」が12.6%となっています。

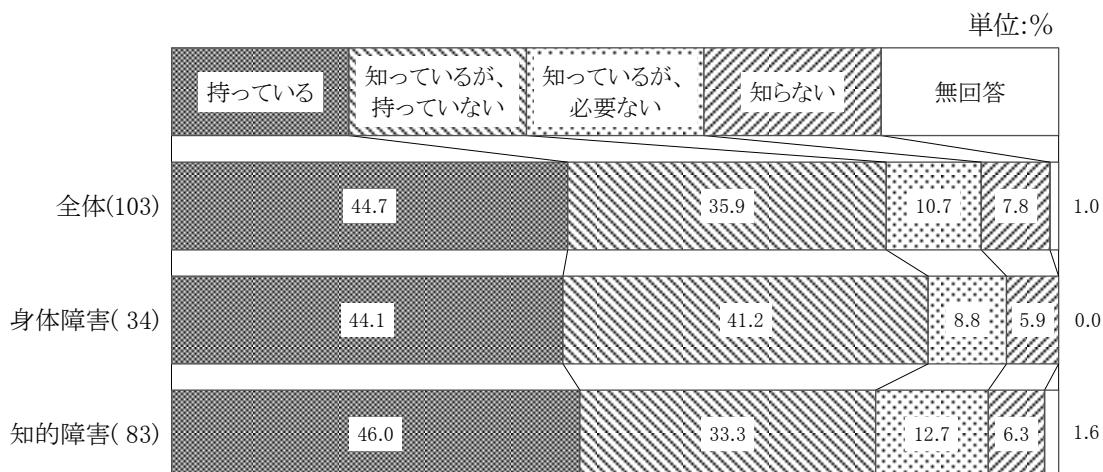
障害別に見ると、身体障害では「知っているが、持っていない」が、知的障害では「持っている」が他の障害と比較して多くなっています。



## ②ヘルプマーク

全体では、「持っている」が44.7%と最も多く、次いで「知っているが、持っていない」が35.9%、「知っているが、必要ない」が10.7%、「知らない」が7.8%となっています。

障害別の結果も概ね同様の傾向となっています。



(昭島市)



(東京都)

※ヘルプカード・ヘルプマークは、障害のあるかたが緊急時や災害時など困ったときに周囲の配慮や手助けをお願いするものです。市役所等で無料で配布しています。

## 13. 災害対策について

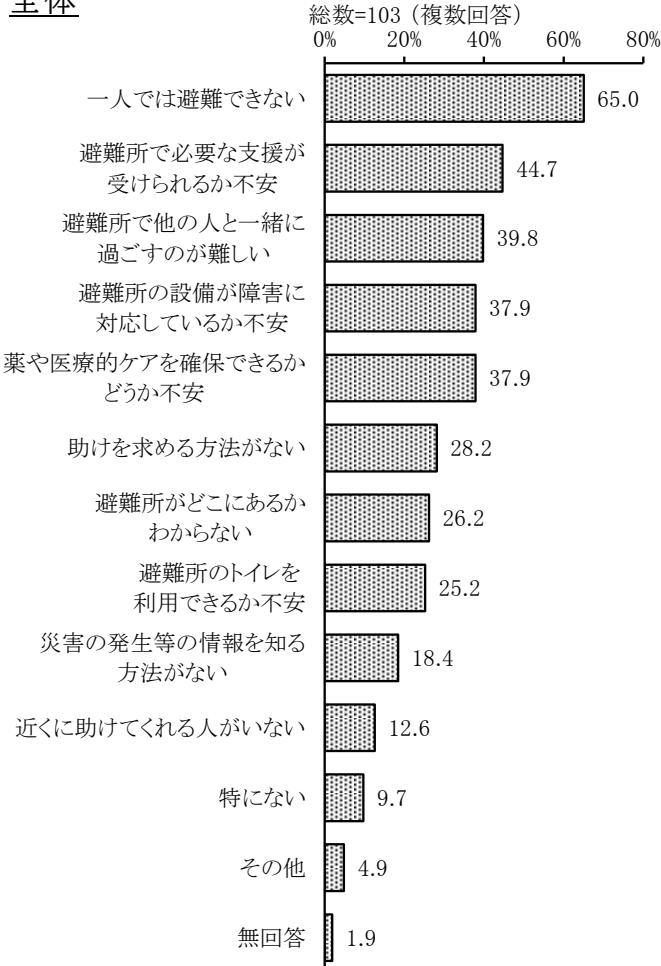
### (1) 災害時に困ることや不安なこと

問 46 あなたが、地震等の災害が発生した時に困ることや不安なことは何ですか。  
(あてはまるもの全てに○)

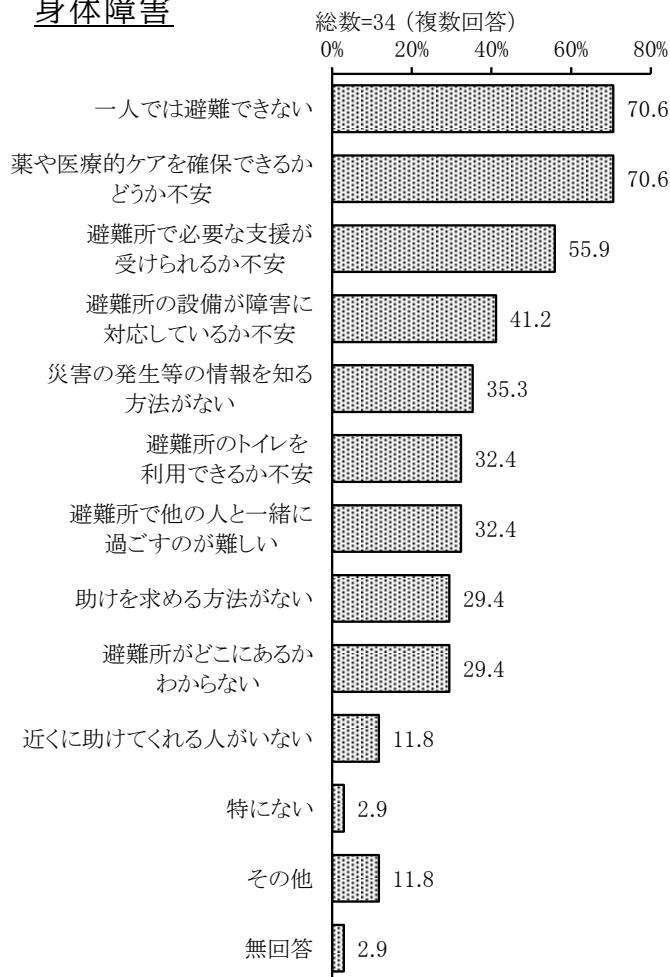
全体では、「一人では避難できない」が 65.0% と最も多く、次いで「避難所で必要な支援が受けられるか不安」が 44.7%、「避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい」が 39.8%、「避難所の設備が障害に対応しているか不安」「薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安」がそれぞれ 37.9% となっています。

障害別に見ると、身体障害では「薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安」も最も多くなっています。

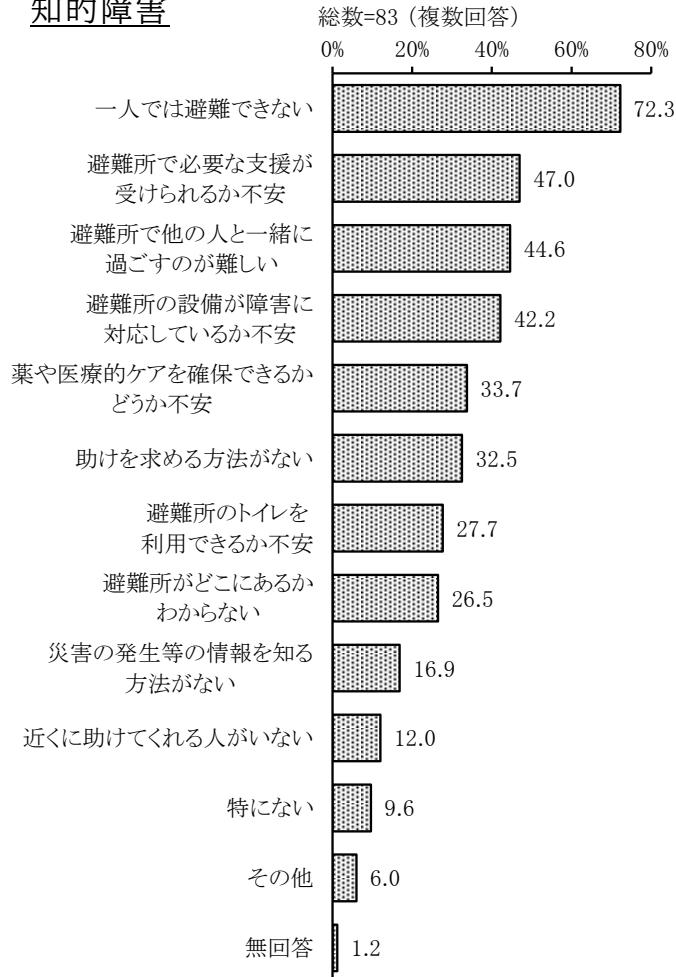
#### 全体



## 身体障害



## 知的障害



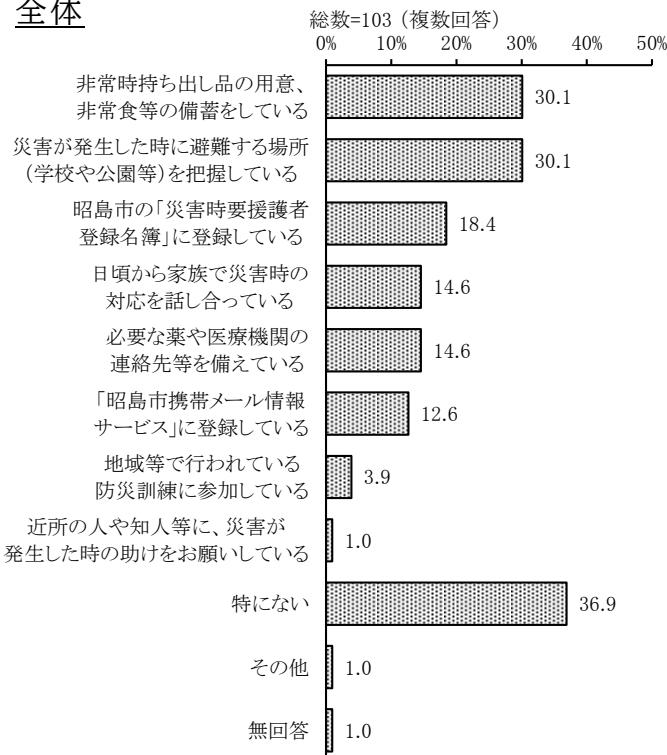
## (2) 災害に対する備え

問47 あなたは、災害に対してどのような備えをしていますか。  
(あてはまるもの全てに○)

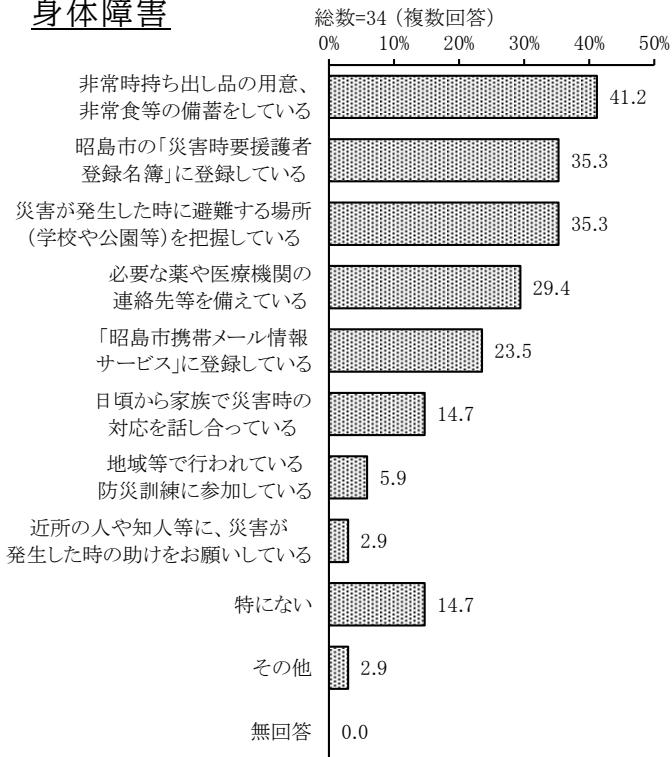
全体では、「非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄をしている」「災害が発生した時に避難する場所(学校や公園等)を把握している」がそれぞれ30.1%と最も多い、次いで「昭島市の『災害時要援護者登録名簿』に登録している」が18.4%、「日頃から家族で災害時の対応を話し合っている」「必要な薬や医療機関の連絡先等を備えている」がそれぞれ14.6%となっています。

障害別に見ると、身体障害では「昭島市の『災害時要援護者登録名簿』に登録している」が知的障害より多くなっています。

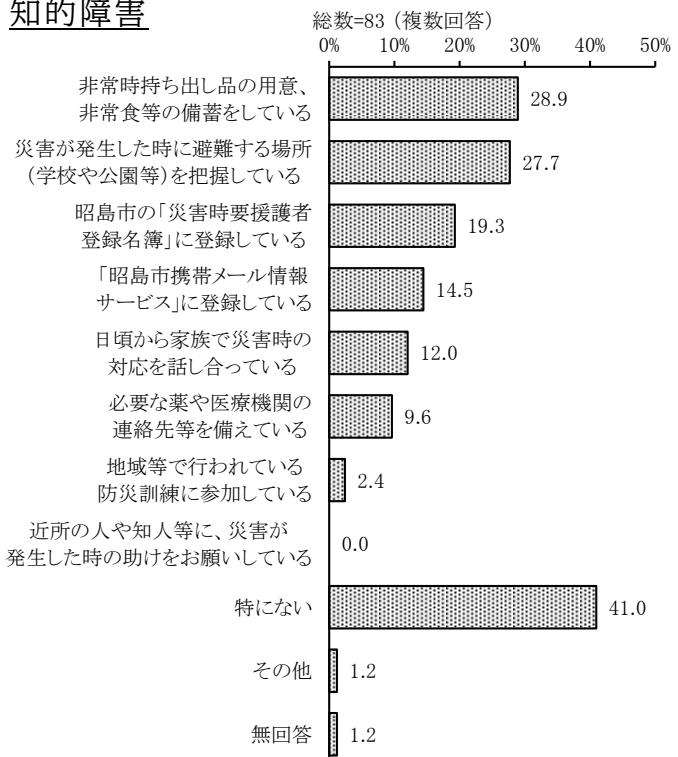
### 全体



## 身体障害



## 知的障害



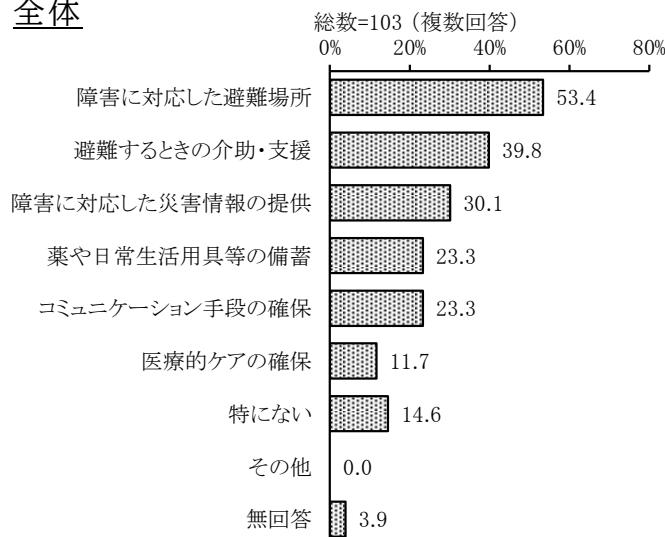
### (3) 災害時に必要な支援

問48 あなたは、災害が発生した時にどのような支援が必要ですか。  
(○は3つまで)

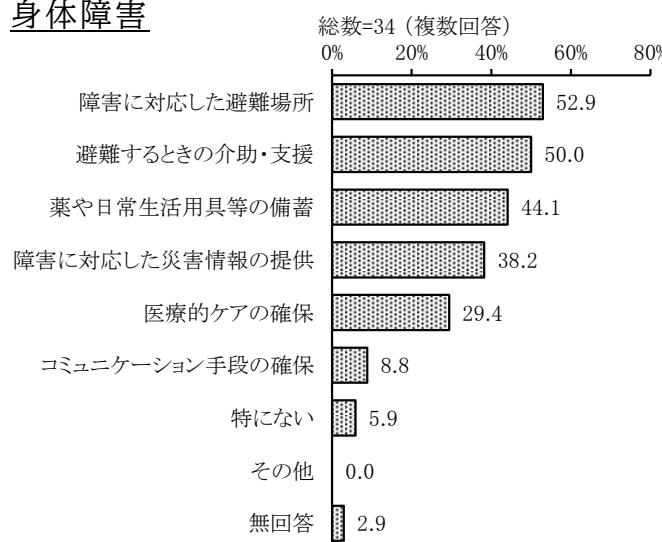
全体では、「障害に対応した避難場所」が 53.4% と最も多く、次いで「避難するときの介助・支援」が 39.8%、「障害に対応した災害情報の提供」が 30.1%、「薬や日常生活用具等の備蓄」「コミュニケーション手段の確保」がそれぞれ 23.3% となっています。

障害別に見ると、身体障害では「薬や日常生活用具等の備蓄」「医療的ケアの確保」が知的障害より多くなっています。

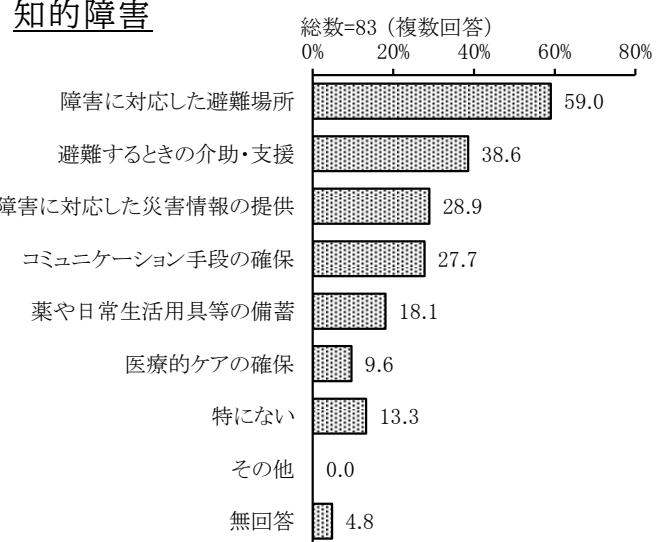
#### 全体



#### 身体障害



#### 知的障害



## 14. 昭島市の障害者施策について

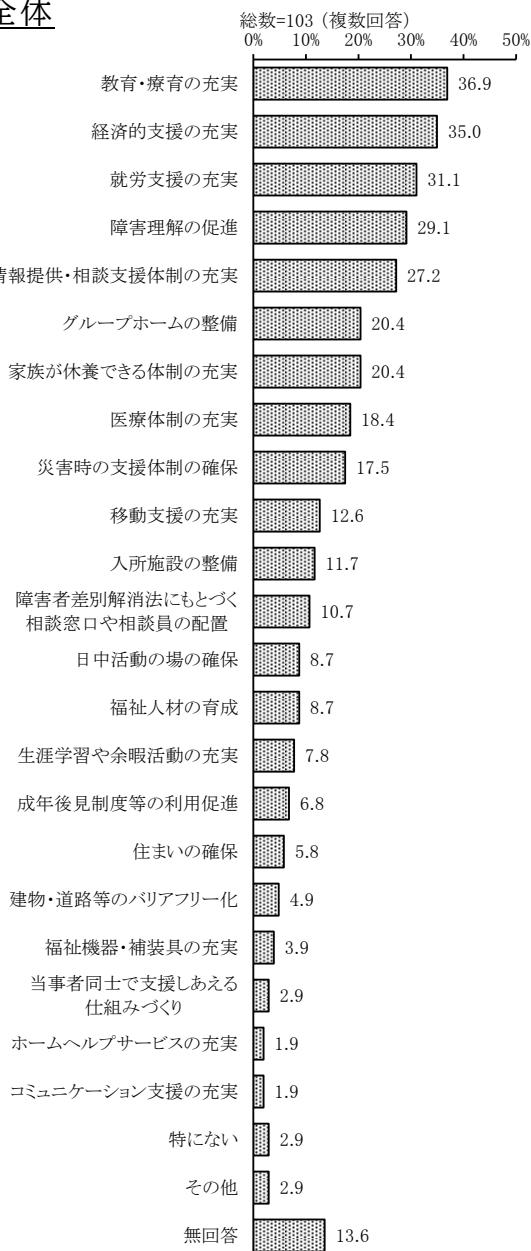
### (1) 重点的に行うべき施策

問49 あなたは障害のあるかたが地域で安心して暮らしていくために、昭島市がどのような施策を重点的に行うべきだと思いますか。（○は5つまで）

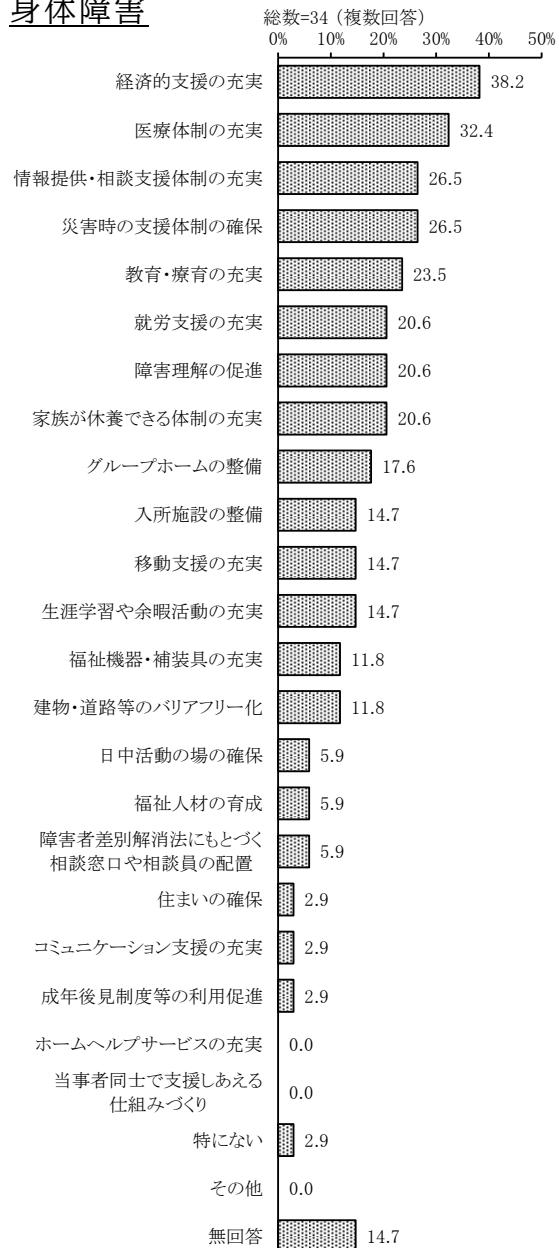
全体では、「教育・療育の充実」が36.9%と最も多く、次いで「経済的支援の充実」が35.0%、「就労支援の充実」が31.1%、「障害理解の促進」が29.1%となっています。

障害別に見ると、身体障害では「経済的支援の充実」が最も多くなっています。知的障害では「経済的支援の充実」「障害理解の促進」も最も多くなっています。

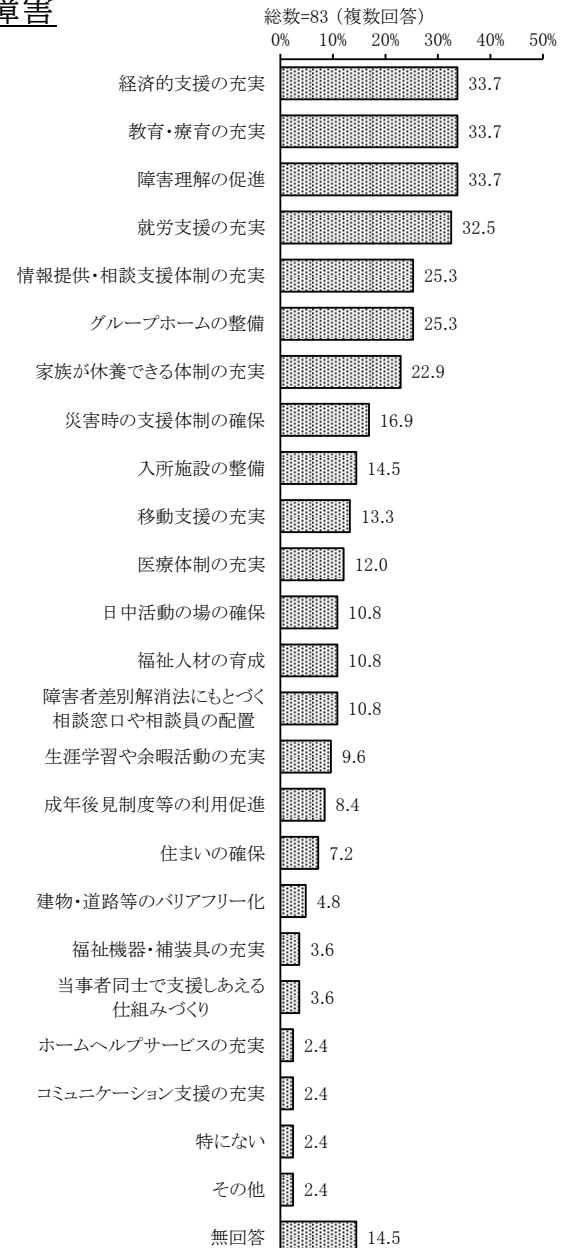
#### 全体



## 身体障害



## 知的障害



## (2) 自由意見

問 50 昭島市の障害者施策に関して、ご意見・ご要望等がありましたら、ご自由にお書きください。

「行政への意見・要望」が 25 件と最も多く、次いで「福祉サービス」が 16 件、「保育・教育・療育」が 11 件、「障害理解」が 8 件となっています。

回答の内容		件数	回答の内容		件数
1	行政への意見・要望	25	5	経済的支援	5
2	福祉サービス	16		将来の不安	5
3	保育・教育・療育	11		その他	13
4	障害理解	8	総件数		42

※複数の内容を含む回答があるため、各分野の件数の合計は総件数を超えていきます。

### ●主な意見

※ここで掲載した回答は、大意を変えずに一部を省略・要約している場合があります。

#### ①行政への意見・要望

意 見	障害の種類	性別・年齢
手帳を持っている人が希望するサービスを受けられるようにしてほしい。本当に助けが必要な人がサービスを受けられない現状があると思う。	知的障害	男性 6 歳
コロナワクチンのドライブスルーで受けられる制度はとても助かりましたが、必要なのに知らない当事者及び支援者も多いように思います。調べないとわからない情報ではなく、有益な情報は希望者にメールマガジン一斉送付位のサービスが欲しいです。	知的障害	女性 14 歳
「障害者プラン」が具体的にどんなものなのか教えてほしい。障害のある方たちが不安や心配なことがないような生活を送れるぐらいのレベルにしてほしいです。重度の方への支援も大切ですが、軽度の障害でも困りごとはあるので平等な支援を願います。	知的障害 精神障害	男性 15 歳
知的障害がある人が 18 歳以上になった時に、しっかり担当の福祉課の方と連携できるようになってほしい。家族と福祉課の方のつながりもそうだが、本人とつながれるようにならないといつまで経っても自立できない。	知的障害	男性 17 歳

障害者福祉課の方や相談支援センターの方は相談に行くと、いつも優しく丁寧に対応してくださり感謝しています。でも、相談に行っても解決に至らないことが多く、結局は家族でどうにかしなければならない感じ。ずっと我慢するしかない感じです。	肢体不自由 知的障害	女性 17歳
---	---------------	-----------

## ②福祉サービス

意 見	障害の種類	性別・年齢
日常生活用具給付事業でオムツを支給して頂き、ありがとうございます。とても助かっています。1つお願いしたいのは、オムツを現物ではなく、クーポンで必要時、都度受けとれるようにして欲しいということです。オムツを保管しておける場所を確保するのも、店舗から運ぶのもとても大変で、毎回苦労しています。	肢体不自由 知的障害	女性 5歳
18歳で高校を卒業して入所できる施設が少なく、30歳くらいでないとグループホームに入れないと聞きました。親の介護もあるので、もっと早く入所できるグループホームをたくさん作ってください。空き家を使ってどんどん建物を活用してください。	知的障害	男性 12歳
子どもが大きくなって自由に行動する練習をするために移動支援を希望しているが、昭島市に事業所も男性の支援者がいないので登録が出来ない。障害福祉の人材不足。	知的障害	男性 12歳
以前住んでいた市では、おむつの支給がありました。月に1万円分のおむつをパンフレットの中から選ぶと毎月自宅に宅配されるというシステムで大変助かりました。同様のサービスが昭島市でもあったら助かるなーと思います。	知的障害	男性 13歳

## ③保育・教育・療育

意 見	障害の種類	性別・年齢
インクルーシブ教育がまだでも、各学校に支援学級が欲しい。また、個々の生徒、児童の特性に先生が統一した指導をしてほしい。それが難しいのであれば、教科を教える先生とは別に、生徒、児童の学校生活を丁寧に見てくれる先生を配置してほしい。	知的障害	男性 17歳
現在幼稚園生で小学校の進学について不安があります。どこに相談すればよいか、早めに情報を受け取れると準備しやすくてありがとうございます。	肢体不自由	女性 5歳

特別支援学級に学区外から通う生徒の送迎がとても大変なので、スクールバス等の送迎サービスがあればいいなと思います。	知的障害	男性 6歳
英語を習わせたい、スポーツを習わせたいと思っていても、受け入れてもらえるところを探すのが大変です。障害者向けのカルチャーセンターのようなところやサークル活動を行ってもらえるところを作っていただきたいです。	知的障害	男性 10歳

#### ④障害理解

意 見	障害の種類	性別・年齢
地域にあたりまえに存在していることを知ってもらいたいです。小さい時に少しでもかかわりが持てるかどうかで、その後の差別意識がかわります。健常の子が保育、幼稚園、小学校の低学年時に、障害のある人ともっと濃いかかわりをする機会をもってもらいたいです。	聴覚・平衡機能障害 音声・言語 そしゃく機能障害 肢体不自由 知的障害	女性 9歳
色んな人がいて当たり前の社会に、みんなの意識がそうなれば良いのにと思います。どっちも難しいですが、地道にそういう方向にお願いします。	知的障害	男性 11歳
障害は人それぞれ違うので理解、協力が必要となります。偏見の目、態度はなるべくやめてほしい。今、現在コロナ禍でマスクが必要な時が多いが、障害のある子どもたちには大変なこともある。それを知っていてマスクしなさいなどは言ってほしくないと思います。	知的障害	男性 11歳

#### ⑤経済的支援

意 見	障害の種類	性別・年齢
小耳、難聴を改善するため、形成外科手術を複数回受けなくてはならないが、その治療費の負担が大きい。自治体によつては安価もしくは無償で受けられると聞いているが、今後昭島市でも負担を軽減していく予定はあるのでしょうか？	聴覚・平衡機能障害	男性 10歳
障害の程度も低いため、ほとんどの補助金対象ではありません。しかし、月に何度も通院したり、装具や障害に適した衣服などをそろえるとものすごく負担です。子供のため送迎も必須ですし、交通費も厳しいです。	知的障害	男性 6歳

市や国からの障害者に対しての手当などは、基本障害者手帳の度、級数が重い方が対象となることが多いですが、重い度数だけで判断するのではなく障害者のいる家庭の生活状況なども鑑みて欲しいなど実体験で思いました。	精神障害	女性 11歳
---	------	-----------

## ⑥将来の不安

意 見	障害の種類	性別・年齢
将来について不安な気持ちを抱えています。医療体制や就労支援や経済的支援を充実したものにして頂けるとありがたいです。	知的障害	男性 6歳
子ども（本人）は9歳ですが、自立歩行はできず、特別支援学級に通っています。将来不安が沢山ありますし、高校卒業後の進路も心配です。元気なうちはずっと一緒にと思っていますが、もし親がいなくなったら時の生活場所の心配です。相談できる場所があれば少しでも不安を減らせないかと思います。	肢体不自由	女性 9歳
親の心配は、なんといっても自分が死んだ後の事です。グループホームや入所施設、作業所等たくさんあるといいのになと思います。	知的障害	男性 11歳

## ⑦その他

意 見	障害の種類	性別・年齢
保護者として思うことは特にスポーツをさせられる場所が全然無い（見つけられない）ということです。公園も他の児童などが気になり行きにくいので、どんどん運動不足になってしまっています。色々な習い事があると思うので、週に1回程度、障害を持つ子だけのクラスとかもできたらいいのになと思ったりしています。	肢体不自由	女性 9歳
障害者の雇用、特に身体と精神で差別をして雇用する企業が多い。発達障害はきちんと親や学校、会社の理解があれば普通に生活は可能だと思うが、その可能な環境にたどり着くまでが非常に大変だと思う。障害者手帳を取得してもその後、何らかのケアを行政からしてきたことはないので、もっと積極的に支援の有無を知らせてほしい。	精神障害	女性 11歳
バリアフリーが進んでないので、もう少しバリアフリーに力を入れてほしい。学校にエレベーターをつけてほしい。段差が多い。	肢体不自由	男性 11歳

# 資料（調査票）

